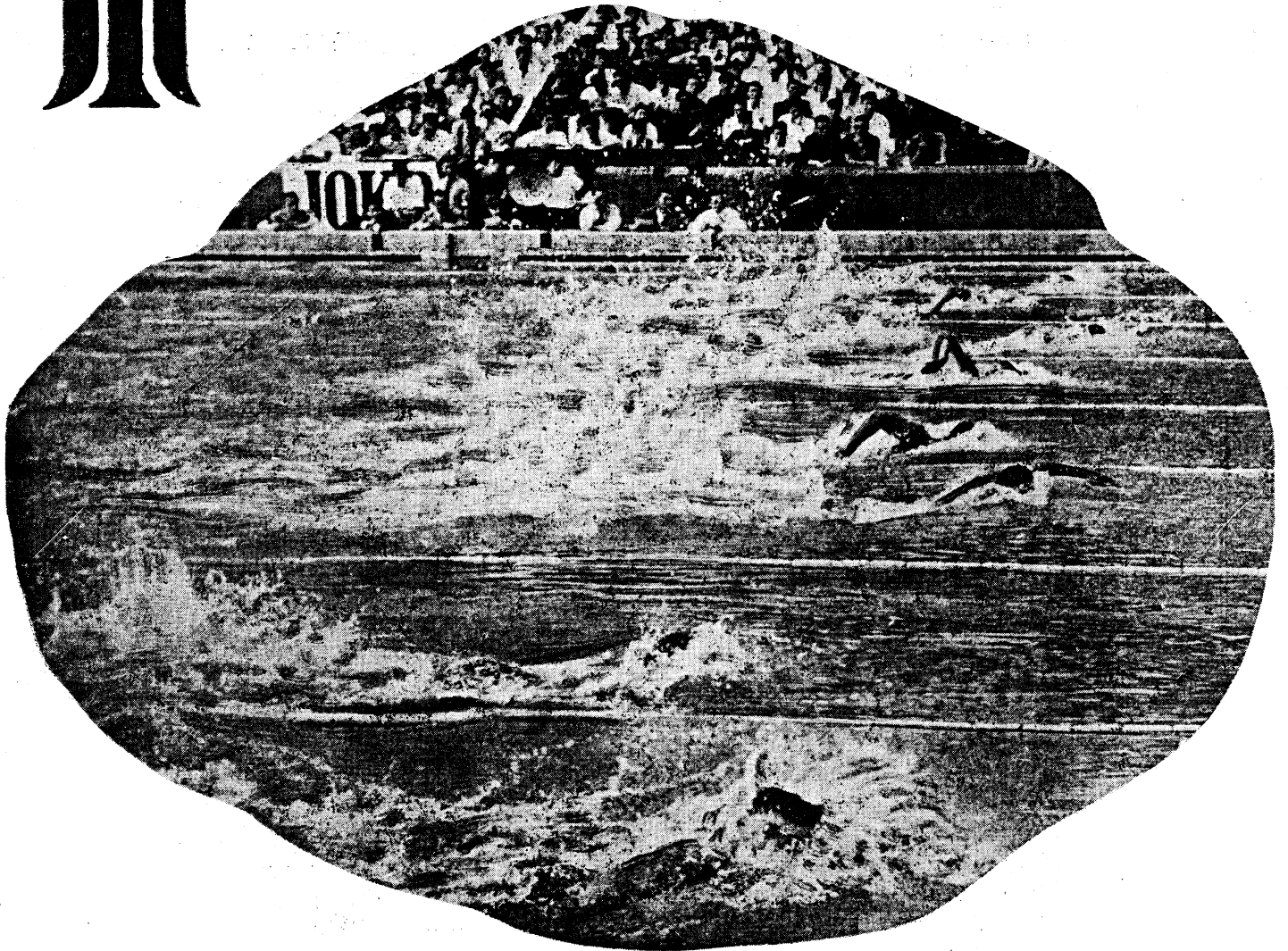


日本水泳連盟  
機関誌

第 105 号  
昭和30年 4 月

# 水泳

# 水



No. 105

“SUIEI”

April 1955

NIPPON SUIEI RENMEI (Amateur Swimming Federation of Japan)

# “水 泳”

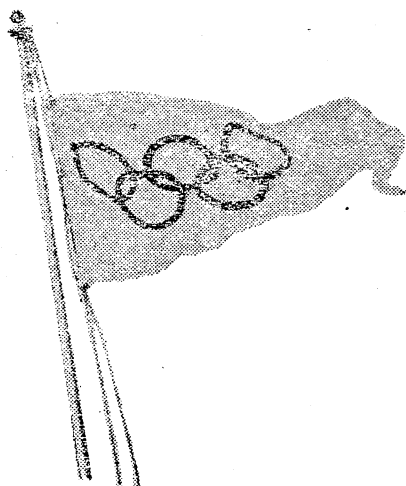
## 目 次

第105号  
昭和30年4月

メルボルンへの道	藤田 明	( 1 )
第1回全日本中学校水泳通信競技大会		( 2 )
F. I. N. A 理事会報告	安部輝太郎	( 4 )
冬期競泳選抜選手合宿練習会	小池礼三	( 7 )
水の 礎	高石勝男	( 8 )
座談会 吾校の練習法	各大学監督	( 10 )
アンケート吾校の練習法	各高校部長	( 24 )
比島に遠征して	太田光雄	( 29 )
技術研究講座		( 30 )
ドルフィン泳法僕の場合	長沢二郎	( 30 )
オフシーズン陸上トレーニングの効果	石田忠彦	( 32 )
短距離選手の今昔	坂本亮四郎	( 38 )
飛 込 二 題	原 秀 夫	( 40 )
水球の泳ぎで動き	名取正也	( 42 )
プールの完成迄	太子堂中学校	( 45 )
海外 ニュース		( 47 )
定例代議員会議事録		( 49 )
連 盟 日 誌		( 60 )

## 昭和30年度主要行事日程予定

6月5日(日)	第27回早慶対抗水上競技大会	神宮プール
6月12日(日)	第20回日・立・明三大学対抗水上競技大会	神宮プール
6月20日(月)	ヨリ26日(日)マデ	水泳指導者講習会並びに検定試験
7月21日(木)・22日(金)・23日(土) 24日(日)	昭和30年度日本選手権水上競技大会	神宮プール
7月22日(金)ヨリ30日(土)マデ	水泳教室	天理プール
8月5日(金)・6日(土)・7日(日)	第4回日米対抗水上競技大会	神宮プール
8月6日(土)・7日(日)	北海道高等学校選手権水上競技大会	札幌中島プール
8月10日(水)・11日(木)	東北	岩手県 金田一プール
8月10日(水)・11日(木)	関東	神奈川県 鎌倉プール
8月2日(火)・3日(水)	中部	福井県 福井三秀プール
8月5日(金)・6日(土)	近畿	大阪プール
8月6日(土)・7日(日)	中国	岡山県 岡山県営プール
8月6日(土)・7日(日)	四国	高知県 高知市営プール
8月6日(土)・7日(日)	九州	福岡県 瀬高町プール
8月13日(土)・14日(日)	日米対抗水上競技大阪大会	大阪プール
8月	日米交歓水上競技大会	高知, 八幡, 呉, 天理, 名古屋, 浜松
8月19日(金)・20日(土)・21日(日)	第23回日本高等学校選手権水上競技大会	神宮プール
8月20日(土)	国民皆泳大会	中央会場
8月27日(土)・28日(日)	第6回全国勤労者水上競技大会	浜松市プール
8月28日(日)	全日本中学校水泳通信競技大会	各都道府県一会場
9月3日(土)・4日(日)	第28回関東学生選手権水上競技大会	神宮プール
9月9日(金)・10日(土)・11日(日)	第31回日本学生選手権水上競技大会	神宮プール
9月22日(木)・23日(金)・24日(土)・25日(日)	第10回国民体育大会水泳競技大会	鎌倉プール



# メルボルンへの道

## — 本年度の新課題 —

日本水泳連盟理事長

藤 田 明

メルボルン・オリンピックを明年に控えた本年は文字通り重要なシーズンと言えよう。欧米濠の諸強豪が冬季にもインドア・シーズンをもつてオリンピック制覇への努力を続けている今日、我が国のみがシーズンオフとして冬を安閑と過すことは許されない。施設の関係で直接水泳が出来なければ、之に代る施策で対応することが必要で、特に伸び盛りの若い競技者層の基礎体力を涵養すると共に泳ぎに必要な筋肉を柔軟にし、しかも強化して、シーズンに入ると同時に飛躍を誘発することが望まれるのは当然のことである。昨秋以来数回斯界の権威者に集つていただいて研究に研究を重ねた結果、冬季の陸上練習に関する指針を作成したのも、この理由に基いたに外ならない。本指針はロサンゼルス、ベルリンの両オリンピックに際して採用した水泳補助運動を骨子とするもので、更に各視野から検討を加え、準備運動・柔軟運動・強化運動の三シリーズに編成したのである。本年一月四日から九日迄横須賀で行つた強化合宿練習は、メルボルン要員たるにふさわしい年令層の俊秀を対象として挙行したもので、上記の諸運動を主要科目としたのは当然だが、併せてシーズン中には多くの時間を割き難いスタート、ターンやバタフライの基本技であるドルフィンキックの習得を併せて練習したので、予期以上の成果を収めたと信じている。メルボルンへの直接的精進が開始されたのであり、今シーズンに於ける之等中堅選手の躍進は注目に値しよう。

中学生を対象として過去二年施行してきた水泳教室は、愈々第三年に入つて本格的な効果を示すことを期待している。この事業は一日も早く軌道に乗せ

ることに腐心したので一先ず男子に限定してきたが本年からは女子にも拡大して、進展の機運にある女子競泳の向上を助長することとしたので、好結果が期待される。

中学生の全国大会が許されていない今日、之に代替する役割の主要部分を水泳教室に依存してきたが、一段と脱皮して、我々の宿願であるインターミドルに一步でも近づく意味で、全国中学校通信水泳大会の開設を採り上げた。全国の鳳雛を一堂に集めて行なう本格的インターミドルに較べれば、隔靴搔痒の感はまぬがれないが、一応大きな刺激を与える効果を待望できるし、素質のある競技者を見出すことも可能となろう。地方に於ける諸競技会との調整等幾多の難関が介在するに違いないが、指導者の方々の御協力を得て効果を十分に發揮したいと考えている。

本年度の最大行事は第四回日米対抗水上競技で、これに寄せられる期待は筆紙に尽し難い。『日米対抗を制するものはオリンピックを制す』という過去の実績から推しても又とない試金石であり、国際訓練を通じて得られる成果は更に大きいに違いない。殊に日米対抗代表選手がメリボルン・オリンピック・チームの中核体を形成する可能性の多いことを併せ考えれば、万全な選手団を結成するため、凡ゆる努力を傾けなければならない。物心両面に亘る必勝態勢を完成するため、この際特に全国水泳関係者の大同団結と積極的な御支援を切望する所以である。

# 第1回全国日本中学校水泳通信競技大会

## 趣 旨

本連盟はかねがね全国中学生を対象とした水泳競技の普及と水泳技術の向上をはかつて参りました。

今般、更に其の目的達成のため、全国中学校の有機的連繋の下、水泳競技に対する中学生の全国的気運を一段と興隆して、若い競技者層を強化形成し、過去に於て示したような世界に誇る水泳日本の実を挙げるための基盤を確立すべく、本年より全国中学校通信競技大会を実施することに致しました。

尚、これが最も権威ある大会となる様、全国加盟団体並びに全国中学校関係各位の一層の御協力をお願い致すと共に全国中学生諸君の奮起を期待します。

主催 日本水泳連盟

後援 文部省、朝日新聞社

全国都道府県教育委員会委員協議会

主管 日本水泳連盟加盟団体

都道府県教育委員会

## 一、期 日

昭和30年8月28日(日)

1日で終了できない場合は前日予選を行つても差支えない。

(註)

速報の関係上、上記期日に必ず終了のこと。

## 二、場 所

各都道府県1会場として両主管団体に於いて協議決定し、日本水泳連盟に報告する。

## 三、種 目

男子	自由形	100米	400米	800米
	背 泳	100米		
	平 泳	200米		
	バタフライ	200米		
	リ レ ー	200米	800米	
女子	自由形	100米	400米	
	背 泳	100米		
	平 泳	200米		
	バタフライ	100米		
	リ レ ー	400米		

以上を通信競技種目とする。なお地方の実情に従い、以上の種目以外の種目を加えても差支えない。

(註)

競技役員、日程及びプール等の競技会運営のため

夫々の都道府県大会を兼ねて行うことは差支えないし、各都道府県の実情に即し、都道府県大会を兼ねて行うことがむしろ望ましい。尚、上記種目以外の種目を加えた場合、その種目は通信競技の対象にはならない。

## 四、競技順序及び時間

速報の関係上、競技順序、及び時間を大体次の通り定める。

男子 200米リレー

女子 100米自由形

〃 400米自由形

〃 100米バタフライ

男子 200米バタフライ

〃 800米自由形

〃 400米自由形

〃 100米自由形

女子 100米背 泳

男子 100米背 泳

女子 200米平 泳

男子 200米平 泳

女子 200米リレー

男子 800米リレー

時間は遅くとも午後4時までに終了すること。

(註)

夫々の都道府県大会を兼ねて行う等のため、通信競技種目以外の種目を実施する場合は前日に之を行うか、上記プログラムの前後又はその間に挿入することは差支えない。但し、通信競技種目については上記終了時間を厳守されたい。

## 五、参加資格

中学校に在学中の生徒で、各加盟団体、及び所属学校長の認めたもの。

## 六、申込制限

1人1種目、1種目につき1校2名以内。但しリレーを除く。

申込後の変更を認めない。

## 七、申込方法

1. 参加者は、申込書2通を都道府県主管団体に提出すること。

2. 都道府県主管団体は、8月23日(火)正午必着にて、開催場所(プール名)を明記し、申込

書各1通を一括して日本水泳連盟に送ること。

## 八、通信方法

1. 都道府県主管団体は、各種目毎に決勝6位迄の入賞者氏名、所属校、決勝順位、決勝記録、プールの長さを明記し、直ちに日本水泳連盟に報告すること。
2. 大会成績は日本水泳連盟規定に基き、プログラムを添えて、9月4日(日)迄に報告すること。
3. 速報の方法については別に指示する。

## 九、短水路記録の取扱方

記録は50米プールに於けるものを標準とし、25米プールの場合、折返し1回増すごとに1秒を加算する。加算に関しては日本水泳連盟に於いてこれを行う。

## 十、採点

### 1. 得点による順位

イ、各種目20位迄を入賞とし、1位20点、2位19点、……20位1点とする。

ロ、同タイムの場合はその等位の得点を平均に分割する。

例1、3位(18点)、4位(17点)、5位(16点)が同タイムの場合は、 $(18+17+16) \div 3 = 17$ 点となり、この場合次位は6位(15点)となる。

例2、18位(3点)、19位(2点)、20位(1点)、21位(0点)、22位(0点)が同タイムの場合は、 $(3+2+1+0+0) \div 5 = 1.2$ 点とする。

ハ、各種目の得点を学校別に累計して、得点の多い学校を優勝とし、以下10位迄を入賞校とする。同点の場合はリレーによる得点の多い方を上位とし、なお決定しない場合は入賞者の数による。

入賞者同数なるときは1位の数、1位同数のときは2位の数、以下20位迄これに倣う。

但しリレーは4名として計算する。

### 2. 入選者数による順位

各種目毎に50位迄の順位を決定し、入選者とする。各種目の入選者の数を府県別に累計して、入選者数の多い府県を優勝とし、以下10位迄を入選府県とする。

入選者数同数の場合は、上位入選者の多い府県を上位とする。

50位に同タイムがあつた場合は、入選と認める

## 十一、表彰

1. 男女別優勝校及び優勝府県にそれぞれ優勝牌を授与し、以下10位迄に賞状を授与する。
2. 各種目毎の入賞者には賞品を授与する。
3. 表彰は国民体育大会の開会式に於いて行う。なお各府県大会の男子、及び女子優勝校に優勝旗(持ち廻り)を授与する。但しその優勝の決定は通信競技種目に限り1等7点、2等5点……6等1点として、得点の多い学校を優勝とする。得点同数の場合はリレーの順位により、なお決まらない場合は入賞者の多い学校を上位とする。以上

## 昭和30年主要競技会要項について

昭和30年度競技会要項は先般決定し、関係方面に配布したが、29年度実施した要項と変つている点を挙げれば次の通りである。

- (イ) 日本選手権——日米対抗の予選会とし、男子50米背泳を200米背泳に変更し、女子は50米バタフライを加える。1名2種目以内の制限を撤廃する。
- (ロ) 地域高校大会——女子50米バタフライを加える。開催府県教育委員会、地域高体連を共催とする。
- (ハ) 日本高校大会——女子50米バタフライを加える。高校生で日米対抗の代表選手に選出された者は地域大会を経ないで申込みことができる。
- (ニ) 全国勤労者大会——男子一般に100米200米バタフライを追加し300米メドレー・リレーを400米メドレー・リレーとする。30才以上に100米バタフライを追加する。
- (ホ) 水泳教室——本年より男子、女子中学生を対象として開催する。
- (ヘ) 国民体育大会——実業団の部に200米バタフライを追加し300米メドレー・リレーを400米メドレー・リレーとする。青年の部は居住地の府県を代表する。その年の勤労者大会に参加した事業所(官庁、学校も含む)に所属する選手は青年の部に出られない。すべて学生及び教員は学校所在地、勤務者は事業所所在地の府県を代表する。郷土対抗リレーは例年通り行うが、水泳郷土を厳守する。水泳郷土に疑義ある場合は大会総務委員に於て裁決する。

# 1954年F.I.N.A.理事会報告

安部輝太郎

今回は伊太利トリノ市で、欧州選手権大会を期として9月6日開催、同大会の観戦を兼ねて8月28日出発、9月15日帰着。

詳しくは以下議事録で御覧願いますが、日本には最大関心事であつたバタフライのオリンピック申込制限は、兎に角F I N AからI O Cに再考を求めることに致しました。それに対するI O Cの反響は目下未だ判明して居りませんが、まだメルボルン大会迄には時間もありますし、我々の主張には十分な根拠がありますから、I O C側が余程変な決定をせぬ限り、我々の言い分は通るのではないかと私は予想して居ります。但し、今後も主張貫徹迄十分な警戒と努力を要することは申す迄もありません。

会議は午前9時から、午後8時半迄強行されましたが、盛沢山な議題があるので、報告や手続上の事項と、飛込、水球の両委員会関係の事柄は一瀉千里に片付けられる傾向が強く認められました。今後は競泳委員会も発足しますが、此の委員会を充分リードして行かぬと、今迄念願して居つた改革の達成はおろか、平泳等で変な規則を案出される恐れも無しとしないので、メンバーの一員として責任を痛感して居ります。

メルボルン大会の審判法として矢張りタイム制の頭が切り替はらないので、これで妥当な結果を得る為めには自動審判器の時計との連動を完成することが益々急務となつて参りました。それには、少く共一年前に完成した物を彼等に試用させて、充分納得させぬと、仲々新しい機械への切り替えに多数の賛成を得る事は困難かと思われまます。

欧州選手権で最も注目しに値したのは、個人ではタンベックの独特なバタフライ泳法と、チームではハンガリーが国家的な背景に加うるに、専門的に高度の指導を有効に行つて居る事が一番印象的でありました。ハンガリーの水球練習法の映画フィルムを貰つて来ましたが、最近の所信によると、タンベック其他の蝶泳、平泳のみを主題にした研究映画をも

完成した由であります。是非入手し度いと思つて居ります。

濠州の少年層開拓工作と共にメルボルンを目指す各国の精進がヒシヒシと日本に迫つて居ります。

## F.I.N.A.

### 1954年理事会議事録抜萃

1954年9月6日 於 イタリア トリノ市

出席者 会長ネグリ (アルゼンチン)

副会長デラーヴ (ベルギー) 副会長リッター (米)

名誉主事ザルフォア (スウェーデン) 名誉会計フアー

ン (英) 理事安部 (日) 同レモアン (仏) 同リンク

スト (フィンランド) 同ピコネル (スペイン) 同ラ

イキ (ハンガリー) 副会長フィリップス (濠) 欠席

議事

1. 会長より理事会メンバーの参加を謝し歓迎挨拶
2. 前回理事会議事録確認。
3. 名誉主事報告。

Ⓐ 1956年オリンピックプールは、在豪F I N A代表より天候の関係上屋内プールにする必要があり、その為飛込プールは20×15となる旨諒解を求め、9対2でこれを採択した。

Ⓑ 地域大会は次の如く挙行され、理事がF I N A代表として参画す、アジア (安部) 中米 (ネグリ・リッター) マキヤビアン (リッター)

Ⓒ ドミニカ、パラグアイ両水連及び中国体協 (台湾) が加盟申請をなし、前二者をC級、中国を仮加盟として承認。

Ⓓ F I N A加盟国数、9月6日現在、75ヶ国

Ⓔ I O C実行委員会と各国際スポーツ連盟との会議、5月4、5日、於スイス国ロザンス市。

Ⓕ 国際飛込委員会は、議長ヴァンデヴェン (ベルギー) 名誉主事マトウィエフ (英) を選任。

Ⓖ 前回理事会以降32件の世界記録の報告。

4. 名誉主事会計報告。

5. 中国（台湾）の加盟は安部理事、並びにI O C 会長の意見を徴し、C級に正式加盟を承認。（注1955年3月中共より、上記の件に対し抗議が出された、しかし正式決定は絶対のものであると信ぜられる）

6. 合同諮問委員会は5月3日ローザンヌ市で開催出席者名誉主事より報告あり。

④ メルボルン組織委員会は各国際スポーツ連盟代表1名の往復旅費を負担、オリンピックに於ける宿舎はオリンピック村内に準備する。

⑤ I O C選定基準に就き、本理事会は討議の上下記決議をI O Cに選定方を名誉主事に指命す。

「F I N A理事会は1953年8月20日の本会決議の通り、I O Cに対する各国代表の選定法が再検討なされ、斯る代表はオリンピック競技種目に関心を持ち、活動する人を選任すべき事を再度強調する。

7. I O C実行委員会と各国際スポーツ連盟との会議は5月4、5両日ローザンヌ市に於て開催、名誉主事より次の報告あり。

④ メルボルンの施設、水泳に関してはホルト化の処置に満足の旨表明。

⑤ メルボルンの水泳チーム参加数を16に制限する件は特別委員会に依り審議させる旨ブランデー氏より発言。

⑥ 役員数は選手数の15乃至30%と内定。

● バタフライ問題、1956年度オリンピックにバタフライの追加を承認、但し各国共申込数は男女共平泳、バタフライを併せて各3名迄とする。

本件に関するI O C議事録は次の通り。

「第16回オリンピック夏季大会に於ては従来種目は削減せず、又一切新種目の追加は認めない、只一つの例外はF I N Aの要請による男女バタフライの追加である。この申込制限は各1国3名以内である。」

このI O C申込制限に対し、次の決議が採択された。「本理事会は(1954年6月15日のI O Cの議事録参照)補欠申込の撤廃は個人種目に関してのみであるこの前提の下にリレーの補欠(2名)、並びに水球の補欠を1名減員し、その代り平泳、バタフライの各3名迄の申込を認める。此の変更は結局増数に増減を及ぼさぬものである。」

8. メルボルン大会。

④ プール、屋内プールは50m×20m、スタート台から30m迄は深さ2m、それより次第に浅くな

り、ターニング台下は1.70m、飛込プール、20×15×4.8(深さ)10m飛込台の踏切よりプールの他端迄の水平距離は14m、高飛込台の両側にはアルミ製飛板と木製飛板が設備されている。

競泳、飛込両プールの間隔は2.4m(註審判台となる)プール両側の歩道は4.5m、表彰式が行はれる。他端のプラット・フォームは4.8m、観客席は5500名、スタンド下は選手控室、及びF I N A事務室。

⑤ プログラム、省略。

⑥ 撮影、省略。

9. 地域大会。

④ アジア大会 5月1日—9日 於マニラ(安部理事報告)

⑤ 中米大会、1954年3月 於メキシコ市

⑥ マギャビアン大会、1954年9月20—29日

於イスラエル・テルアヴィア

⑦ 地中海大会 1954年6月13日—19日

於スペイン・バルヤロナ

10. 世界記録賞状、リレーはチームに対する他、各メンバーに対しても賞状を交附する。

11. F I N A規則に就き次の如く討議された。

第42条 海外旅行 国際競技がF I N A加盟団体によつて主催される場合、改めてF I N Aにその大会の承認を申請する事を要せず。

第53条 プール F I N Aとしては、オーバー・フローはプール両側のみに止め、ターニング(決勝)面にはこの種の構造を設けぬ事を奨める。

第56条 平泳 改訂案の作成は競泳委員会に附記

第57条 バタフライ。

12. 競泳委員会、名称 国際競泳技術委員会

① 構成は8名の委員より成り、その任期はF I N A理事会と同様のものとする、尚本委員会の成立定数は5名とする。

② 役員 議長、副議長、名誉主事

③ 任務

④競泳規則の変更

⑤現行競泳規則の解釈を決定すべき事

⑥F I N A理事会及び総会より役託された競泳に関する事項の討議決定を行う。

⑦必要に応じ分科委員を任命、所管事項を調査研究すべき事

⑧大会に関しプール標準施設の提案用意を備えるべき事

④ 経費、経常費はF I N Aの負担とする。

⑤ 規則の変更

規則の変更は全員の4分の3以上の多数決による。凡ての決議はFINA理事会の承認を要する。1956年度の新理事会選任迄、本委員会は下記各氏を任命する

安部(日) ジョンソン(米) デッシュマン(仏)  
タシュコフ(ソ連) ゲッツ(南巫) モレラ(西)  
グランヂ(豪) ライキ(洪)

13. 国際飛込委員会

8月30日の当委員会議事録

- ① 飛板の最大仰角5度を2度とする
- ② 国際競技用飛板の好適材料の件(省略)
- ③ 国際飛込審判員は一国3名に限る必要なし
- ④ メルボルンプール

委員会の希望に添う飛板の配置自例を準備

- ⑤ 飛込、飛板予選は男女共米国式に行い、規定飛5回、撰択飛2回とし、決勝は8名により撰択飛込5回とする

⑥ A表

濠よりA表に次の飛込、即ち前回半回捻り、前飛1回捻り、後飛半回捻り、後飛1回捻りを加える事が提案され、1956年の委員会にて再検討すべき事に決定

- ⑦ 審判評点の控除案(ソ連)は否決
- ⑧ 女子飛込種目の制限は撤廃し、個人の自由とする

14. 国際飛込委員会議事録報告(9月5日)

1. 8月30日の前回議事録確認
2. 競技時間の短縮
3. アナウンスは開催国語で行う、但し番号並びに飛込態勢を示すカードを明示する事
4. 予選に於けるアナウンスは省いても良い
5. A表中より No. 44, 50, 54の削除

15. 国際水球委員会

委員会議事録報告(8月30日—9月5日)

1. ① 第一条 組織

主催国の11名参加(補欠4名)案(ソ連)を否決

- ② 第七条 ゴール・チャッヂは参加者が正常位置に在る事を赤旗を以つてレフリーに示す、但し笛はゲームの開始又は再開の効果を持つ

2. 第十一条 開始

水面に於ては競技者の如何なる部分と雖もゴールラインより前に在つてはならぬ

(上記はフランス案を改訂し一部を可決したものの)

3. 第七条 ゴール・チャッヂ

フランス提案(競技者の正常在位を白旗を以つて表示する)(本件是正の上可決)

4. 第十四条 コーナー・スロー

若し競技者がゲームの開始、再開又はニュートラル・スロー、フリー・スローにてボールを得味方キーパーにパスしたる時、ボールがゴール・ラインを越えるか、又はネットに入つてキーパーに触れるか否かを問はず、コーナー・スローとする(インド案)依つて現行十六条は廃止

5. 第十五条 通常反則は現行法維持とする

6. 第十八条 f ペナルティー・スロー

反則者は退水(キーパーを除く)

通信投票による国際水球委員会の判例次の通り。

7. 第十条 c に次を加える(判例)スローイングとは球がキーパーに弾き返され、又当つてハネ返つた場合も含む

8. 第十三条に d 項を加える(判例)ゴール・キーパー退水中、他の選手がゴール・ラインよりスローし、波はキーパーの特権、及び制限を受ける

9. 第十五条 n の例示を廃し、改訂する

9. 第十四条に h 項を追加する、競技者が2ヤード線外に去る前にコーナー・スローが行われた時やり直しとする。

10. 第十八条 g 項の判例を廃し次の如く訂正する、ゴール・キーパーの身体の如何なる部分も水面上に於てゴール・ラインより前に出てはならない

12. 次回委員会は必要ある限り、1955年の地中海競技会の際に開催する

16. 議題外議事

IOC 会長ブランデー氏の試案「各国は個人種目に各々1名を申込み得る、尚各国は標準記録以上の成績を出した者を更に2名迄申込み得る」に対し次回之を審議する事に決定した。

- ③ FINA 創始者ジョージ・ハーン氏未亡人に対し生活補助を与える。

以上理事会は会長並びに各役員の尽力に謝意を表し午後8時30分閉会。



# 冬期競泳選抜選手合宿練習会 小池 礼三

期 日 昭和30年1月4日(火)～1月9日(日)

場 所 横須賀観光ホテルプール

指導者 監督小池礼三, コーチ太田光雄, アシスタントコーチ長沢二郎, トレーナー吉田勝平  
マネジャー伊藤謹平

集合 横須賀駅 10時バスにてホテルへ  
11時ホテル, 11.30部屋割, 12.00食事. 結団式, 日程日課発表

目的 ①体操 ②クイックターン ③ドルフィンバタフライ ④スタート, 泳法

日課 起床 6.30 食事 7.30 練習 9.00→12.00  
中食 12.30 練習 14.00→17.30  
夕食 18.00 座学 19.00→20.00 消灯 21.00

分坦 ○ 平バタ (17) 小池, 長沢  
○ 短, 背, 長 (31) 太田  
○ 体操 吉田

## 選 手

自由形(短) 11名

古賀学(早大) 細間輝喜(立教高) 坂井逸次(三  
漕高) 近藤至男(伊東高) 長島務(日大豊山)  
増田勲(日大一高) 菅 毅寿(鶴城高) 岡田洋一  
(中京商) 清光雄二(早大) 浜島明(中大) 清水  
健(立大)

自由形(長) 11名

新宅七郎(五条高) 留川公明(明大) 池尻月男(山  
鹿高) 野々下耕司(鶴城高) 金谷修作(田辺高)  
八木清三郎(夕陽丘高) 坪田暉(小金井中) 山下  
勝次(早大) 庄司嘉宏(明大) 青木行義(日大)  
大野司(日大)

背 泳 8名

長谷景治(早大) 山下栄隆(浜北高) 富田一雄(三  
漕高) 二宮英雄(江南高) 徳永誠哉(山鹿高) 浜  
崎健(宇和島南) 青山欣旦(郡山高) 山口定一(安  
房一高)

平 泳 8名

古川勝(日大) 木村基(城東高) 窪昭博(五条高)  
秋満真(中大) 塚本尋務(中大) 杉山明男(日大)  
仙葉元昭(成蹊高) 戸上雅雄(日大)

バタフライ 9名

伊達英則(浜西高) 石本隆(日大) 竹本元治(法

政二高) 横地森太郎(早大) 石井弘(明大) 渡辺  
進(下田北高) 多田友久(五条高) 末広弘善(佐  
賀高) 前田春雄(山口高)

ヘルシンキ前の強化合宿以来久し振りの合宿であつた今度の横須賀に於ける強化合宿練習にはその対象をメルボルン当時学生であるという観点から大学生は2年生迄以下高校, 中学生を中心として選考しその結果は中学生2名, 高校生28名という今迄にない若い層が集められた。

合宿期間は5日間では従来に比して短いものであつたが, 今度の合宿の目的からしてそれ程不十分なものではなかつた。今度の合宿の目的は以前から是非ともこれ丈は早急に解決しなければならぬと何時も問題になつていた短距離と背泳のクイックターンのマスターと最近形式に流れてきた体操を本格的に取り上げること, それに昨年長沢君等に依つて始められ而も大きな収穫を収めたドルフィンキックバタフライを若い多くの選手に取り入れて貰う此の三つが大きな目的であつた。

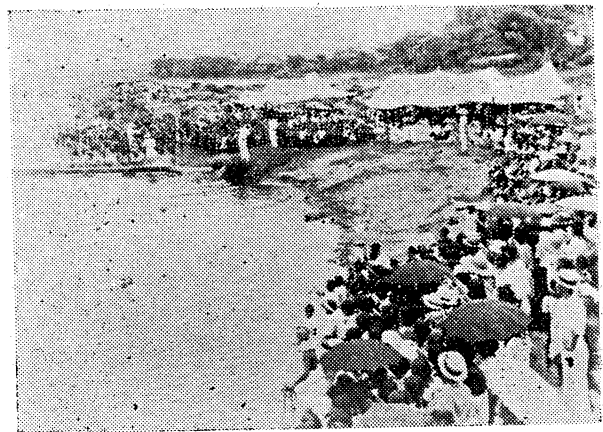
此の目的に対しては昨年充分なものではなかつたが短距離, 背泳のクイックターン, 長沢君のドルフィン水中撮影を含めいろんな角度からフィルムに収めそれを合宿中の夜間眼で見てその翌日プールで実際に実行して見るという方法を反復した結果クイックターンは参加者全員が之れを殆んどマスターしドルフィンも映画の他に直接長沢君の泳ぎを見て貰いこれも殆んど選手のみ込んで呉れたものと思つている。体操は専門家の吉田勝平さんに午前午後2回に亘り相当激しく実施して貰い最初筋肉の硬かつた者も終り頃は可成り軟くなり今後継続することによつて必ず成果はあるものと思われる。唯クイックターンは練習中出来ても実際のレースで之れを行うことが出来なければ何んにもならないので先づ地方の比較的楽なレースから手始めに完全に自分のものにして貰い度いと思つている。今度の合宿は目的がはつきりして居りその目的も焦点を集中することが容易であり, その成果も眼に見えてはつきりしてしたので先づ目的は達し得たものと考えられる。

# 水 の 礎

高 石 勝 男

昭和29年の水のシーズンも慌しく去つてしまつた。5月ともなれば夏のいそがしさを思いかなり思い切つた身構えであれもしたいこれもしたいと、考え乍ら其の渦中にはいると唯夢中で過ぎ去つた跡でほつとして、はて今年をやつた跡は何だつたらうと思ふ。全く水のシーズンは戸外のプールに100%依存している限り線香花火の様ないそがしさと、華麗さとそしてすんだあとの味気なさを繰り返すばかりだろう。こうした短いシーズンを迎え送りする中に、日本の水泳も逐次増強しつつあるのは水泳人の此の上なき欣びである。去年も6,7の2ヶ月間強化講習の旅を続けた。何処へ行つても水を通じて同じ志の人達が一生懸命若い選手の養成に努力をされている。夫々が大小の目標を置いてひたすら怠け盛りの雛選手を引張り出して居られるのを見るにつけ、こうした力の結集が日本の水泳発展の根源をなしているのだとしみじみ感ずる。そしてそうした努力に何となく頭が下り無限の感謝を捧げている自分に気がつく。過去30幾年日本の水泳発展の跡をたどると、数々の人達のかくれた苦心努力がどれ程力強く貢献したかを思い起す事が出来る。その人達の手から数々のオリンピック選手達が生れたのだ。斯く云う私も育てて貰つた一人であつて、生みの苦しみ、育ての困難は未だに経験がない。せめてそうした人達の一助にでもなればと考えて強化の仕事をしている次第だが、直接選手を生む責任は果されていないのを恐縮している。只私が云い度いのは、日本の水泳は選手を生み育てている人達の努力の結集で今日になつたのだと云う点である。尊きものは生みの親だと云う事をもつと切実に認識してそうした人達をもつともつと日本の水泳を身近に感じられる様な措置を講ずる必要を痛感する。然し実際はそうした人達は決して表え出たがられない様だ。水の礎として終始縁の下で黙々と努力を続けていらられるだけだ。有難い事だとしみじみ思う。最近奈良県で国体があつた。私共は大会本部と云う名称で高安と云う教会に宿泊した。こうした大会には各地域で水連の会長

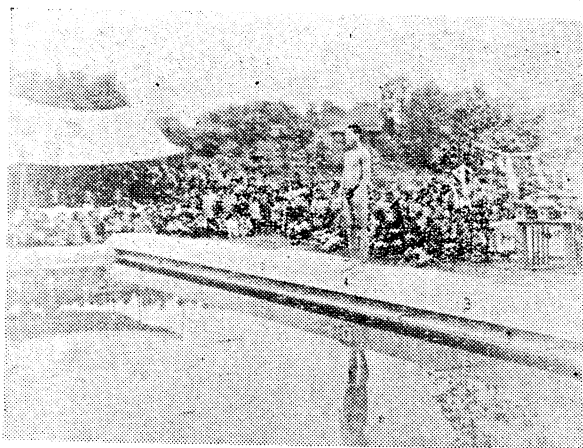
或いはそれに代る人達がかかり顔を出して居られた様だつた。其の時の色んな状況を判断して何となく割り切れない気持を持ち乍らそれを何とも出来ない立場を困つていたのは私だけだつたらうか、私にはよくわからない事が多い。只強く思うのはそれでよいのだろうかと云う事と、こうしたやり方より地方の水泳の中心となつて協力されている人達に日本の水泳の本体をもつと身近に感じて貰える機会を与える必要はないのだろうかと云う事だ。話が一寸横にそれたが方々を巡り歩くと、到る処に何人か水の礎となつている人達を散見する。中に極少数だが手をとつて感謝したい気持になつた人が居た。ここに御紹介する小牧さんは其の一人だ。九州鹿児島島の宮ノ城、ここは川内川沿いの山の中の静かな町だ、私共が宮ノ城の名を知つたのは極めて新しい、然しここで小牧さんが水泳を普及させるのに努力されたのは随分古い頃からの様で誰一人水泳なんてものに興味を持たなかつた昭和の初めから、今日迄終始一貫水泳だけに生きて来られたと思える程御熱心な方だ、勿論水泳は余技で立派な事業を本職として持つていられる。私は残念乍らどうした動機で小牧さんが斯く水泳に熱中される様になつたかを聞き洩らした。川内川は九州でも有名な大川の一つだ、特に水深の深いので有名な川だ、其の川の中にスタート台を設



○河原に天幕を張つて水泳大会をやられた時の実況

けて水泳大会を小牧さんが初められたのは随分古い事の様だつた。ロスアンゼルス、ベルリンの両オリンピックで日本選手の大活躍は小牧さんを強く刺戟して川の泳ぎからプールを造る悲願を持たれる様になつた処が、小牧さんが先づ困られたのは場所である。遂に適当な土地を提供して貰えず、川内川の河原なら誰のものでもないで結局川の中にプールを作られたのが昭和16年の秋だつた。勿論建設の費用は元より設計から監督まですべて自分の独力で完成された。プール開きにはベルリンオリンピックで活躍した葉室、遊佐両選手を初め多数のオリンピック選手を招いて盛大に行われた。

其の後も年々時の有名な選手を招いて宮ノ城の選手の育成に努力された。記念すべきこのプールも先年の台風の際、破損して今では使用しないで放置されているが、今日では小学校、高校及、附近の中学校に立派なプールが出来上つていて、近く宮ノ城中学校にもプールが出来る予定だそうである。今では宮ノ城高校も九州の女子水泳界を牛耳っている。そして町でも町長はじめ多くの人達が熱心に小牧さんを支援して本格的な水泳町に迄発展した。私は小牧さんの熱意で宮ノ城がやがて第二の五条になる日が来ると確信している。しかし乍ら誰もかえりみなかつた時代から終始一貫努力を続け私費を投じて立派



○昭和16年11月3日プール開きの日立てるは葉室選手プールは天幕の向つた右の端当りから、右へかけて造られた

なプールまで造り自らは蔭にかくれてあくまでも水の礎に甘んで来られた小牧さんを特にここに掲げて感謝の微意を表するのは、水に志す者として当然だと考える。最後に繰り返し云いたいのはこうした人達の力が日本の水泳を強くして来たのだと云う事だ。熱心な指導者が一人でも多く出て下さるのが何より望ましい。改めて小牧さんに衷心感謝を申上げると共に益々御健康でいつまでも日本の水泳のため水の礎になつて頂き度いと念願している。

## 胡麻鶴君の名譽の為に

昨年読売スポーツ12月号に「五輪大会には誰れが有望か」と題し浅田斐彦氏が次のような意味のことを書かれ水泳に関心を持つ人々の注目をひいた。

「胡麻鶴が2.40.0の世界最高記録を出したので200米平泳はメルボルン大会に最も有望な種目だと云つて日本水連は甚だ得意そうであつたが然し間もなく東独のH・ワールマンが50米プールで2.39.6の世界最高記録を出したので、忽ち不安におそわれた。」

丁度その頃日本水連では長水路世界競泳10傑を調査中だつたので、その真否を確かめるべく、渉外の川田さんから西独水連宛問合せ状を発送すると共に私より電話で浅田氏に問合せた、浅田氏はフランスの雑誌で見たと思うが明日中に期日、場所等を電話するとの事であつた。数日して私より更に電話した所「あれは…どうもね…まあないことにしておいてく

れ」と先方から電話を切られた。

本年2月23日西独水連名誉主事アーサー・バース氏より

「東西両ドイツにはお問合せのH・ワールマンという選手はいない、長水路200米平泳2.39.6を出した人もいない、他の欧州諸国を調べて見たが見当たらない、本年欧州で同種目の一番よい記録はポデンガー（東独）の2分40秒8である」との返事があつた。

この問題は以上で読者諸氏の御判断に御任せしたいが、いやしくも世界最高記録をそう簡単に創作され発表されては堪らないと思ふ、……日本水泳界と胡麻鶴君の名譽の爲め、真面目に水泳に取り組んでおられる人々の爲め、惑わされたであろう水泳愛好者の爲めに真相をお伝えする。

(島田)



左から坂本中大監督、赤樫慶大監督、村上日大監督、小池専務理事、藤田理事長、村上早大監督、太田立大監督、竹林地明大監督、川田常務理事

時 昭和30年 3月29日

場所 水連事務所

出席者 藤田明 小池礼三 川田友之

監督 村山修一 村上勝芳 坂本响一

竹林地文雄 太田光雄 赤樫卓爾

川田 きようはお忙しいところをお集まりいただきまして、大変有難うございます。

シーズンに先立っているいろいろと今年のシーズンはじめの練習方法、才能のある選手をどういうふうに伸ばすか、また新しい選手をどういうふうに仕上げて行くか、あるいは停頓している選手にどういうふうな考慮を払うか、といったことについて皆さん方のお考えを腹藏なくお話いただきまして、水泳誌の購読者ならびに日本水泳界の指導者、選手諸君の御参考にしたいと思ひます。

いろいろ技術的なことがございますが、これはひとつ藤田さんが話の引出し役になつていただきまして、各方面にわたつてお話願えれば非常に幸いと存じます。

藤田 きようは学生部会のシード校である早稲田、

日大、中央、明治、立教、慶応の六大学の監督の方々にお集まり願ひ、水泳の練習に関する座談会を行いたいと思つて御参集いただきました。

学生部会の日本水泳界における地位は今さら申上げるまでもなく非常に大きい存在で、日本水泳界の競技力の大半を占めているということがいえるので、皆様からお話を承ることは水泳界の第一線に躍進して来ようと考えておる高等学校なり中学校の選手はもちろん、選手の指導に當つておられる方々にも非常な参考になると思ひます。そこでひとつ、皆さんから忌憚のない御意見を承りたいと思ひます。

皆さんをお待ちする間に、ちよつと時間がありましたので昨年度の資料などを調べて居たのですが、オリンピック種目である100,400,1500の自由形と、100背泳、200平泳、200バタフライ、この六つの種目の昨年の10傑表をずつとみますと、総数60人のうちシード校の選手が48人、高等学校の選手が9人、其他の選手が3人というように、約80%をシード校で占めておる現況です。これを20傑に拡大してみても、シード校が約65%高等学校が26%という比率で、皆さんがもつておられる選手諸君の質といい量といい、日本の水泳界における

地位が極めて高いので、きょうの座談会は非常な関心を呼ぶことゝ思います。

最初に、冬のオフ・シーズンの間の練習をどういうふうにやられたかをお聞きしたいと思います。オフ・シーズンの練習と申しますと、温水プールを利用しての練習、体操その他陸上における練習と二つに分けられると思うんですが、本年度のオフ・シーズンに温水プールを使つて練習された学校はどこどこですか。

**竹林地** 私のところ（明治）はちよつとやりました。3月20日から今月一ぱいこれをやります。最初の一週間は大体水に慣れる程度で、各選手一律に1000メートルばかり泳がせました。1回目、2回目400ぐらい泳がせまして、一週間後の27日ごろから短かいところ3300ぐらいとんで、それから1000、そのあと600からピーティングをやる練習をやっております。きょう（29日）はじめてタイムをとりましたら、200プレストで去年の最高記録が長水路で2分47秒の者が短水路で2分46秒出しております。

**藤田** ずい分早く回復したね。

**竹林地** プレストが一番回復が早い。長距離はまだ調子が出ません。足立あたりがやつと400で5分切る程度です。

**村上** 私のところ（日大）は正月の4日ごろから1週間ばかり志戸平で練習をやりましたが……、3月ぐらいになれば相当泳がせてもいいんですが、正月と申しますとまだ泳がせても泳げないんですね。最初200ばかり泳げばいい方で、大体200から400それから800ぐらいまで何ということなしに泳がして水を思い出させることと、チーム・ワークをとつていくことぐらいの練習しかできない。高校生にはこういうことをやる必要はないと思いますが……。

**村山** 私のところ（早大）では毎年1月にそういうことをやつております。これをやらなきやどうだとか、やつた方がいいという結論もまだ出ていないわけですが、ただチーム・ワークのためにやつているだけです。

**藤田** 早稲田は去年は蓼科のプールでやつたが、今年はやらなかつたんですか。

**村山** 今年はやりません。

**村上** 日大は4月3日から1週間横須賀のプールでやります。竹林地さんがいわれた程度のところま

でみんな泳げるんじゃないかと思います。主にフォームの矯正なんかを重点において行きたいと思います。

**坂本** 中央大学も去年の暮にYMCAで約一カ月練習やりましたが、これは強制的ではなく、希望者は行つて泳げという程度のこと、大体20名ばかり希望者がおつてやつたわけ。選手自体に練習を任せ、私なんかプールに行つたことは一ぺんしかないんです。一カ月間主に体操を主体にやりました。

**藤田** 今体操の話が出たんですが、体操とかその他陸上における練習をおやりになつたところありますか。

**太田** 立教は去年の暮から冬中続けており試験中一時中止しましたが今また始めております。

**藤田** それは主にどういうふうな練習方法ですか。

**太田** 結局水連でやられたような柔軟体操を主としたもので、固くなつた筋骨をほぐすとともに、この間横須賀でやつた強化の体操も一つの練習の課程としてやつたわけ。

**藤田** 水連が去年シーズン・オフに於ける主に陸上練習のために教本を作つて、準備運動、柔軟体操、強化運動と三つのシリーズの練習体系を發表しましたがそれをどういうふうに取り入れられたか、もし実際にやつて下さつた学校があれば意見を述べて下さい。

**村上** 柔軟体操というのは、僕等は今までやつていたんですが、冬の間これは非常にいいと思いますね。この間水連でやられた時には、うちの連中の体が固くて叱られたような有様だつたんですが、冬の間は一番筋肉が固くなるんじゃないかと思うんです。だからこれはどうしても冬の間やつておかなければ、夏になつてオイソレと間に合わない。またかけ足もやつてみたんですが、やつぱり大学生では少し足を固くするんじゃないかと思う。芝生の上を走つたらいいといわれておるんですけど、結果的にはあんまり走らん方がよくはないかと思ひますね。

**藤田** 中大は去年の暮でYMCA泳いだり体操したりしたというお話でしたが、主にどういう体操をやりましたか。

**坂本** やはり水連が作られた柔軟体操に準じてやつたんですが、先立つて横須賀に行つた連中の話によると、それよりもむしろ中央の体操がキツかつ

たというんです。マット・ワークと柔軟体操の組合せなどいろいろ取混ぜてやつて……。それからプールの付近の空地を利用して主にサッカーをやらした。まあその程度ですね。

**藤田** チェスト・ウエイトなんかは使わなかつたんですか。

**坂本** チェスト・ウエイトはプールにありますから、毎朝起きたらすぐに200回ぐらい、ひかしています。

**藤田** その他にチェスト・ウエイトとかエキスパンダーを使用したところはありませんか。

**赤塚** 慶応は学校が分れているもんですから、全部そろえるのは日曜日だけで、大体2時間ぐらい水連の体操をやっているわけです。朝起きた時にはエキスパンダーを引かしたり、肩の固いやつは肩だけ特にやるとか、個人的な体操をやらしている。「お前は肩が固いから肩をよくしろ」「足が弱いからナワ跳びをやれ」……と云うふうに。

**藤田** シーズン・オフの練習はこれくらいにして、大体いつごろから屋外のプールを利用して練習を始めますか。それと合せて、6月の第1週か第2週にあるシーズン最初の競技会までどういう練習のスケジュールを組まれるか話して下さい。6月の初めに競技会がないのは中央大学だけで、ちよつとさびしいような気もしますが、あとの5大学の方々の練習計画なり強化の方針をひとつ……。

**竹林地** 私のところでは、3月一ぱいで水に慣れると思いますから5月15日ごろからオープンに出るつもりでおります。それまで大体トレーニングで過して、オープンに出ますとすぐスピードつけて練習できると思う。最初フツ飛んで種々タイムをとつてみるということをやっています。

**藤田** それは玉川プールでやるわけですか。

**竹林地** 玉川はちよつと冷たいですから、5月中旬ごろまでどこか静岡の暖かいところへ行かなければいけないと思つています。

**藤田** 立教はどうですか。

**太田** 5月のはじめごろから水へ入ろうと思つていますが、一応水に慣れるまでは強化というものをやらないで、試合に近づいてから——暖かくなつてから強化などの面を個々にやつて行きたいと思つてます。今度私はフィリピンへ行つて感じたんですけれども——これは一流の選手だけ行かれたんで、一般の選手にあてはまるかどうかわか

りませんが、現在の一流選手程度になれば、少しの練習で体も気持もシーズンのトップの状態になるんじゃないか……と思つたんです。そういう面からいつて、相当水に慣れてしまえば、試合近くになつて猛烈な練習をしても、大体ベスト・レコードに近いものが出て来るんじゃないかと思ひます。

**藤田** 早稲田はどう？

**村山** 今年、温水プールでの練習をやめたというのは、結局今までさほど効果が現われなかつたからなんです。体操をやつてみても風邪をひいたりして割合事故が多かつたものですから、今年は断念したんですが、6月のはじめに早慶戦があるので、例年通り4月にみな集まつて、その月一ぱいは早稲田の東伏見プールは冷たいですから、その間は25メートルぐらいのプールで水に慣れるという程度にしたいと思つています。5月のはじめからは正式に規則立つた練習を東伏見でやる予定にしています。

**藤田** 日大はどうですか。

**村上** まだ別に決めてはいないんですけども……。大体五月中旬ごろはすでに水が相当暖かくなりますから……。

**藤田** オープンに出られるのはいつごろになりますか。5月の中旬ですか。

**村上** それまで泳げば泳げますけれど、三大学までは一カ月近くありますから……。

**村山** 4月中はどうしても自由練習になりますね。僕らはとてもそういう規則立つた練習は無理じゃないかと思う。それと同時に、学年のはじめですし、そうやたらに学校の方も休むわけにいきませんから、自然まとまつた時間に集まることは無理じゃないか。また気候も冷たいですからどうしても自由練習やるようになりますね。早稲田は大体4月はそんな所で、5月に入つてから除々に規則的な練習に入つて行きたい……。

**村上** 学校の方の話になるんですが、4月の学年始めに一週間ぐらい続けて出ていると、あと少しぐらい休んでもいい。ところが最初に出ないとあとがとつてもうるさいですからね。

**赤塚** 単位撰訳とか何んとかで……。

**村上** そうしますと、やつぱり4月は朝早く起きて体操する程度で、あとは帰つて来て自由にやるという程度じゃないですか、どこの学校も……。

**藤田** それは結構な話ですね。やつぱり学生選手だ

から学業を忘れるわけに行かないんで、先ず選手を督促して学校へ出すというふうによつていただいたら非常に結構だと思います。

**赤樫** 慶応なんか人数が少ないし、特に弱体になっているので練習量もふやさなければいけないけれど、四月一ぱいはどうしても無理な様だし屋外プールで体がコチコチになる様な時に入れるのは効果がないと思うが、だからといって温水プールが全然利用できないので……20日頃から風呂に石炭をどんどん炊いて沸かし、シーズンはじめは体を浮かす力をつけるのが最大の目的だから、大体1000メートルぐらい泳がせる。これは4月20日ごろからずっと続けて5月10日ごろまでやるわけです。5月の10日ごろから練習時間を決めて、まず足だけでやっている。その後5月の20日ごろから、早慶戦が近いので本格的なものになる。3年間いろいろなことをやつてみたが、最初から水になれないと、ダッシュをやつても何をやつても結局オカシなことになる。5月20日ごろまではただ泳がすだけしかやれない。

**藤田** 無理をしないで、水に慣れるということが主眼になるわけですね。

**赤樫** しかし距離は泳がせますよ。

**坂本** 今の話を聞きますと、中央はよそさんより少し早いような気がします。もちろん6月の試合もないですから……4月10日頃プール掃除をして水に入るのは諸校と同じで、自由練習させます。何故今年早くしたかという理由は、ポロの選手の練習をさせる意味で早くしたわけです。競泳の連中は、去年は大体本格的練習を始めたのは5月中旬で、それまでにある距離の課題—2万メートル泳げとか、3万メートル泳げとかいう課題を与えたわけだが、今年それをやるかどうかはまだ決つておりません。

**赤樫** 年毎に気候が暖かくなるのがだんだん早くなつて来るような気がするが、やはりオープンでは5月20日ごろじゃないか。それまで東大のプールとか、ああいうプールがあると泳ぐのに非常にいいと思うが、無理して冷たい水へ入るのはどうかと思うよ……。

**藤田** 去年はアジア大会があつたため、水連で東大プールを暖めて各学校に開放したが、今年は差当つてシーズンのはじめに大きい国際競技もないので、東大プールを数十万円の費用をかけて暖める

ことは、やめたいと思つています。そのかわりといつては語弊があるが、すでに発表されたように4月29日から5月5日まで休日の多い「ゴールデン・ウィーク」に高等学校の選手を集めて、水連の強化合宿練習を横須賀の温水プールでやる予定です。

**小池** それぐらいの時期がちようどよかつたな。いろいろ聞いてみると……。

**藤田** 高等学校の選手を4月の終りから5月の初めにミッチリ泳がせて、帰校したら直ぐ屋外プールで引続き練習に入るという構想です。時期としては4月のはじめよりも5月のはじめの方がよかつたような気がします。

**小池** 高等学校の場合は今度選んだ時期は適當だと思ひます。大学の場合いろいろお話を聞いてみますと、三大学、早慶戦はシーズン初めの試合であるという点では価値は認めるが、本当のいいコンディションで、いい競技をやることになると、あの時期が早すぎやしないかという問題が今の練習方法からいくと起きて来ると思ひます。シーズンはじめに、一発あすこで同じコンディションで試合をやるということは、伝統もあるし非常にいいと思ひますが、そうかといつてシーズンと学業の問題、水温の問題で練習を早めて行くこともむづかしいと思ひます。昔私たちの時代は4月の10日ごろには大体水へ入つたもんです。それがだんだん文化が進むにつれて（笑声）非科学的な点を是正して、科学的になつて来たことはいいことだと思ひます。冷たい水に入る、その意気や壮とするものがありますが、無理して水へ入つて「オレは水を割つて泳いだんだ」という時代ではなくなつたと思つてゐるんですよ。だけど、やはり6月に試合があれば……例えばヘンリックスは来年のメルボルンために、来年の勉強を今年中にやつて来年は泳ぎに専心という行き方をしている。4月は勉強で、できないから3月の休みの間に、比較的若い連中は練習を先へやつといて、あとの時間を勉強に振向ける。新人に関しては、少なくとももう一歩積極的に……。大学に進学するものは大切な時期だからできないけれども、それに施設もないという点もあるし……使えればYMCAあたりは1カ月500円か700円位ですから、その程度でいいんだつたら、チームとして云々ということじゃなく、各個人が個人の休み中にそういうところま

で使つて何んとか水泳を伸ばして行きたい、という熱意はほしい気がするね。しかし何も700円分の熱意を出せということじゃない。4月、5月から練習をやり始めて、早慶戦、三大学をやつてしまうと8月までは試合はないから、その勢いでオール・ジャパンに重点をおくものもあるだろうし、またインターカレッジに重点をおくものもあるだろうが、一つ失敗すれば、そのシーズンにおけるその人の競技内容は失敗するという非常に不安定なものだから、もう少しシーズン中にコンスタントな力で、それにプラス・アルファをねらえるように、積極的にやつてもらいたい。科学的に進めて行くことは結構なことだが、もう少し熱意がほしいな。中央なんかその点じや相当やつておられるように見受けられるが……。

**坂本** 最近、小金井一中の水泳部長の金田先生から聞いたことですが、武蔵小金井と武蔵境の間に変電所があるらしい。詳しいことは聞いていませんけれども、プールといつても名ばかりで、長さ15メートル、巾10メートルの水溜りです。それが3月末日か4月から電気で水温を上げることができるんです。水温は30度近くだそうですから、少し暖かすぎると思うが、場所も狭いし、全員は無理だから主だつた選手を一ぺん行かしてみても、どういう状態か一、試験的にやらしてみようかと思えます。

**藤田** それはおもしろいね、今、小池君がいろいろ今年の競技会のことに触れたけれども、大体インターカレッジの主力学校が大きい目標を持つ大会が3つあると思う。それは、中大を除いては6月はじめの早慶戦、三大学戦。それから7月おわりの日本選手兼日米対抗予選。秋のインターカレッジでこの三大競技会に対する各学校の対策というか、練習過程でどこに重点を置くかを大いに話して下さい……。

練習スケジュールなどを公開していただいたら結構なんです……。

**川田** 日本水泳界のために、いかにしてコンディショニングをやるかということ、各校共秘密に属す事でしょうが……是非お話し願いたい。

**村山** われわれの目標としては、早慶戦とオール・ジャパン、インターカレッジの3つがある。各試合にはベスト、コンディションで臨むことは当然ですから、インターカレッジは選手の出る具合も

ありますが、大体僕の方としては早慶戦ならびにオールジャパンに対して別に練習方法が変ることもありません。ただ早慶戦はシーズンはじめで、記録的には大きな望みはかけられないと思うんですが、小池さんがいわれたように、シーズンはじめの試合であるというだけしか意味がないと思つていんです。そうなつてくると、早慶戦で泳ぎ込んだコイディションをオールジャパンにもつて行くだけで、特別な練習をし、練習方法を変えることはないです。しかし練習の量はおのずからふえて行きます。私は早慶戦というのはシーズンのはじめですから、特に体をこわさなければいいんじゃないか、もちろん対抗戦ですから慶応に負けることがあるといけません……（笑声）ですから早慶戦でいい記録を出そうということで、練習をミッチリやることは気候からみて無理な要求だと思えます。早慶戦は一応レコード会のような気持で選手にやらすつもりです。（笑声）それによつて除々にオールジャパンにもつて行く。それが終れば、われわれの目標はむしろオリンピックとか海外遠征の選考会——があるという時はまた別ですが、今年は特に日米対抗があるから予選の時にトップ・コンディションにもつて行くような気持で5、6、7月にウンと練習したいと思つてます。日米が終ればあとの目標はインターカレッジになるんです。きょう前に強敵がおるんですが（笑声）……。何といつてもインターカレッジを頑張らなければいけない。インカレはオールジャパンとは主旨が違つて、いくら一人ずつ抜けて強くても、あと2、3、4をとられてしまえば何にもならんし、層を厚くして、各人何としてでも1点は拾う。出れば一種目に4人は出られるだから、4人共決勝に残つて——そういう気持は口うるさくいわなくても選手が認識しているでせう。

インターカレッジの優勝はなかなかむずかしいですから、その点出場メンバーにも気を配らなければいかん。それにはまず他の学校の大体出場しそうな顔触れの予想もしなければいけないし、それとにらみ合せてこちらの陣容を整えなければいかん、共食いになつても困る。その点オールジャパンとは趣きが違つて来ますね。要は今度オールジャパンを目標に、徐々にトップ・コンディションにもつて行きたい。オールジャパンで大体初期の記録が出ればインターカレッジにつぶれてしま



うことは考えられません……。ですから、今年  
は結局オールジャパンを第一主義にして優勝者を出し、その勢いでインターカレッジに臨むことになると思う。

**藤田** オールジャパンで選手個人の力を最高度に発揮させて、インターカレッジでは個人よりもむしろチームの総合力を発揮しよう……というわけですか。

**村山** 結局そういうことですね。対抗戦ですし、オールジャパンは個人的な試合ですから……。ただその間に、オールジャパンには入賞する実力はなくても、インターカレッジには何としても、決勝に残るといことはチーム・ワークとして大変大切なことなんですからね。オールジャパンの2軍3軍をインターカレッジ要員として育てていくことは考えているんですがね……。

**藤田** 早稲田は大体率直に述べられたようですが、日大はどうですか。

**村上** (笑いながら) 大体オールジャパンまでに相当な所まで行ければ、インターカレッジは作戦の組み方があるということなんです。

昔の6年制度の大学と、現在の4年制度の大学とではちよつとやり方も変つて来て、昔のようにノンビリとやっていたんでは4年間に実力発揮させるのは無理と思う。そのためにはもう少しシーズンを長くしてもらえばいいんじゃないかと考えているんです。その点で去年のようにアジア大会の関係でシーズンが早ければ三大学も非常に楽になつて来るんですけども…三大学の練習をオールジャパンとかインターカレッジなりにみんなそろつて合縮練習するには学校があるためにできないんですが、6月12日の三大学の試合の日まで学業の許す限りミツチリやりたいと思う。特にフレッシュマンに対しては時間は限りませんが、この一カ月に大体調子を出すようにやつてもらいたい。オールジャパンでは三大学の記録を上回るような調子にもつて行きたいと思ふ。オールジャパンの合宿練習は夏休み中ですし、朝晩の練習はできるんじゃないか、水は暖かくなつて来るし……<sup>o</sup>どこの学校もそうだろうと思うが、4年制というのはやりにくいですね。

**藤田** やりにくいね。

**村上** 選手を育てるのはなかなかむづかしくなつて来た。その点でまた考えなくちやならない課題は

相当あるんじゃないか。

**藤田** 村上君がお話になつた、フレッシュマンに重点をおくことは結構だと思いますが、他に何か特殊な指導方法をお考えになつていませんか。

**村上** 特殊といひますか、私のところは全部が全部一緒くたに泳がせない。例えばやせた人とか、肥えた人とか、その人に応じて練習量や練習方針が違ふ……という形式をとつている。

**藤田** それは全シーズンを通じて?

**村上** いいえ、三大学までです。鍛練期間の練習方法としてやつているわけです。あまり冷たい期間にやせた人を無理矢理泳がせると参つちやうんです。

**藤田** 中大はどうですか? 6月に大きい競技会はやらないで、いきなりオールジャパンにぶつかるわけですが、何か他の学校と交つた練習方法を探つて居ませんか。

**坂本** 練習方法は別に他校とは変りないが、今村上さんのいわれたように、オールジャパンに選手として経験あるもの、しかも今まで相当の成績をあげたものはある程度放任、といつたらおかしいがだまつてみておいて、特に新人の養成をやると思う。その方法は、私の場合では、この期間はこの選手と決めたらそれ一人に、選手30人おるとすれば、29人をその男に当らせるつもりです。自由形とブレスト、バックと分れているが、人教はもつと少なくなります。それ1人をバックならバックの選手が全部で育てる、マークさせるわけです。そういう練習方法でやつて行こうと思つています。

**藤田** 非常におもしろいな。明大は?

**竹林地** 特にこうするということはありませんが、ただ三大学が終つたらオールジャパンまで期間がありますから、その間、オールジャパンの始まる10日ぐらい前まではロングでどんどんしぼります。そして10日ぐらい前からコンディションを整えてオールジャパンにもつて行く。これが終つたらインターカレッジの10日ぐらい前まで相当長いロングを泳がせて行きたい。

**藤田** 短距離選手も同様ですか。

**竹林地** 短距離は私のところにはおらんもんですから、長距離の練習方法なんです。

**藤田** 立教は?

**太田** 私はまだ5日前に監督を拝命したばかりで、素人なんです、根上さんなどの御意見によつて

これからいろいろプランを立てて行くわけです。大体私の考えでは、一つのシーズンには3つのポイントがあると思う。まず一回目の三大学はいわゆる新人戦、新人と今までやつて来た連中の、そのシーズンに対する瀬踏みという考えで、三大学にはそれほど完成されたコンディションはそう考えなくてもいいと思う。次のオールジャパンには個人個人の実力を発揮させ、インターカレッジにはチーム全体の総合力をもつて行く。大ざつぱなところそういう目標をもつています。

藤田 3つとも合宿練習をやられるわけですか、その前に……。

太田 大体やる予定にしています。オールジャパンの方は、今のところどうなるかわかりません。

藤田 三大学とインターカレッジには合宿練習をするんですね

太田 そうです。

藤田 慶応はどうです？

赤樫 うちが主力というわけじゃないが、合宿とか何かをやるのは早慶戦とインターカレッジだけです。オールジャパンはそこまでやるわけに行かないんです。早稲田や日大、立教さんは、三大学とか早慶戦には体をこわさないようにトップ・コンディションをもつて行かないような、余裕のある練習はできると思うんですが、私の方は無理とはわかっていても早慶戦に全勢力をあげても、それでも試合ができないような状態ですから、とにかく今年のシーズンは全力を注ぐつもりなんです。泳ぐのは5人くらいですから、全部体をこわしたところで5人しかおりません、そういうわけです。つまでもこのままでじや早稲田に対しても対抗戦として内容からいつてよくないし……とにかくプールができるまでは選手は非常に可哀想だけれども、早慶戦だけは無理をさせてやるわけです。今年の早慶戦なんか、得点のことまでいえないと思うんですが、たとえ一点でもいいから得点するつもりで、今年は相当早くから練習させるようにしたいと思つてます。あとのインターカレッジの目標は、主力でもいいから残るといふわけです。オールジャパンはやらせません。特に日米対抗をねらうというやつは、私の方でも何とか便宜をはからつて、個人的にやらせます。

藤田 これで各校の今シーズンに対する練習方法をお聞きしたわけですが、鍛練期間にはどういう練

習ををするか、その仕上げをどうするか、差支えない限り公開して参考に供して下さい。

小池 ぜひ聞きたいな。

川田 赤樫さん(慶応)のところでは一番特長のあつる練習方法をしているんじゃないか、今のお話のように……。非常に悲壮な決意をもつて練習される……。

村上 監督として考える時、チームの人数は5、6人か精一ぱいだろうと思う。30人も40人もはとてもしないが一人で眼がとどきませんよ。その点赤樫さんのところなんかいい練習ができるんじゃないですか。

小池 村上さんも理想実現に邁進してもらおうじゃないか。(笑声)

藤田 5、6人で……

村山 賛成だよ。(笑声)

村上 オベンチャラいいすぎたかね。(笑声)

藤田 1人1人を重点的に仕上げて行くわけだね。

坂本 全体には眼がとどかないよ。

村上 本当に「これは」と思つたら、坂本さんがいわれたように1人ですね。見られるのは……。まあ5、6人までは見られますよ。

小池 村上さんのいうのは心にもないことじやなくて、本当に自分が微に入り細にわたつて指導するにはやはり5、6人くらい、あるいはもつと少ない数になる。やはりインターカレッジはああいう方法で勝負を争うことになれば、これはもうその条件でやらなくちやしようがないんだから、勢いそこへもつてくると名人芸じやなく、十把一からげ的なことになるわけです。言葉は悪いけれども……。だから一人一人の特長をとらえてやることは十分はできない。一番いい方法としては、なるべく若い方にピントを合せるとか何とかして、相当しぼれる練習をして行くのが無難だといふことになる。今と昔と比較して——いつも比較して悪いようだが——あんまり大学の練習を見たこともないし不勉強なんだが、最近では選手を大事にするという行き方になつて来たらしいが、昔のように選手からウツ文句が出るような練習をやつて効果を挙げられる方向にもつていつてもらえれば——中には途中でつぶれるものもおるかもしれないが——相当量のものがそれで鍛えられるように感ずるんですがね。

村上 僕なんかしよつちゆう選手から文句いわれて

いつオッポリ出されるかわからない……

**小池** 選手は文句をいうのにもレベルがある。毎日1,500泳がせると文句いうが、10,000泳ぐと「軽かつた」というんだから、そこを妥当な線よりも高いところをねらつて、サンとオリンピックの前の方に実績を上げてもらいたい。

もう一つは、日本水泳界の現状からいつて何といつてもその頂点を現わしているのは東京の大学ですから、400選手を何とかいわれなくてもいろいろ腐心しておられるだろうが、現在の情勢からいくと、どうしても400の選手が村山君に頼んでできれば——ツツカイ棒があれば谷あたりでも400やらしてくれんかと、頼もうと考えたこともあるんだが……。400がないと800リレーに直接響いて来ますし、400と1500の関係から行くと1500にも響いてくるから、400がウィーク・ポイントであるということは非常に及ぼす影響が広いですよ。古橋全盛時代と同じというわけにも行かないでしょうが、400レーサーで何とか希望もてるものを今年あたり必ず輩出させてほしい。なる丈体の大きい、泳ぎのスケールの大きいのをぜひ……。

**川田** 水連からの“注文”だな。

**藤田** 一時は谷川を持つていつたらいいだろうというので話し合つた事もある。最近は何間なんかどうだ。主に短距離をやつてるが400でもいいんじゃないかと思うが……。

**太田** 私の考えでは、400のレーサーはいままでは長距離の人がやつていましたが、以前に新井さんがおられたころ斎藤巍洋さんが新井さんに400の練習をさせ、オールジャパンでよかつたことがありました。ああいう方法で、こんどは長距離からではなくて短距離の泳者に400を泳がせるようにしてみたらどうかと思うんです。あれだけ短距離の連続のようなレースだから、そういう方法をとつてみたらいいんじゃないかと思いますが。

**小池** それは一理だと思う。400は今までの傾向としては長距離から下りて来るのが多かつた。理想としては、短距離からいくのは理想だが、なかなかそうもいかないだろう。要は長距離からでも短距離から来てもいいから400の選手をまずつくつてもらいたいな。

**太田** 私も400については藤田さんがおつしやつたように細間に対して充分手を尽してみたいと思つ

ています。

**藤田** 細間は非常にスプリントもあるし長い距離も泳いでいるね。

**太田** どうしても400のレーサーを専門的なものをつくりたいと思います。

**村上** むずかしいね400は……。

**小池** 明治の留川君はいいでしょう。

**坂本** 留川君はいいですね。鹿児島宮之城高校の梁淵は、明治に行くといつてましたが、5尺9寸18貫ですから中長距離に向きますよ。

**竹林地** 短距離から400泳者になつたのなら吉村ですね。短距離から長距離をやらせましたが、練習の時初めにふつ飛ばして、それから後はふかふかに浮いても、800を10分2、3秒でいつたから、これは400に使えると思つて400に使いました。

**村上** それは一つの型ですな。

**坂本** 私の考えでは400レーサーは、いわゆる内地人にはないと思います。私は沖縄から連れて来なければならぬと思う、沖縄人を期待していますが(笑)

**村上** 大分飛躍しましたね。

**坂本** ハワイと同じで沖縄人はいいですよ……。

**小池** そりやあね、ハワイにいいのが出るとかなんとかいう……まあ今までコンノとかバスタークラブとか出てるけれども、あれは偶然できあ、ああいう泳が盛んなところだからで、他だつて出てますよ、ポワトウだつてそうだしね。日本でも過去を振り返つてみれば、横山、大横田、鶴藤、古橋この四人は典型的な400レーサーですよ。坂本君そうあきらめないで頼むよ(笑)

**坂本** 沖縄人は水に対する順応性が非常に強いんです。戦争中ちよつと沖縄に関係したことがありましてね、沖縄人が水に潜るのをみたんですが、5分ぐらい潜るんですよ、あの心臓をもつて来て鍛えたら案外いいかもしれませぬね、最近沖縄へは行けるようになったから、よほど中央にも……と思つてるんですが(笑)

**藤田** 最近陸上の織田幹雄さんと一緒になる機会があつていろいろ運動の話をしました。その時非常に面白い話を聴きましたよ。最近アメリカから陸上競技のプロ・コーチの非常に優秀な人が日本に来たが、その人達の話によると、最近のアメリカの陸上競技の練習では(スピードとペースの練習)を重点的にやつているそうです。その練習方

法は、例えば800メートルの場合、600をスピード・アップして走らせる。其の際初めの400は800の前半のペースそのまま、後の200は、ラストの200のペースを持つてくる。それをうんとやらせるそうだ。それにペースの出し方もある……。ちよつと参考に申し上げると、1マイルを4分20秒で走るランナーのペースとして、これを前半と後半が大体4秒開くように分割する。数字で示すと初めの半マイルで2分8秒、あとの半マイルが2分12秒ということになる。更に前半の半マイル(880ヤード)を2秒差位に分割して、初めの440ヤードを1分3秒、次が1分5秒。そして此の中間の1分4秒がラストの440ヤードに当るというのが、理想的なペースだということになつている。そこでスピードとペースの練習では、最初の440ヤードが1分3秒、次ぎが1分5秒、そして最後の440ヤードが1分4秒。1マイルの練習を $\frac{3}{4}$ マイルにスピードアップして、どんどん責めていくというのです。

村上 そういう練習方法は、もう既に日本ちや水泳界ではやっていますよ。今さらアメリカの陸上コーチの話の聞かなくても……。

藤田 ペースを細分する所までは徹底していなかつた。参考になる点は採り入れてもよいと思う。

村上 そうですね、タイムの関係とか、そういつたのは皆も肯けます。

小池 水泳にあてはまるかどうかはわからないが、研究の材料にはなるよ。

藤田 大学の練習をみても、200の場合150に切り上げて行う場合、150に対するペースは、はつきり指示していないんじゃないかな、ただ150をストレートで泳がしてるだけで……。

小池 そうですね、私の想像では、200に150を泳がせるには150をフルに泳がせて、それでいいタイムだからこれはいける、これから換算すると200は2分5秒でいけるというのがいまの練習方法の実態じゃないかな。

赤堀 僕のところでは、200をやるのに150をフルでふつ飛ばしてやらせて、それからちよつと時間をおいて200をやらせましたが、どうしても飛ばせないこともあるし、ふつ飛ばないやつに150をフルにやらして上げる……そうしてペースをつかませるようにやらしていましたが、なかなかうまくいかないですね。

小池 あらゆる機会をとらえてペースをのみこませるようにしなければならない。レースというものを考えると、いろいろな方面から攻めなければならんと思う。いま藤田さんのいわれたのは一つの参考でこれを全部突つこんでやるとか、5人とか3人とかの選手にやるとかは別だが。ヘルシンキで感じたことだけど、インターバルの練習は陸上の練習方法にはあつて、水泳ではユーゴのブルマンというのを見た。その方法が絶対にいいというのじゃなしに僕の感じた利点は、絶対あれをやつていれば、スプリントに関してはだ、いきなり自分のトップ・フォームでトップ・スピードで入ることをつねに反復してる。一つのねらいからいうとインターバルの練習方法をやつた方が経済的に時間を使つて、選手自体が余計に練習できるのじゃないか……簡単に考えてもそれくらいの利点はある。スプリントが25から50ぐらいのインターバルの練習方法をやつていれば、そういう点だけは有利な点だと考えられる。とその当時感じた。まあ皆さんいろいろな方法をおやりになるだろうが参考になりますよ。

村上 キップスが2、3年前に来られた時に、中距離の選手を下から100を泳がせ、ある時間をおいてまた100を何回も何回もやりましたが、そういつたこととか、いま藤田さんがいわれた陸上の練習方法だとかの方法は、たしかに中距離にはいいんじゃないかと思ひます。400をせめる上においては。日本の選手は大体長距離の練習方法は一応世界でもいい方じゃないかと思ひつていますが、問題は400の練習方法ですよ。やつぱりある程度そういう方法を多目にとつて練習させる傾向をとつた方が僕はいいいんじゃないかと思ひます。

藤田 いま申上げたのは陸上のやり方で、水泳にはそのままは受取れない……ペースのあり方でも、水泳ではスタートの時に飛込むし、配分の仕方も違うが、一応参考にはなるでしょう。

村上 ああいつたペースも水泳にもたしかにあるから研究の余地はあります。

小池 純然たるペースで行くという考え方と、なんでも構わず初めからふつ飛ばして行くというようなものもあるし、練習方法としてはその中間に行くという方法もいいと思う。

藤田 さつき話した陸上競技の例ですが、週間練習

計画をたてる場合、先づ月曜は耐久力を養う練習として分量を多くやらせる。これをオーバー・ディスタンスと言っています。火曜日は例のスピードとペースの練習。この際其の日の調子で練習量を適当に調節するそうです。水、木はコンディションをにらみ合せながら、どちらの日をオーバーディスタンスにするか、スピードとペースにするかを決め、金曜日は休養にあて、土曜日のレースに臨むということにしている。水泳の場合もコーチが選手のコンディションを見究めて、練習を指導すればいいと思うな。

**小池** インターバルの練習方法は必ずしもそれだけでいいんじゃない。竹林地さんのいつたように、長い距離をせめておいてそこへインターバルの方法を持つていくということも裏腹になつていながらどつちがアンバランスになつてもいいというものではないね。

**藤田** 陸上競技では盛んにインターバルの方法をとっていますね。

**川田** 1昨年ヘンリックスとコンノが来た時、二人共100メートルを1分10秒で泳ぎ、1分休んでまた1分10秒で泳ぐんですね。プールサイドの大きな時計をみてやつている、それを10回以上も反復してましたよ、コンノなんかは。

**小池** インターバルだと時間的にも非常に経済だしまた本人もそれほど肉体的な苦痛を伴わないと感ずるんだね。実際には相当肉体的にも労働がかかるのに、本人がそれほど感じなくても練習できるという利点はあると思う。実際的にはトレーニングが続けば、こたえるのに、本人がそう感じないのは心理的なものがあるね。まあ50のダッシュより25のダッシュの方が喜ぶし、レースコースを1日1回やるよりは楽な気持ちでやれる。

**藤田** インターバル練習について最近東大体育教官の加藤氏から聴いた話では、この練習方法で東大の選手としては近来にない中距離走者を二、三人仕上げたそうです。インターバル練習では、素質がある者も無い者もある程度までは早くとつつけられるらしい、ただ一定水準以上に伸ばすことがむずかしい課題で、そこまでは相当早い期間に伸ばしうることを強調していた。

**村上** インターバルだけで育つたという選手はまだないですね。

**藤田** 東大もインターバル練習をテスト・ケースと

してやつたのだそうだが、それで今迄負け続けていた京大との対抗戦で、中距離に全勝することができたというんです。

**小池** それだけでいつたことがないというのは、それだけでやつた試合がないということじゃないかな。

**村上** 日本じゃ特にそうだ。

**藤田** どこか実際にやつてみた学校がありますかね。

**坂本** 中央はそれでやつてみました。胡麻鶴がそれであの記録を出しました。宇都宮の合宿で足をくじきほとんど泳いでなかつたが、インターバルに準じたことをやしたらいきなりあんな記録を出したんです。

**藤田** そういう一つのテスト・ケースがあつたんですか。

**坂本** 自由形の力の泳ぎの選手よりも、技巧の選手には案外いい結果があるんじゃないかと思えますが。

**村上** 昔から25のダッシュを25回やったり、50のダッシュを6回やったりしてましたから、ある意味においてはインターバルに入りますから。

**小池** ある意味じゃないよ、純然たるインターバルの練習だ。外国の方は日本よりももう少し時間をおいているように思うが。

**坂本** ダッシュで上に上ということが非常に疲れるんで、水の中の方がいいというんですがね。

**小池** そりやあやつぱり上から飛ばなけりやだめだとかいうけじめはないと思うが。

**村上** 下からやるのは、いやがりませんが、最初飛出すとその勢いで大分楽だという選手が多い。

**赤樫** 上へ上るひまがないからですか。

**村山** 中学校の時に初めて牧野さんがコーチに来た時いきなりそれをやらされたんです。50を30秒しか休ましてくれない、向うへ着いて、30秒休んだらまた泳がせられる。10人なら10人の選手が泳いで遅れた者はそれだけ休む時間が少なくなるが、それを何回もやらせるんだ、中学1年の時だつたけどあれは苦しかつた。初めは弱つていないから31秒までに入るのはわけないし、27秒と、かいいんだが初めはセーブしているが、7回、8回ということになると31秒というても非常にきつく感ずる。うつかりすると32秒ぐらいはかかつちやう。どういうふうにしたら一番うまくそういうペナルティを

とられずにやれるかと考えた。結局考えたことはいまいわれたように出足が違ふ、だから蹴つた精力でずつと、徐々についておいて長く続かし、最後の10メートルぐらいで、ピョップピョップとがん張る一番先にヘビにならずペナルティをとられずに泳げるようになった。

村上 それはあんたの泳ぎ振りに出ているよ(笑)

村山 朝晩やらされて11分が割れない。そうしてやつていて、平均していけば記録は出るが、あとはペースの問題になる。練習が苦しいんで逃げてやろうかと思つたこともあつたけど、結局11分3秒にいつたんです。当時牧野さんは学部の3年で、牧野さんが先に泳ぎそれについていくんだが頭一つ勝つて行かねば叱られるんだ。しまいによつとこき11分3秒でいつたら、牧野さんがこれでお前は11分は完全に切れるといわれました。それで甲子園へいつて……ミッチやんだよそんな時一緒だつたのは、準決で7人のうち7番目で入つたが、決勝の時にはミッチやんを蹴つたね、10分49秒かなんかで。

村上 昔からウインターバルはあつたね。

村山 僕は中学校の時に早稲田や慶応の合宿に泊ってもらつた時、オールジャパンなんかで大学生が非常にきつい練習をやつてましたが、それはまあなんといいですか、とにかく早稲田でもちよいちよいやつていたし、昔からそういうことがありましたが、長距離の選手にはいい事だと思います。

藤田 陸上競技の場合は、フルスピードで走つた後直ぐやめないで、あとの何百かはジョギングで続けていくんですね。水泳の場合50なら50をフルスピードを出して泳ぎ、ターンしてあとの50を流して帰つて来て、又50メートルスピードを出して泳ぐ方法だと、陸上のインターバル練習に似てくる。それが非常に体力の疲労を回復させるのにいい様だ。

小池 水泳でもやつていましたね、バターフライのスタート・ダッシュで50をパーッとやつてその後は普通のオーソドックスなやつを泳いでおいて、又飛んでいくやつをやっている。

赤樫 森にやらしてみたんですが、100を最初8秒ぐらいしか泳がない。着いたらまた100を泳がして、それを10回ぐらいやらせるとあの方ではフラフラと泳ぎますが、4回目ぐらいから記録は変わりませんね。

太田 今年はみんなやつてもらつてもいいです。

藤田 いまのは一つの案として一応注目すべき課題だと思います。

藤田 これからそろそろ合同練習の時期に入るが、学業と並行して練習しなければならぬ時期でもあります。暑中休暇に入れば練習に専念できるがそれまでの各大学の練習の時間と練習の量というのはどういうふうにするか、又合宿練習に入つた際の時間や量の問題を一つお聴かせ願いたい。

赤樫 慶応では、僕らの学生時代は公然とは認めてはくれないにしてもまあよかつたが、いまは慶応はどういうわけか、合宿届けだけは出しても欠席になる。とくに新入生にとってはフランス語とか英語とかの外国語だけはいやが応でも合宿期間中は出さなければならぬのです。大体最初のうちは出さなければまずいから出していますが、合宿に入るのは5時からです、三鷹で。相当寒いのですよ。5時ごろしかやつていないから、合宿訓練に入つたら休ませますが個々に出すわけです。外国語のある時は、ひどい時には二人になり一人になることもある、大体練習時間は午前中の方が少く2時間ぐらいで、午後は3時間ぐらいだが、人数が少いから十分できます。

藤田 それで一番多く泳ぐ選手は一日どれくらい?

赤樫 僕らのところでは早慶戦が最大の目標だから早慶戦までに泳ぎますが、一日に長距離の選手で午前と午後の合宿練習を合せたら7000ぐらいバタ足も全部入れてです。

坂本 中央は2時間ですね、一日の練習時間は…。もちろん夏休みの午前午後の場合は別ですが、学業も並行した場合は2時間ぐらいで、個人の練習時間はごくわずかだから、距離にして2000メートルも泳ぎますか……

藤田 合宿に入つてからは?

坂本 去年の練習ぶりからみると5000を泳いだのは1回か2回、せいぜい3000かな。

小池 午前午後の場合は8000ぐらい……

坂本 それは最高で、普通一日に5000ぐらいです。

太田 立教では授業がある時は全部授業に出して、それから後練習です。いままでのことはやつていなかつたからわからないけど、とにかく学校のあつた時は全部学校へやり、それがすんでから練習をやる。昔私たちのおつた時は、昼休みになると駄足で帰つて来て練習して、また午後の授業に駄

足で行つてやつたものですが、いまは立数は授業は午前中だけです。合宿になつてからは午前午後泳げますが、量はちよつとわかりません。

**竹林地** 明治は量は相当泳ぎます。合宿に入ると長距離が最初に一本2000、あとシーズンにうんと入つてから100のダッシュを6、7回、それにピーティングダウンして1,500ぐらいを大体午前午後やる……ざつと計算して10,000ぐらいになりますかね。

**藤田** 学校がある時は……

**竹林地** 大体午前中で帰つて来るから2時ごろから始めるのでおよそ半分になります。

**村上** 私の方は他の大学とそんなに変わりませんが、明治さんは多いですね。

**村山** 早稲田は大体6、7,000じゃないですか。早慶戦のためにはまとまつて合宿を一週間も許されれば午前と午後には4000か5000は泳ぎますが、合宿練習するにも授業があるということになるとどうしても授業は休めません。早慶戦までの6月一杯はそんなにとても泳げないから3,000ぐらい泳げばいい方じゃないですか。学校がある時はどうしても時間的制約があるから集まり具合も悪いし練習もできません。ただ夏休みの7月に入ればやはり合宿練習しますから6000から7000ぐらいは泳ぎますね。僕は選手に口うるさくいうんですがね……それは、僕らが早稲田に入つた時もそうだったけど、練習の時上級生が来るまでに先に行つておいて1時間か2時間泳いでおいて、固まつてやる時に規則的な練習をやる、それが終つてしまうとまた残つてやつていく、そういう熱意がなければだめなんだつてそれを僕はしよつちういうんですよ。ただしよつちう緊張した生活も無理だが……。時間的にみつちりやる時もありますが、例えば間に一本丈思つたような練習をやつて2時間ばかり余裕があれば自由練習をさせる。それも4日に一度か5日に一度？ は選手のコンディションを考えて、黙つてプールサイドに座つていて選手の心構えをみているわけです。結局北村なんかはよく泳ぎましたね。調子がよくなつて来るとピョッというような感じが起きて来てバタバタ泳いでみるんです。それがいいか悪いかしりませんが、そういった熱意が最近では欠けてるんじゃないかと思ひます。僕は学部に行ったところ地方の高等学校へ見に行つた時に、高校生は練習が終ると

喜んできつさと帰る、残つて泳いでフォームを研究する熱意がみられない。上から先生からいわれなくてもやらなければ伸びないと思うんです。そういうことを高等学校の生徒にいうんですが、そういった空気を高等時代から植えつけることが必要で、強制されてやるんじや意味もないから自然にやるように仕向けるんですね、最近では早稲田の連中もそういったことを口うるさくいわなくても自覚してやつてますが、それでもみていると、中には同じように練習していて熱意のないやつはコンコンと知らないうちに上つちやう……(笑) 気がつくとも風呂なんかに入つて。そういう奴を呼出してまた泳がせるけど、やつぱり熱意のないやつは伸びませんね。

**小池** そうするのはまとまつて合同の合宿練習をしているとよくあるが、合宿していると、勢い団体生活で規則正しい生活と練習時間に制約されているので自由練習をさせたくても時間がない。そうすると一生懸命泳ぎたい連中は物足りないんだな。正規の時間外をもつと泳ぎたいというのだがそれをいかんともいえないし……そういうようなことは学校あたりで初めてできる練習だ。

**村山** そういつたことを折々計画的にやるんだが、早目に規則だつたやつを、さつとやる例えば一本レースをやらせて後すぐピーティングや2時間ばかりの自由練習をさせるのです。それで若い連中にむしむしいうんですがね一古橋君はなるほどよく泳いでいた。天才で強くなつたんじゃない、そういう要素もあるにしても、彼ぐらい泳いだ選手が今の各大学をみてもいないんじゃないか、それも、かれが学生時代に特に世界的に名を売つて来たころの練習量を今の選手は誰もやつていないんじゃないか……。よく山下なんかに文句をいうが、古橋はこうだつたつてね、そういうふうには仕向けていかなければ伸びないですよ。山下には飯を食いながらも話したが、一応練習をみていると不注意があつたという責任はあるが、お前の1年前の生活をいつべん反省してみる、去年初めて大学へ入つてやつた態度が、今年の練習とは気分的に変わつて来ている、気分的に去年よりお前は負けているんじゃないか、苦しい事情はわかるが、気分的に参つていくというんですよ。1年生に入つた時は上級生もいるから無理もないし、むしむしいうけれど、やつぱり新人の時のような緊張した気持が続

かなければだめだ、そういつてきかすんですが…

**藤田** そうなんだ、いつも感激性を持続させる、フレッシュな気持ちで選手をひっぱって行くことが非常に大切だ。

**小池** コーチする面で1番大きな問題じゃないかな  
**村上** そうですね、技術的な面はほんのわずかです。

**村山** 自由練習を座つて見ているも……村上さんも同じだと思いますが、熱意のないやつはいわれた通りしかやらんし、早く時間が来ないかなあ(笑)なんて思ってるんだ。フォームなんかいろいろ研究しながら泳いでると、非常にうまく水がキャッチできて調子のいい時がある。初めは苦しくても途中どつかで調子のいい時があるんですね。そういう練習をやつてると必ず上つて来るもんだと思います。

**村上** だから大きな世帯になると特にそういう感じがひどいですね。ひとりじやとても見切れないですから心掛けがまず一番大きな問題じゃないかな。

**小池** どうも重くて水がかからんと云う悪い中でも一生懸命泳いでいれば必ずいい時がある。それによつてだんだん進歩があるんだ。

**村山** そういつた調子、フォームをずうつとやつていいる時があると「おい山下いまのフォームだ」つていつてやるんですがね、そりやあやつぱりコーチしてるものも注意しなければならんし、本人の自覚が大きい要素ですね。

**小池** 強いということは、練習の量と質に裏付けされてない強さはあり得ない。よしんばあつたとしても継続しない。だから若い時偉そうなことをいわないで、練習不足で負けるよりオーバーワークで負けたように仕向けていく方が安全だと思う。

**藤田** いろいろ面白い話が出たが、選手のフォームを矯正するとか、特徴を助長するとかはどういうふうによつていくか、いまの村山君の話にあつたようにいいフォームで泳いでいる時に注意を与るとか、シーズンの初めに個人個人に指導するとかいうような点を話して下さい。

**赤塚** 早大がいつたように泳いでいて悪いなかにも調子がいいなという時はあるからまず泳ぐよりほかない。練習というものはおかしなもので、中学校の時にビートは練習が終るころ調子がいいことがあつた(笑)悪いとかなんとかいうより長く練習をやらせることだ。

**村山** フォームの矯正はむずかしいな、特にシーズン初めは大切だと思う。よく注意していかないと固まつちやうとなかなか修正できない。

**村上** フォームを修正したりしているとみんなと一緒に練習できなくなるんだな。

**村山** 自由練習の時に人の泳ぎを真似てみたりするやつがあるが、そういつたことが固まつて来るとなかなか直らない。僕はゴルフでつくづく感じてるんですが、最初に本格的に基礎を造つておかないと全然だめだ、一度癖がつくとなかなか直りにくいもんです。

**小池** フォームというものは修正するとかなんとかいう段階へ持つていつちやだめだ。持つていくまでの問題で、その人に合つたフォームをまず造ることだから、作つてそれが壊されてそれを修正することはとても不可能だと思う。

**村上** シーズン中はやつてもだめだ、直さない方がいい。

**小池** 練習の時にあまりデタラメな泳ぎをしないで、スタンダードな、ポイント、ポイントはちやんと心掛ける、手は正しく伸び伸びと伸ばす、足は肝心なところで水をつかんでいかなけりやならんとか、そういうふうによつて行けばフォームは生れて来るのじゃないか、手が悪いから手を下へ、上へといつてもなかなか直らない。いつた時にはそれに近いようなことをやつてるように見受けられるが、ちよつと横をみてるという加減にしている。結局直すという段階にいく前につくりつづくんだな。

**川田** だから人数は5、6人がいいな。

**赤塚** 人数が多いと試合に行きたいために一生懸命やるが、フォームはシーズン初めに自分に一番いように泳がせるようにしてもいいですね。

**藤田** 最後に指導した経験から、去年のシーズンにはこういう点が成功した、こういう点は不成功だつたという点を御披露願いたい。

**村山** 別段これといつたものはありませんが、ただ山下が御承知のように低調に終つたので、それをなんとかカムバックさせるためにいろいろ皆な先輩も相談しました。今年はなんとか元に戻したいという気持ちですね、折角あいつた新人の時に戻すように考えていますが、彼は体のコンディションも変つて来てるので一時的スランプだと思うんですがね。練習方法については別にこうしたらよ



かつたということはいまのところはありません。ただ今年の考え方としては、もうすこし、なんと  
いかガラガラしたやつはみんな止めて、なんと  
か区切りのついた練習方法をやつてみたいと思つ  
ています。

**村上** 私の方は大して御披露におよぶようなことは  
ないです。まあチームワークの点では去年は合宿  
も出来たし、プールも完備したので非常によかつ  
たと思います。この影響が谷川君とか年寄選手に  
おいても気持ちよく泳いだ一つの原因じゃないかと  
思う。

**藤田** 去年は中央はうんと躍進しましたね……。中  
大の話の一つ……。

**坂本** 中央は一昨年平泳でシード校に上つたのだと  
新聞には書かれたので、そういう気分を選手が持  
つていつたらまた逆戻りになつちやうから気分を  
もう少し強く持つように……シード校では第3位  
なんだという気分を植えつけたいと思つてます。  
従来は中央大学には権威者がいませんでしたから、  
新聞の批評に甘んじてもらってさらに平泳、背泳で  
臨んだという気持ちで、それで去年は成功しまし  
た。もちろんチームの主体は自由形で自由形を強  
くするのですが、つまりは全体のレベルを上げる  
ことに力を注ぎます。超弩級の選手をつくるのは  
今年あたりから、まあ来年からということになり  
ます。

**竹林地** 明治も別にありませんが、留川がなんとか  
庄司の後についていつてくれるようになったらと  
思つてますが……。足立がああいうふうになつた  
ので、いまの練習方法を考えなければならんのだ  
じゃないかと思つてます。短距離、平泳、バックあ  
たりよくないし、去年も短距離はダッシュをやつ  
てみたが、あんまり強くない。今年はなんと  
か特種目と短距離に重点を置いて合理的な練習に  
絞つてみたいと思います。

**太田** さきほど申し上げたように新人監督なので、去  
年のことはわかりませんが、選手達が大分新  
らしい気持ちでぶつつかつて来るような様子がみえ  
ますから、この辺で昔の様なチームに戻して近い  
うちには日大、早稲田を脅やかすようにしたいと  
思います(笑)

**赤樫** 慶応はプールの方も今年の秋着工になると思  
います。いまの所来シーズンにつくるということ  
になると思う。大体私の方は400を4分40秒を切

るとかなんとかじやなしにとにかく頑張ります、  
プールができるまで去年を反省した結果では、慶  
応はいまの力でやれると思う。あんまり世間か  
ら同情されているんでちよつと選手は甘えたん  
じやないかとも思いますが、今年慶応はあれし  
かできないと思つたのによくやつたといわれるよ  
うに、もう少しやつてみたいと思います。

**藤田** 大体これで私の方からお聴きしたいことは一  
通り終つたんですが、なにかほかにお話はありま  
せんか。

**太田** きようは各大学の監督の方も集まつたのでお  
願いがあるんですが、これは私もやらなくちやい  
かんと思つてることで、オリンピックとか外国選  
手との競技の時、各校のコーチの方が自分の  
チームを連れていける時はいいとしてもそうでな  
い場合には短期日の間に、選抜された選手を連れ  
ていかなければならない場合が非常に多いんで  
す。だからどうしても選手の癖とか食べ物とか、  
こういうフォームの時は調子がいいとかいつたデ  
ーターを出かける時に監督になつて行く方に出し  
てもらふよう出来れば非常に効果的じゃないかと  
思います。

**小池** それは必要だね。それに筆では言い現わせな  
いこともあるかもしれないから、行く前に連れて  
行く人と選手がよく話合ふ機会を持つということ  
も必要だ。

**藤田** それは大いに考慮して実行に移しましょう。  
まだ練習と健康管理の関係など大事な問題が残つ  
ていますがきようはこれぐらいにして、最後に川  
田君に締めめくりをお願いしましょう。

**川田** どうもありがとうございました。今後共しば  
しば水泳誌に皆さんの貴重な資料や研究を發表し  
て戴きたいと思います。きようは紙数の関係でこ  
れで中止しなければなりません……。どうもあ  
りがありがとうございました。

—おわり—



## 我が校の練習法

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| (1) 学校名及部長名        | (6) 昨年度練習に於て成功したこと    |
| (2) 練習開始の時期        | (7) 昨年度練習に於て不成功に終つたこと |
| (3) 1日の練習量         | (8) 今年の抱負             |
| (4) シーズンオフの体操実施の有無 | (9) 今年の目標の大会          |
| (5) シーズン中の体操実施の有無  |                       |

(1) 新潟県立相川高校 市野重治

- (2) 5月下旬(気候が悪いため)
- (3)(a) 練習量 1日 1,700m  
 (b) 時間1時間30分(部員男女18名通学が遠距離の様な地域的条件が悪いので量時間共短縮する)
- (4) 1週1回2時間(体操40分, 籠球1時間20分体育館使用が自由にならないため)
- (5) 体操15分
- (6)(a) チームの調和  
 (b) 後援会の応援が刺戟を与えた  
 (c) 短時間内に規則正しく練習を仕上げた, この事が彼等を真面目に練習する動機を与えた
- (7)(a) 練習量が足りないこと, この問題は通学の件及びプールは中学と共同で使用するため十分な練習が時間的にできない, などの点からなかなか解決出来ない  
 (b) 優秀なコーチの指導を受けなかつた  
 (c) 経費の関係上, 十分な合宿練習が出来なかつた
- (8)(a) 水連からコーチをお願いし技術の向上をはかりたい(特に佐渡へ)  
 (b) 昨年同様県下大会, 東北大会に三連勝  
 (c) 国体成績は勿論, 特に秀れた選手を1名でも2名でも養成したい
- (9) 日本高校, 国民体育大会, 地域高校(県下大会東北大会)

(1) 立教高等学校 鎌 守

- (2) 5月中旬
- (3) 午後1回の時, 3時間, 午前午後の時, 4時間半
- (4) 1時間 (5) 30分
- (6) 柔軟体操を午後の練習前4分以上行い, 各自身体が柔らかくなつた
- (7) なし

(8) 各自がんばるのみ

(9) 日本高校水上大会

(1) 横浜学園高等学校 矢口和夫

- (2) 5月5日 (3) 2時間
- (4) 1日平均1時間 (5) 練習前後計30分
- (6) コーチ制度をとり, 練習に於てインターバル練習法をとり入れた
- (7) 基本練習の不足(自校にプールが無いため使用時間が制限された)
- (8) コーチ制度を充実し, 陸上トレーニングと水泳理論を徹底させ, 基本練習を充分に行い更に個人差に応じた練習法によつて成果をあげたいと思う
- (9) 関東高校

(1) 静岡県立磐田農業高校 大杉信孝

- (2) 4月20日前後 (3) 4時間
- (4) 1時間 (5) 30分
- (8) 1年生に主体をおき, 耐久力養成に努めたために長距離方面に相当の記録をあげることが出来た
- (7) 試合後の休養が不足にてシーズン中程でオーバーワークになり, 持てる力を充分に出し切れずに終つた試合もある
- (8) 3ヶ年計画の2年目にて昨年度の耐久力を基礎にしてスプリント方面に重点をおき日本高校を目標にするチームとしての優勝は選手の厚みよりして無理, 従つて個人優勝を2種目位ねらう
- (9) 日本高校大会

(1) 静岡県立伊東高校 穂山 巖

- (2) 4月中旬 (3) 3時間
- (4) 体操30分ランニング2km (5) 練習前後
- (6) 練習時間を短時間に充実した練習をしたこと  
 ロングを少なく400~800位を数回自己のレースを数回, ダッシュを多くした
- (7) 部長校務の為充分チームワークが取れなかつた

事、本年は幸に新人部員も多くチームワークは充分とれると思う、合宿も今年はもつと考えなくてはならないと思う

- (8) 主力が卒業して本年度は伊東高校の最大の危機であり何とか伝統を守りぬくそれだけ新人部員の育成を最大目標としなければならない、幸に中学当時は大した活躍はしなかつた選手ではあつたが時時練習をみてやつた体力と素質のある非常に有望な選手が入学して来たので何とか本年中に物にしたいと思つては居りますがでなくとも将来がたのしみ、せめて日本高校に個人種目に2名位とリレーメンバーを出場させたく3年計画の方1年3年後を夢みつつ数年前のような強固なチームワークをもつた新人部員の育成に邁進したいと思います。

- (9) 戦後不敗の地区大会の優勝、中部、日本高校大会

(1) 中京商業高校 鈴木重幸

- (2) 4月10日 (3) 3時間

- (4) 1時間半 (5) 30分

- (6) 健康管理、個人個人の健康又は家庭環境に応じ練習量の調和を計る事によつて向上を認む

- (7) 特に不成功なし

- (8)(a) 合理的健康管理と苦しい練習方法の調和を計り従来の技術1本より科学面をもとり入れた練習方法により記録の向上を期す

(b) 自由型100米1分0秒200米2分14秒400米4分55秒 平泳100米1分15秒200米2分45秒 背泳100米1分10秒200米2分35秒 バタフライ100米1分10秒200米2分35秒 以上の記録に逆向上する

- (6) 日本高校、日本選手権

(1) 名古屋指山女学園高校、中学校

奥平幸夫

- (2) 4月 (3) 3時間～3時間半

- (4) 2時間半 (5) 1時間

- (6) 部員の団結について特に配慮し、遠征等も出来るだけ多数の選手を参加させ、茶話会遠足等を実施1週1回の訓話を実施尚家庭連絡を特に密にしたためチームワークが飛躍的に向上した

- (7) 選手の自主的練習による自己記録の反省を企図せるも未だ完全なる自主管理の段階に至らずこの点残念であつた

- (8) 愛知県高校選手権中部高校選手権の優勝を当面

の目標として、インターハイに於ける得点を此の延長として計画している、小生が本学園水泳部育成に参画して第3シーズンに当る本年はこの目標に最も近づく年と期待している、幸にして本年は名古屋市内中学校の協力により高校16名、中学23名の部員を整え一応量を確保できたので本年度は質への転化を試みんとしている、愛知県下の生徒による最強チームの編成が私の悲願であり宿志でもある

- (9) 高校一中部高校大会及インターハイ  
中学校水泳教室参加

(1) 愛知淑徳高校 原田静子

- (2) 4月上旬 (3) 2時間位

- (4) 1時間 (5) 15分

- (6) 各選手の調子の山を試合に持つて行く様に練習量を調節した

- (7) 中学校の生徒を指導することが出来なかつた。飛び込み、折り返しの練習

- (8) 我校の昨年度の主力をなしていた神野眸、後藤久枝、服部法子の3人が卒業し淋しく感ずるが、高1に4人入学してくるので若い選手を主体として地味にこつこつ練習を行う

- (9) 中部高校 日本高校

(1) 和歌山県九度山中学校 津守一

- (2) 5月上旬 (3) 3時間(個人により異なる)

- (4) 2時間～3時間 (5) 20分

- (6)(a) 冬期練習による身体の柔軟と強化に成功

(b) 自然的河川の流水を利用した dash により Speed 及び持久力を作り得たこと

- (7) 大会直前強度の身体まさつを行い記録の低下さす

- (8) 競技に勝つ為時期的に変化ある練習により記録の向上を計るがそれ以上に義務教育中の生徒として品位を高め学習活動の妨げになる様な強度の練習をさけ、適応した科学的練習を行う

- (9) 全国中学校水上競技大会、近畿中学校水上競技大会

(1) 和歌山県立伊都高校 池田岩夫

- (2) 4月下旬

- (3) 合宿中午前2～3時間午後4～6時間

平素4～5時間

- (4) 1～2時間

- (5) 練習前後30分

- (6)(a) 個性に応じた練習
- (b) フォームは短所の矯正でなく長所の伸展に努力
- (c) 長短泳者両方スプリントに重点をおく
- (7)(a) 個性に応じた練習はチームワークの欠除を伴った
- (b) フォームの矯正に欠点の矯正より長所の発揮においたことは反面コンディションによる差を大にした
- (c) スプリント重点の練習はオーバーワークとなる
- (8)(a) 本年は専ら総合優勝を旨とするよりもオリンピックを目標として個人的技術発展向上に重点を置きたい、女子水泳界のピンチでもある関係上特に女子競泳に於ける精鋭主義で臨みたい
- (b) 平泳に於ては女子200m 2分台、コンスタントフリー 100m 1分10秒コンスタントを目標として少くも本校に於て平泳2名、自由型2名の精鋭選手を養成したい、従つて不必要な試合には出場せず重点的に試合に臨み全努力を練習に集中したい
- (9) 日本高校、日本選手権大会
- (1) **奈良県立五条高校** 浦井保弘
- (2) 4月10日 (3)
- (4) 1時間30分～2時間
- (5) 準備整理運動のみ
- (6) アジア大会を目指しての春季合宿（伊東温泉40日間）が非常に成功したと思う、経費が許すならば業、休養の判断の出来る合宿練習が最適と思う
- (7) レースの関係上、新宅選手に国際大会に於てベストコンディションに戦わずことを得ませんでしたことを残念に思います
- (8) 来年度のオリンピックにそなえて本校水泳部女子部より100mフリーを10秒を破る選手を4、5名養成して今度のオリンピックにも是非ともリレーチームを海外に送りたい、又男子部に於ても窪選手を日米対抗選手に送りフリーに於ても第2の新宅選手を養成したい
- (9) 日本選手権大会、日本高校選手権大会
- (1) **奈良県立郡山高校** 神崎保雄
- (2) 4月10日 (3) 登校日3時間休日6時間
- (4) 2～3時間 (5) 練習前30分 練習後20分
- (5) 疲労と体の柔軟度に注意をした結果スプリントがつきバック、短距離は可なり成功した
- (7) 疲労注意のあまりロングが不足し長距離は失敗す
- (8) 今年度の入学者は高校入学後初めて水泳を行うもののみで大した期待は出来ない
- (9) なし
- (1) **奈良県宇智郡組合立五条中学校**  
阪之上丕成
- (2) 5月上旬 (3) 2時間
- (4) 1時間 (5) 30分
- (6) 体力の練成、指導者の云うことをきく習慣の養成
- (7) 新人の養成、シーズンオフの練習、予算の獲得
- (8) 新人の養成、部としての団結を強固にすること練習方法の改良、無理にタイムを競わず伸びる素質を中学時代に養成してやる
- (9) 近畿中学校水泳大会、日本水泳中学通信競技
- (1) **岡山県美作高校** 中島吉三郎
- (2) 4月中旬 (3) 3時間
- (4) 1時間（体操20分マツト30分なわとび10分）
- (5) 15分
- (6) 設側不完全な環境での苦しい練習しかし校長を中心に職員生徒一丸になつての誠意ある応援によつて水の名門の誇りとして定森桂子選手をアジャ大会に送り出したこと
- (7) 全国大会に充分の実力を出しきらなかつたこと
- (8) 本年度は優秀選手の多数卒業で一抔の淋しさはあるが残つた選手で全力をつくすと同様に3ケ年計画で有為の人材を出すべく努力する
- (9) 日本高校選手権 地域高校大会 国民体育大会
- (1) **山口県立柳井商工高校** 未広力
- (2) 4月下旬 (3) 2～2時間30分
- (4) 30分 (5) 20分
- (6) 選手の努力によるタイムの向上
- (7) 1昨年タイムの向上した選手が昨年は進歩せずに居りこの点に悩む
- (8)(a) 山口県は標準が低いので今後不撓の努力をつまなくてはならない
- (b) 学業、運動の両立この具現に成果を挙げたい
- (9) 中国五県大会 日本高校選手権 国民体育大会
- (1) **高知城東高校** 山崎信政
- (2) 3月上旬 (3) 4時間
- (4) 1～1時間30分 (5) 20分
- (6) 木村の潜水と部員間の親和と自覚
- (7) 強い練習を行うと部員が減ること

リメンバーが不足のこと

- (8) 木村を中心に県下の優勝をねらい出来る限り多くの試合に出場せしめたい
- (9) 日本選手権 日本高校選手権 地区高校大会
- (1) 高知城東中学校 山崎信政
- (2) 3月中旬 (3) 4時間
- (4) 1～1時間30分 (5) 20分
- (6) 昨年度は部設立3年目であつたが日頃の努力によつて全国1位となる
- (7) 3年計画により本年卒業の者は予想以上のびたが2,1年は殆ど選手が居ないため出直す形となる
- (8) 新入部員を多く入れ団体優勝は本出年度は望まず個人で頑張らせる
- (9) 中学水泳教室 県下中学大会
- (1) 土佐女子高校 堀征子(生徒)
- (2) 3月15日 (3) 2時間30分
- (4) 1時間 (5) 20分
- (6) 冬期練習を着実にを行いコーチの指導の下に規律正しく団結し自己のレコードを破ることに専念した
- (7) 女子なるが故に身体条件を十分に調整することが出来なかつた
- (8) 卒業生を多く送つたので部員獲得を行う目標をインターハイに於て計画を立てる
- (9) 日本高校選手権大会
- (1) 高知商業高校 藤尾恒九郎
- (2) 3月下旬 (3) 3時間
- (4) 2時間 (5) 5時間
- (6) 1昨年迄は9月で練習を中止していたが、昨年より1杯泳がせ又例年4月より練習を初めるのを2月から川、海岸プールでロングをひかせたので効果上つたかのように考える
- (7)
- (8) 幸にして卒業選手が少ないので大いに練習をしインターハイに5位以内になりたい
- (9) 日本高校選手権
- (1) 愛媛県松山北高校 一色豪
- (2) 4月10日 (3) 2時間
- (4) 冬季練習1時間 (5) 準備整理10分づつ
- (6) 冬季練習を真面目に行つた(縄跳エキスパンダー使用)
- (7) なし
- (8) 女子2名を必ず日本高校、国体に於て決勝に残すこと、綜合成績県下第2位を目標とし男子部員

の新発見充実に力を入れる、背泳を重視し選手の養成に努める

- (9) 日本高校 国体
- (1) 香川県観音寺第一高校 三宅廉
- (2) 4月10日 (3) 3時間～4時間
- (4) 1～2時間 (5) 10分～15分
- (6) 合宿の時期が良く、試合に於ても殆どの方がベストコンディションを持つて行くことができた記録をクラブを表したこと
- (7) 我が校は短水路プールのため、長水路プールに於ける各自のペースが十分に身につけることが出来ていなかつた(経費の関係)
- (8)(a) 長水路プールに於ける合宿練習  
(b) 昨年度の短水路に於ける自己の最高記録を長水路に於て出すこと  
(c) 新部員の増員  
(d) 新練習方法(私の考案しているもの)の採用  
(e) 本年が県下高校大会の連勝に当つているので是非実現したい
- (9) 日本高校大会
- (1) 福岡県立朝羽高校 石井計一郎
- (2) 4月上旬 (3) 2時間～2時間30分
- (4) 体操30分程度 (5) 練習の前後20分程度
- (6) 本校は部の創設が浅くプールは溜池を利用して、特に不便と云うわけではないが近くの中学が全く水泳部を持たないので高校に入つた時から選手を志すわけである、それにもかゝらず県大会に優勝、ブロック大会第3位は一応成功と思う但しタイムはほめたものではない
- (7) 不成功と云う程ではないが学校にプールの無いことと学校自体が若いので選手が集らない
- (8)(a) 筑後川の川岸に学校がある関係上、中学に水泳部がなくともすこしは泳げる者ばかりだから地域社会がもう少し熱心になればまだまだ強くなる  
(b) 本年度は福岡県にて再度の優勝をしたい、九州ブロックに於ても第3位以上は望みたい  
(c) 現在の女子部員14名を20名位にしたいそうすれば強いものが出ると思われる。
- (9) 日本高校・国体女子
- (1) 福岡県立浮羽高校 小川喜四郎
- (2) 4月上旬 (3) 3時間
- (4) 1時間 (5) 30分
- (6) 対外試合に多く参加した柔軟体操に力を入れた

- (7) 練習量少なく期待通りの記録を出せなかつた
- (8) 練習開始を20日余り早くし柔軟体操に力を入れる

(9) 日本高校選手権大会

(1) 福岡県立三潴高校 部長 生津信男  
監督 古賀長善

- (2) 3月20日 (3) 3時間30分～4時間
- (4) 3時間 (5) 40分

(6)(a) 体力を補うものは脚力である、叩足に重点を置いて練習をする

(b) 各個人制限時間を設け達しないものは繰返さす

(7) 別になし

(8)(a) 試合にのぞみ自己の最善を尽せる選手の養成のため精神、技術両面からの充分の指導を行う

(b) 部の強化及成績を挙げるため部員の増加を行う

(9) 日本高校選手権大会

(1) 大分県立佐伯鶴城高校 岡田正一

- (2) 3月20日 (3) 3時間
- (4) 30～40分 (5) 20分

(6)(a) 部員の拡充 (b) 自由形陣の強化を計る

(c) 現有勢力の中心がむしろ下級生にあつた、これは本年、来年に希望を与える

(d) 部全体としての水準高揚に努めリレーチームなどにブレーキが無くなつた

(7)(a) 暑休中(インターハイ前)の合宿練習中にオーバーワークになつたこと

(b) 事故者(発熱)3名を出したこと(合宿中)従つて九州地区大会出場不可能となる(その選手のみ)

(c) シーズン前半に記録上昇して後半に入つてからの伸びが停頓した

(d) 平泳、バタフライの充実を計るも結局不成功

(8)(a) 主力が2年、1年になるので来年度に大きい期待をかけているが本年は2度目の全国制覇に対する瀬踏みの年である、大きい事を望まず確実な陣容を形成したい

(b) シーズンのトップを切る西日本大会で山鹿高校、三潴高校の実力を測り以て8月初旬の九州地区大会への態勢を決める

(c) 強化の中心を自由形におきブロック大会以上の大会でリレー種目の優勝を遂げたい(200mリレー1分53秒、800mリレー9分20秒を目標)

(d) 1年丸山、中谷、中谷庸、2年木村(背)神崎(自、短)を充分伸ばす、何れも20傑に入れたい

(9) 九州地区大会 日本高校選手権 国体

(1) 大分県立臼杵高校 渡辺修

- (2) 4月1日 (3) 3時間
- (4) 1時間 (5) 20分

(6) 中学生との合同練習によりより励みが出て来た

(7) 主将が年齢制限にかかつたので大会に出場せずこのためチームワークが乱れた

(8) 自由形を中心にインターハイに10位以内に入りたく又超高校級の選手を養成したい

(9) 日本高校選手権大会 国民体育大会

(1) 熊本県立山鹿高校 島田豊彦

- (2) 2月中旬 (3) 放課後3時間夏休み5時間
- (4) 1～1時間30分 (5) 練習前後30分

(6)(a) 前シーズン末に各人の泳を16ミリにとり反省資料とした

(b) ビート、ロングに重点をおき長距離を泳ぐ自由はついたがスプリントにかけた

(c) 学校外の水泳愛好者と連絡をとり指導をうけた

(d) 1日であつたが高石先生の指導助言をうけた

(7) 練習プールを持たず溜池(濁水)で行うのでホリドール液の撒布による練習の中断及プールサイドがないので水中動作の指導が充分出来なかつた

(8) 昨年10月プールが完成したので本年こそ充実した練習を行いたい

(9) 日本高校選手権大会

(1) 熊本県立鹿本高校 北井行雄

- (2) 3月19日 (3) 普通日3時間日曜日5時間
- (4) 2時間 (5) 準備運動のみ

(6)(a) 短距離のスプリントをつけたこと

(b) 泳ぐことに興味をもつようになつたこと

(7)(a) 耐久力の不足即猛練習とまでいかなかつた

(b) バタフライ泳法に対する不認識

(8) 3ヶ年計画の2年目であり来年全盛の3ヶ年目達成のためには本年中に或程度のレベルに達しなくてはならず本年度はインターハイに3～4種目の入賞を得たい

本年度のホープとしては

石原勝記(2年)100m本年中に1分を割る

青木義昭(長距離、中距離)1,500m19分40m4分台である

(9) 地域高校大会日本高校選手権大会(44頁へ続く)

# 比島に遠征して

太田光雄

昭和30年度フィリピン水上選手権大会に招待されて、谷(短距離)、庄司(長距離)、胡麻鶴(平泳)の三選手と共に吹雪の羽田空港を3月5日午後2時出発。途中沖繩に少憩した後、午後11時ネオンに輝くマニラに到着した。

雪にふるへながら日本を發つたせいか夜中とは云へ飛行機から降りるとさすがにムツとする暑さで驚いた。体協の人々やペービューホテルの支配人のサントス氏等の出迎を受けて定められた宿舎のペービューホテルに入った。

10日から始まるレースまで5日間ばかり練習する期間があるので、この間にシーズンオフの為余り練習出来ずに渡比した不利を幾分でもカバー出来る様にと招待や見物を一切辞退して専ら練習と休養とに専念した。

出発前に前後何回か来られた根上さんから色々と言葉を伺つて来たので、これを参考にして練習スケジュールを組んで泳いだ。到着後2日目までは皆非常に調子がよさそうだったが3日目頃から暑さと、生活環境の変化等による肉体的、精神的疲労が目に見えて来たので、この頃から練習時間を極度に短かくして午前、午後とも40分位にして引上げたので、同じくこの大会に招待されて来て練習していた濠洲の女子監督は驚いて同地の新聞に「日本の選手達は充分練習出来ているので、練習も少ないが皆素晴らしい」と云ふ様な談話を載せている程であった。この言葉を裏書するかのように試合当日には(11日)最初の決勝である1,500米で庄司が19分19秒6のシーズンオフとしては最上の調子で優勝した。

引続いて谷の100米自由形予選は58秒0、胡麻鶴の200米平泳予選では2分41秒5を出し、皆調子はよさそうだった。各自もう一つのレースには気を楽しんで泳がせたがやはり日を追ふに従つて次第に疲労は増して来たので中1日の休みは殆んど水に浸る程度にして決勝に備えた。

13日の最終日はさすがにスタンドは満員で国際試合らしい雰囲気の中に400米自由形決勝の庄司がスタートした。いつも苦杯をなめさせられる比島のサイラーと隣りコースで泳いだ初めから水を開けて飛び出し4分49秒5で、因縁付の400で雪辱し

て優勝したのは喜しかった。

谷の100米自由形はシンガポールからネオ・チウコックが参加し相当の好記録で泳いでいるので、谷も多少あがり気味だったが、これも前半から水を開けて58秒0の予選と同記録で優勝、胡麻鶴の200米平泳は日本記録の更新を目指して飛び込んだが水中のコースラインが見えず得意の潜水も思ふにまかせず遂に目的は達せられなかつたが2分41秒1の好記録で優勝した。続く谷の200米自由形と胡麻鶴の100米平泳は共に各自の前にレースから約10分位しか休憩がなく疲労も甚しかつたがよく頑張り谷は2分15秒4で優勝、胡麻鶴は1分14秒2で2位となり、6種目中5個の金メダルを獲得した。

今回の遠征は予備知識を充分知り得た事、派遣選手が現在の第一線選手のみで、各自の調子を充分自覚して呉れた事等の好条件が揃つていたので相当の好成績を収め得た事と思ふ。

比島の水泳界も昨年のアジア大会等の影響に依り非常に活潑になりつゝあり、近い中には再びあのイルデホンゾの様な偉大な泳者が現はれると思へる程熱心である。

体協の水泳関係者も吾々の生活、練習等には不自由のない様にと細心の注意を払つて呉れ、何の不安もなく楽しく過す事が出来た。又イルデホンゾの家にも帰る前に招かれて伺つたが、吾々の来訪を涙を流して喜んで呉れた未亡人の顔が今でも想い出され言葉も通じない異国の人々の温い心がスポーツを通じて交流し合へる幸福をしみじみと感じて比島に別れを告げた。

## 第4回日米対抗水上競技日程

8月7, 8, 9日	東京大会	神宮プール
13, 14日	大阪大会	大阪プール
16日	高知大会	高知市営プール
19日	福岡大会	大谷プール
21日	広島大会	呉二河プール
23日	奈良交歓会	天理プール
25日	愛知大会	振甫プール

# 技 術 研 究

## ドルフィン泳法、僕の場合

長 澤 二 郎

5月、アジア大会も終つて、2月頃から開始された今シーズンも中葉に入ろうとしていた時、次期オリンピック大会にバタフライが平泳から独立して加えられると云う報せを受けた時は、凡ゆる関係者が恐らく当惑した事であつたろう。勿論、5月と云えば、暦の上の日数ではまだシーズンが始まつたばかりでしかないかも知れない。然し、どの選手も既に今シーズンの目標に対して真直ぐに突進している事を思えば、その目標を俄かに変更されると云う事は選手達に取つて堪えられない苦痛であつたに違いない。

1昨年、オリンピックの最終予選が終つた時、平泳選手が4名である事を知つて、一番に不安を感じたのは恐らく僕等のメンバーであつたろう。それがストックホルムに於ける短期間の練習で更に3名を選ぶのだとしたら、我々は一体どうすれば良いのか……。本当の事を云えば、その当時の僕等には、オリンピック等はどうでも良かつたのである。

それより、その前に此の3名の代表に選んでもらう事の方が選手達にとつてみれば、どんなに大切であつたか知れない。そして、その為には随分無理な練習をやらなければならなかつた。そして、その事が僕には思わぬ結果をもたらしたのである。膝の内側の関節炎が、遂には、僕の足からカエル足の練習を永久に奪い去つて了つたのである。だから、帰国してのインターカレッジに勝つた時バタフライの廃止を聞いても、僕はさほど驚きもしなかつた。何故なら、既にストックホルム以来、足の練習が出来ないと云う事から僕のバタフライは先が見えていたし、強いて失望と云うものがあつたとしても、それはストックホルム以来の事であつたのだから。

従つて昨年、平泳にバタフライが許されなくなつ

た時、僕がどうしても平泳を続けなかつた理由は此処に在つたのである。自由形に再転したところで如何に惨めなものであろうかは予想が出来ないではなかつた。そして1年余、唯、ビーチングの挽回に全力を尽したのである。その為にはかなりの犠牲が払われて来たのだ。そして今春、今シーズンこそ何んとか皆に追い着けるかも知れないと、秘かに期していたのである。

斯うしてやつて来たのだから、俄かに進路を変えなければならぬと云う事は、僕にとつて余りにもその準備が無き過ぎたのである。だからバタフライに変わる事は躊躇せざるを得なかつたのも当然であつたかも知れない。然し、遷り変わる情勢に僕だけが対抗出来るものではなかつた。此処で本当の事を云つて了えば、僕はバタフライがどんな大会に加えられてもインターカレッジに加えられなかつたら恐らくバタフライに転向していなかつたであろうし、インターカレッジにバタフライを俄かに加える事に対して反対したのも僕であつたのだが、日本水泳界の殆どの勢力を学生で占めている事を思つてみれば、それも初めから無理な事であつた。斯うして、バタフライが、新種目として加えられた以上、僕も全力をそれに傾けたのだが、今迄自由形を続けて来ているし更にカエル足の強い練習が出来ないとあつては、僕のバタフライにも自ら限界があつた。実際、足の練習は、まるで腫物に触るようになってしか出来なかつた。こうして始められたバタフライではあつたが、秋迄には何んとかして皆に追い着かねばならないと思つていたが、こうした不利な条件から出発する僕が皆に追い着く為には到底普通の事では間に合わなかつたのである。まして、今年が最後のシーズンであつてみれば、或いはその為に焦つていたのかも知



れない。そしてその解決の為に眠れぬ夜さえ幾日も続いたのではあつたが、しかし、決められた規則の中では、幾ら考えてもそんなに種々の泳法が生れるものではなかつた。そうして生れたのは、「ワンキック・ワンビート」の泳法である。云つてみれば大した事ではないのであるが、此の事は、当時の僕にとつては非常に大きな発見だつたのである。これは従来のバタフライに、ワンビートを加える訳であるが、その理由は次の二点から成つてゐる。考えてみると、今迄のバタフライに於いて、両手を前に運んで入水する際に足を蹴るのであるが、手を掻き始めて掻き終る迄、足は殆んど遊ばして置いたのである。此の足を、斯くも長時間遊ばして置く事は誠に勿体ない事である。今一つは次の事から考えた。即ち、バタフライは水上に飛び上らなければならない。此の事は、この事だけでバタフライの苦しさを作り上げてゐると云つても過言ではない位だ。これを細い二本の腕で受け持つ事は非常に大きな負担である。だからバタフライで浮いた時には、恐らく誰でも手がぬけなくなつて了うに違ひない。手がぬけないと云う事は、手が全部終り迄掻き切れないからである。然し、ターンの時、蹴り出して間もない時に掻くなら、どんなに浮いた時でも手は容易に掻き終る事が出来るであろう。此の事は次の様な事を意味する。重い身体を腕が改めて動かし更に飛び上らす事は非常な力を必要とするが、動いてゐる身体を更に動かし飛び上らせるのには、それ程の力を必要とはしないと云う事である。従つて、手を掻くに当つて、身体を動かして置けば容易に掻き切る事が出来ると云う事になる。即ち、この身体を動かすのに、ビートを使つて僕は此の問題の解決とした。斯くして生れた「ワンキック・ワンビートの泳法」は、僕にとつて非常に大きな成功を収めた。そして、最早や此の泳法を以つて、少なくとも国内では誰にでも対抗出来る自信を持つに至つたのである。こうして5月末から6月上旬迄、この泳法を続けて来たのではあつたが、やがて訪れたのは関節炎の再発であつた。あんなに気を付けてやつて来たのに、やつぱり僕にはカエル足の練習は出来ないのであつたか……

そう思うと折角成功した泳法も俄かに惨めなものとならざるを得なかつた。

一足の恢復を待たずに時は流れる。徒らに恢復を待つのは此の際決して賢明な事とは思へなかつた。足が駄目ならその分手でカバーしようと、手だけの練

習が暫く続いた。ダッシュの時、手だけで泳いたのが33秒。この事は、1 昨年全盛時代の記録に匹敵するものであつた。その事から色々と考えて、遂に現在の「ツービートのバタフライ」を見付け出すに到つたのである。

即ち、飛び出す時の(第1)ビートは前の泳ぎと同様であるが、二番目のビートは今迄のカエル足を替えたものである。此の二番目のビートが、カエル足が出来なくなつた結果、それに替るものとして発見出来たものだとしたら何が幸いするか判らないのである。此処で更に付け加えるならば、こうして出来上つた2ビートの泳ぎは確かにスピードはあるが、一度板を持つてのビティングになつた場合はカエル足より遙かに遅かつたと云う事である。だから、足としての、足だけの推進力はカエル足程強くはないが、その替り、曲げる動作は容易であるしその時の抵抗も少ない。確かにピッチも良くあがれば、その分スピードも増す訳である。足は、水泳にとつて基本的なものであり非常に大切なものではあるが、所詮、手の補助でしかないと云う事であり、スピードの大部分は、あく迄手が作り出すものであると云つても著しい間違いはないと思う。

午前中の練習と云えば、僕には何時も決していい記録は出ないのだが、此の泳法に交つて50米が32秒、計時を疑つて今一度計つてみたがやつぱり32秒であつた。此の時の喜びは到底僕の知る限りの言葉で書く事は出来ない。永い間、僕が最もがたい体験を繰り返して来た「スプリントの無さ」が遂に解決したからである。そしてその日の午後、100米は簡単に1分10秒を切つて了つたし、それは200米にも及んで2分34秒と云うとんでもない記録が出たのである。僕は斯うして出来上つた泳法にに対して自ら「長沢式泳法」と名付けた。そして此の泳法をば必ずや立派に育てようと思ひ、何んとかして全日本迄には完成させ皆を驚かしてやろうと思つていたのである。だから、それ迄は出来る限り秘密にして置きたいと思つていたのであつたが……。

それから暫くして(6月12日)水連に行つた時の事、小池さんからこんな事を云われた。

「お前、こう云う泳ぎがあるから一つやつてみないか、どうせお前なら失敗しても先がないのだから試しに研究してみなさい。」

と。云われた泳ぎは正に僕と同じ泳ぎではないか。その時に初めて、僕はドルフィンと云う言葉を知つ

た。ドルフィン?…?…?

何の事だか解らなかつた。此の意味の解けたのは寮に帰つて英和辞典を開けてみてからの事である。

「いるか」と云う訳だが、果して海豚がどの様に尾を振るのか僕には想像は出来ても、まだ見た事がない。見る機会も無かつたが強いて見る必要もないであろう。何故なら、海豚の泳ぎを見ても、我々はそれを研究する事は出来ても真似る事は出来ない。我々が到底海豚ではあり得ないからである。人間には人間としての泳ぎ方がある筈であり、海豚の尾と人間の足とでは根本的なものから同一ではないと思う。

斯うして全日本も過ぎ、外国選手の泳法を見る機会に接したのではあつたが、フージェンやピータースの泳ぎ等、更には100米1分2秒3の驚くべきタムベックの泳法をも、おぼろげに知つたのであるが、僕は少なくとも現在迄、僕には僕の泳法が最も適当ではないかと思つている。2ビートを3ビートに増

せば、より速くなると云う人もいるが、果して理論通りに泳げるかどうか。水泳に関する限りは、理論より実際の方が優先するのである。だから理論的には幾ら尤もらしい泳法であつても彼が速く泳げなかつたら恐らく誰もそれを認める事はないであろうし反対にどんな泳法でも、それで強くなつて了えば、きつと後から彼の為の理論はそこで初めて認められるに違いない。「勝てで官軍」と云う諺があるが、斯様な意味に於いて水泳にもそんな事が通用するのではないだろうか。だからどんな泳法でも自分に適した泳法を見付け出す事であり、より速く、より強く泳ぐ事である。その意味からも、これから色々な泳法が生れるかも知れない。然し、例えその中の誰かゞ飛びぬけて速くなつたとしても彼等には必らずや水泳に於ける最も根本的なものが、きつと内在している事には変りはないであろう。

## オフシーズン 陸上トレーニングの効果

石 田 忠 彦

### 一 オフシーズンのトレーニングの重要性について

ヘルシンキオリンピックに於ける我が水上陣の敗退原因の一つに、施設の不備、特に日本に於ける室内温水プールの欠如が指摘されており、我々もこれを重大なる要素として考えるのが、さればとて日本の現状としてこれが早急に解決される問題とは思えない。或は例え中央に理想的な施設が出来たとしても地方の実状をどおするか、この弱点を何とか打開する方途があるまいか。

その一つの課題として真剣にオフシーズンの陸上トレーニングを取りあげ、その偉大なる効果を感じ情熱をもつて科学的に研究さるべきではあるまいか。「室内プールの完備している米国の選手の進歩に比し、冬期5ヶ月間殆ど練習不可能である日本水泳界の方が却つて急速な躍進を示した所以のものは奈辺にあるか。」(日本水泳読本、斎藤巍洋著)と当時既に氏はその効果を喝破せられている。このベル

リンオリンピック時代に注いだ陸上補助運動への情熱を今こそ再現せねばならない。

私は昭和9年後5年間、奉天の女学校に奉職していたが、その間、時季的に水泳とは正反対のスピードスケATINGのオフシーズン練習法の研究をして、三年後に四名の女学生を歐洲選手権に派遣した経験がある。この効果は半年間の空白を持つ水泳にも充分可能であるという確信があつた。「冬中をこうした注意の下に、自己の体格改造に利用して、充分に準備を尽してシーズンを待つものは、冬中をボンヤリとプールで遊んで終つたものより遙に新しい年も有利に導く事が出来る。」(機関誌22号、松沢一鶴氏)

### 二 従来行われて来た方法について

私の此の問題に対する研究は四年前に着手したのであるが、日本に於けるこの方面の研究資料の貧困と、一般水泳指導者のこれに対する科学的知識の欠如には驚かざるを得なかつた。例えば「日本水泳読

本」にて斎藤氏は「冬季中（11月—4月初旬）は泳ぐことより寧ろ夏の元気を陸に移し、補助運動として陸上競技、バスケットボール、縄飛び、陸上準備体操を行い愉快に過すがよい。」とのみ述べられただけで、何の為に何に重点を置いてやつてよいのか明確にされていない。又松沢氏監修の著「水上競技」中の牧野氏の論旨や、清川、小池、遊佐、牧野四氏共著「競泳指導の仕方」に於ける各氏の説も前記以上に出ていない。柳田亨氏の「水泳補助運動の実際」は体操の点では非常に参考になつたが、内容は一般的な水泳補助体操であり、特にオフシーズンを目的としての総合的のものではないが、私の得た資料の中では最も合理的なものであり、その行き方については、次に述べる松沢氏の理論と共に私の計画の枢軸になつた。

3年前の事だが、参考文献を探し廻っている内にはからずも東京の水連本部で、今日水泳人に取つては国宝の文献とも言うべき機関誌22号に、それに関する松沢一鶴氏の論文を発見した、その論旨は

1. 柔軟体操は広義の疲労回復法である。
2. 必要筋の強化の為に代償運動を行うこと。
3. 運動神経を発達さすこと。
4. 骨格関節内臓を強化すること。

であり、この卓抜した理論が指導原理として働き当時の黄金時代形成の一要因となつたのであろう。まことに敬服した次第である。

### 三 トレーニングの目的

トレーニングについては一般的に従来の考え方は消極的であつた。例えば「要するに指導者は冬の間でもチームをばらばらにしない工夫をして貰いたい。と同時に水に入らない代りに他の陸上運動をやつて夏の間に鍛えた筋肉と運動神経を保つて行く。夏の間に鍛えた心臓を保有し体力を練つて行く。それが出来ればよいのでそれにはバスケットをやろうが、ランニングをやろうが何でもよいと思う。」（競泳指導の仕方、清川氏）とあるがこれではどうも物足りない。もつと積極的な目的を持たねばならないと思う。

私はトレーニングの目的は次の点にあると思う。即ちシーズン中の疲労を如何にして早く回復さすか発育期にある青少年の徒長防止、女子や既成選手の脂肪肥りの防止、弱点の補正、最も根幹をなすものが、競泳に直接必要な諸筋群及び内臓諸器管を如何

にして強化するかである。

つまり冬の間にも前シーズンよりも遙に強化された、水泳に対して合理的な体にして置くというのがその目的なのである。

## 四 身体の柔軟と強化の理論について

### 1. 身体の柔軟

遊佐氏は論文、水泳指導（体育3巻7号）の1節に「特に水泳に於ては身体が柔くなければならぬ。固い身体では柔いフォームで泳ぐことが困難であるからで、固い身体の泳法はどうしても無理な泳ぎとなる。」と体験から、固い身体は泳ぎそのものにブレーキがかかると言う技功面からの立派な結論を出して居られる。而し一面更に重大な事は本質的、力の問題ではあるまいか。

同じく体育3巻11号に、教育大教授本間茂雄は運動家と身体の柔軟について、「身体の硬いことが運動等において極めて不利な理由は一つの筋肉或は数個の筋肉が収縮して運動を起す場合に、その主動収縮筋の反対側にある筋肉が縮まつていて伸びないと丁度ブレーキをかけているのと同じく折角の主動筋の収縮力を減退させることになる。拮抗筋が十分に伸展性を備えていて所謂柔かければ、収縮筋は思う存分の収縮が出来て、それが運動の能率の面にプラスとなつて現われてくる。

即ち体が硬ければかたいほど拮抗筋の抵抗が多くなつて、折角の筋の収縮力即ち筋力を発揮することが少なくなつてくる訳であるから、柔らかいと硬いとは大きな差異が生れてくるのである。」と述べられ身体の柔軟の重要性を内奥から論じていられる。

極論すれば体が柔い事それ自身力である。体が硬いことは技功面のみならず力そのものにブレーキとなる。我々は身体の柔軟について認識を新たにして再出發せねばならない。

### 2. 所要筋肉の強化

生物学的法則として体育上考慮せなければならぬものは周知の如く Roux の三原則である。即ち

- a. 使わなければ弱く痩せて行く
- b. 適度に用いれば現状を維持し更に増強して行く
- c. 過度に用いれば障害を受ける

故に我々は約半年の長いオフシーズンを、シーズン中酷使した身体の疲労回復に名を借りて、絶対に遊んで暮してはならない。

「水泳は水中に於ける運動で、その真の味は空気中で行う如何なる他の運動でも味わえぬ境地である。依つて多少の差異はあきらめて全身的の運動を選んでやつておれば、水泳の筋肉も必ず一緒に動いているのだから相当の効果はあるであろう。これ以上は仕方がない。」(機関誌22号、松沢氏)氏が現在もこの考えかどうかは知る由もないが、これは確かに絶対に間違いのない方法である。然し素人がこの考えで漫然と行くと無駄が生じ、一方にはより重点的な取扱いが抜けて来る。泳法の一つ目オンリーは学問的に言つて決して全身運動ではないからである。

ストロークを如何にして強化するか。ビートやキックを如何にして強化するか。バランスの中心である腰を、そして心臓や肺を如何にして強化するか。かく分析して考え、そして出来ればその一つ一つを鍛錬し、或は複合的に鍛錬してこそ始めて所期の目的が達せられると信ずる。否、達せられたのであつた。

## 五 実験報告

この試みは過去4ケ年の段階を踏んで来ている。当初の漠然とした時代から、理論的にも方法的にも多くの誤謬を改善し、創案し、年々変化してやつと今日のフォームを作りあげた。然し内容は不完全で決して満足すべきものではない。がたゞ生徒も私も効果の絶対性を信じて徹底的にやつたのである。此処にありのままを報告してきびしい御批判を戴きたいと思う。

### 1. 実施した種目

#### A 身体の柔軟を目的としたもの

##### ① 準備運動 (柔軟徒手体操)

通常行われている水泳体操は、複雑な体育ダンスを行つている女学生に取つては形式上あまりに単純且多種なので、これを分析統合し

その所要事項を盛り込んで振動体操的に改作した一連の徒手体操である。これにより出来る範囲内で身体各部を柔軟にする。普断何かにつけ準備運動として使用するのかく称した。詳解の必要はないと思うので省略する。

##### ② 強柔軟体操

閉脚体前屈 (写真1) 額を脚につける。

開脚体前屈 (写真2) 脚を一杯に開いて額を床につける。特に平泳に必要。

体後屈 (写真3) 手をついて後反ブリッジとなる。

体側屈 (写真4) 真横に屈けて足首を握る。

足首前後伸展 (写真5, 6) 写真5は正坐より行く所まで膝を上げる。

(註) 肩の伸展は前記準備運動に盛り込み充分行つた。

#### B 筋肉や内臓の強化を図るもの

##### ③ ストロークを強くする種類

ゴム引き (写真7) 自転車古チューブを縦半分に分つたもの。

斜懸垂屈腕 (写真8)

振り跳び、高鉄棒による。

猫車 (写真9) 補助者が足をしっかりと固定する。

伏臥腕屈伸

(註) 総て女子向きである。男子は腕が強いので別途の方途必要。

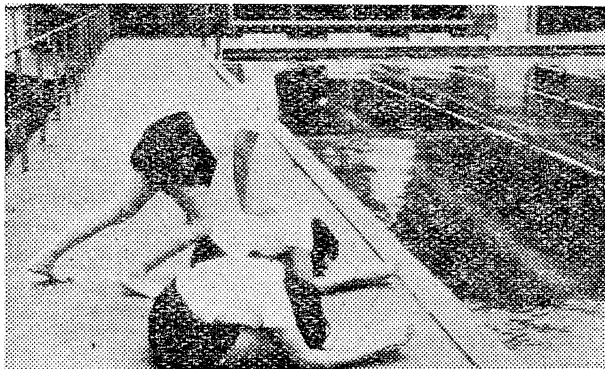
##### ④ ビート及キックを強くする種類

脚前振 伸して交互に水平以上に振り挙げる  
平泳には重要でない。

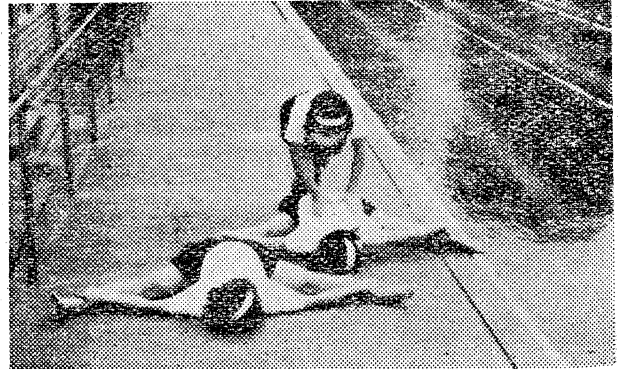
脚全屈伸 (写真10) 平泳に緊要なるも全員行う。スタート、ターンが伸びる。

腰前挙 (写真11) 重心を前に移動することなく腰を挙げ伸して斜の姿勢となり、すぐ元にかえる。

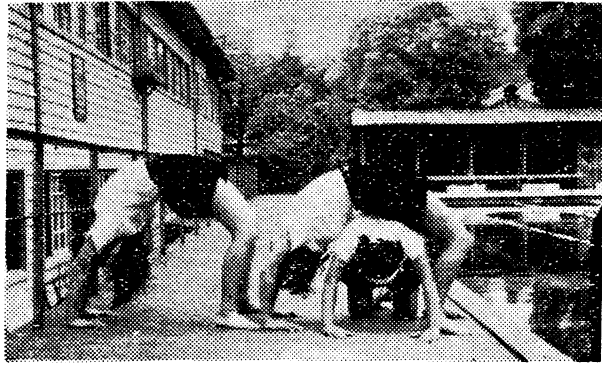
(写真1)



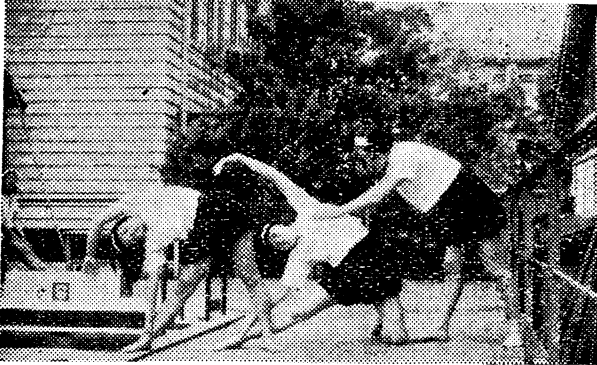
(写真2)



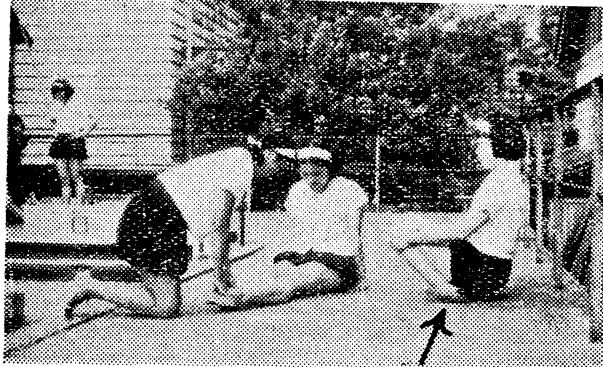
(写真 3)



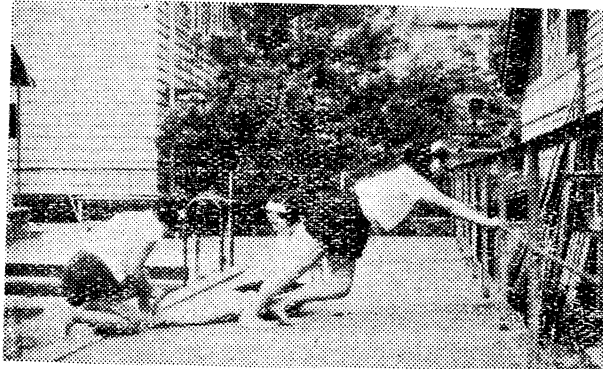
(写真 4)



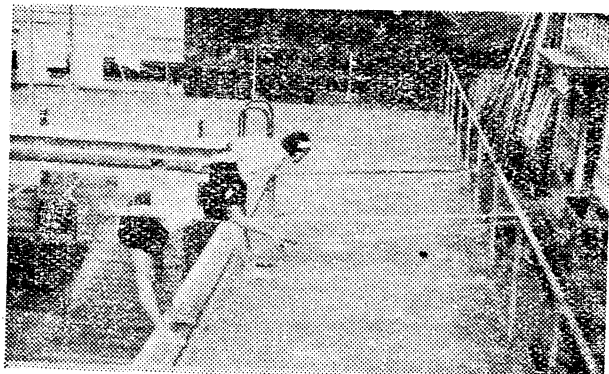
(写真 5)



(写真 6)



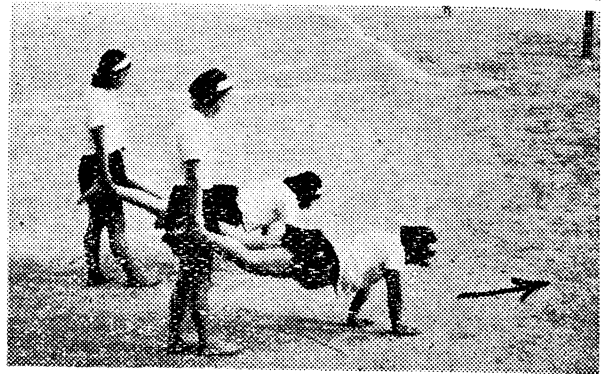
(写真 7)



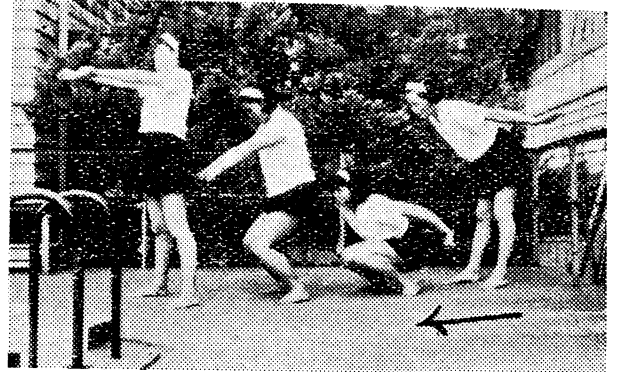
(写真 8)



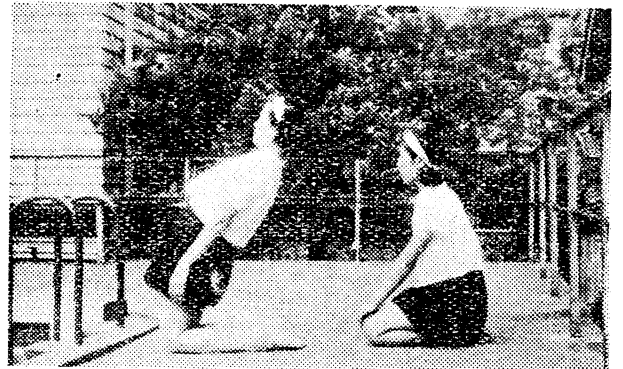
(写真 9)



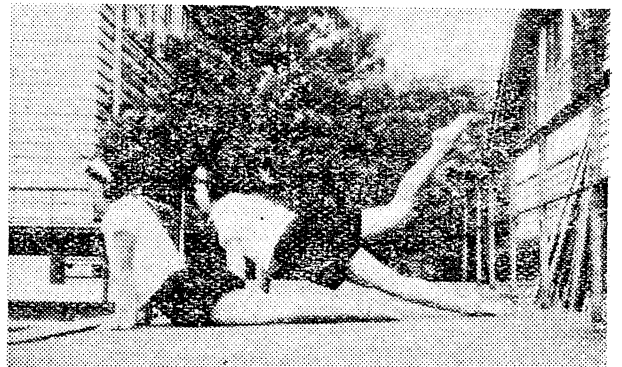
(写真 10)



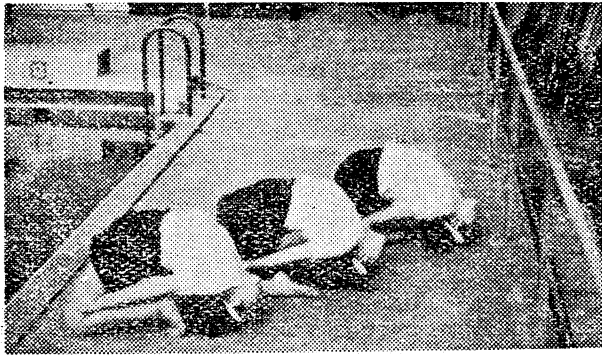
(写真 11)



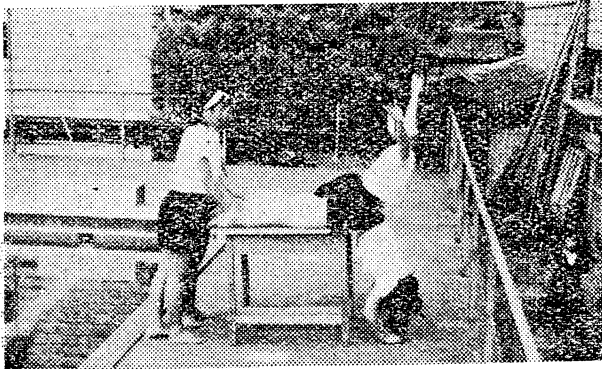
(写真 12)



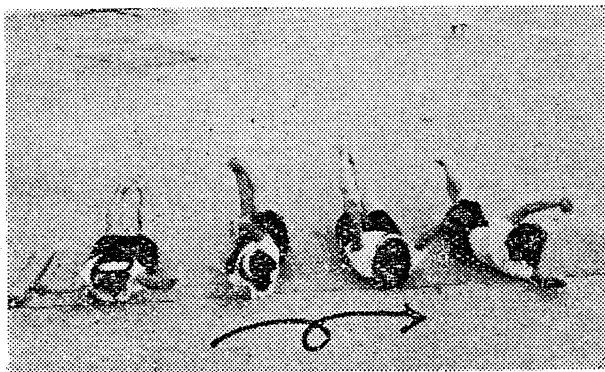
(写真 13)



(写真 14)



(写真 15)



腕立脚後拳 (写真12) 始めの姿勢は足首を伸して膝をついている。片脚を後に挙げる時に地についている他の脚を伸す。

体後屈 (写真13) 頭を床につけて又起上る。強柔軟種目でもある。

立巾跳

◎腰を強くする種類

体後拳 (写真14)

胴体横転 (写真15) 下に脚部や頭、胸、肩等がつかないように胴体だけで横転して行く (註) 前出の運動で二次的に腹筋が強化されるので以上二種のみとした。

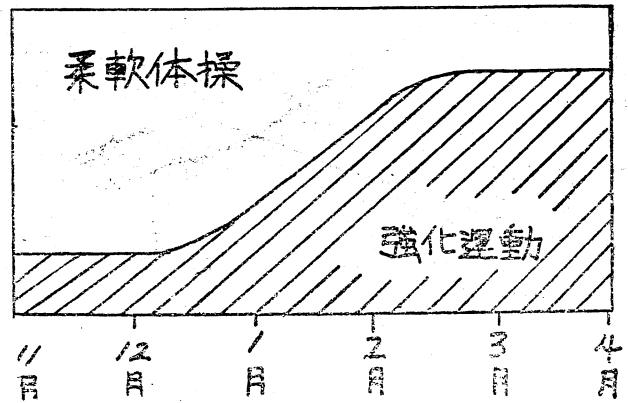
④心臓や肺を強くする種類

長距離走

縄飛び

バスケットボール

(註) 勿論脚の鍛錬でもあり、運動神経の養



第 1 図

成にも役立つ。

2. 季間計画

本県では四月に入るとプールの水温が18度になり且10月一杯まではどうにか泳げるので、まづ11月から3月までの5ヶ月間がオフシーズンである。これを凡そ3期に等分して第1期は徹底的に柔軟体操で終始し、第3期は主として強化運動で鍛え上げる。第2期は前者から後者への漸進的移行期間とした。第1図のような要領で実施した。今年ヘルシンキから帰った郷土出身の西野恭正氏の感想を聞き、特に脚力の養成に一層努力した。

尚本校の運動部員に対する規定、年間5回のレントゲン検査の内2回をこの期間に行い部員の健康管理に注意した。

3. 或る日のスケジュール

④第1期

準備運動 15分

強柔軟体操 30分

体側屈

体前屈

体後屈

足首前後伸展

バスケットボール 30分

整理運動 6分

④第2期

準備運動 10分

縄飛び 5分

強柔軟体操 15分

各自不得手の種目を行わせる。

強化運動

脚前振 150回

脚前屈伸 150回

斜懸垂屈腕	出来るだけ
体後反	〃
猫車	〃
駢足	20分
整理運動	6分

◎第3期

準備運動	10分
強化運動	

斜懸垂屈腕テスト

腰前拳テスト

猫車 50米

腕立脚後拳 出来るだけ

胴体横転 〃

駢足 30分

ゴム引 出来るだけ

整理運動 6分

4. 進歩の跡

テストは合理的に行われる種目で且結果に客観性のある種目を選んだ。強柔軟体操の方は被験者の成功率で示し、強化運動はテスト成績の平均値で表わして見た。27年度オフシーズン中最初の成績と、その後のベスト成績の比較表を次に掲げる。

④強柔軟体操成績比較表

種目	成功率	最初の成功率%	最後の成功率%
閉脚体前屈(写真1)	67	100	100
開脚体前屈(写真2)	33	100	100
体後屈(写真3)	33	67	67
体側屈(写真4)	83	100	100

第2図

⑤強化運動成績比較表

種目	テスト平均値	シーズン最初のテスト平均	其の後のベスト平均
斜懸垂屈腕(写真8)	7.8回	7.8回	34.0回
猫車(写真9)	20.3米	20.3米	107.7米
腰前拳(写真11)	30.0回	30.0回	88.0回
腕立脚後拳(写真12)	10.5回	10.5回	31.0回
体後反(写真14)	8.8回	8.8回	36.7回
立巾飛	2.03米	2.03米	2.12米

第3図

後から気がつく、てんかん病みで不明の致す所、基本的体力(発育測定、肺活量、背筋力、握力等)の測定を怠つた事をまことに遺憾に思っているが、鍛錬した種目そのものについては非常な好成績を上げたと思う。

5. 水泳上に現われたトレーニングの効果

徐々に私の言わんとする最後の段階に来た、如何に陸上のトレーニングを合理的に行つても実際にそれが水泳上の効果として作用しなければ、徒勞に過ぎない事になる。かくて例年の事ながら今年も亦シーズン最初の日を神に祈りつつどんなに待ちわびた事か。そして愈々その日が来た。生徒も払つた労苦に関心があるのか、半年ぶりに見るお互の見違えるような肉体に話を、はずませている。やがてドンと飛び込むプールのしぶきの中に去年とは打つて交つたようなはげしいビート、力強いストローク、腕と脚の力のバランスが取れず困惑したような泳ぎを見た時、今年こそは報われたと思う喜びで一杯であった。而し今主観的見解は止めねばなるまい。

此処に最も重要なものは科学的根拠であろう。か

要項 年度	トレーニング 実施日数	トレーニング実施状況	泳ぎ始め	ベストタイム が出るまでの 平均日数
24	?	生徒任せて計画的には何も行はず		
25	46	全体的運動を主として実施したが生徒の熱もうすく不徹底だった	4月10日 水温 17°	57.1
26	59	前年に較べて生徒の認識も高まりヘルシキの刺戟もあり特に腕に力を注いで行つた	4月2日 水温 16°	25.0
27	84	生徒も効果の絶対性を信ずるに到り共に方法を研究し尚一層脚に力を注いで熱心に練習した	3月2日 水温 9°	26.8
28			4月10日 水温 18°	14.0

第4図

く考える時何故最初から各種の立証法を研究し、その資料を整えなかつたかと今更ながら後悔しているのであるが、次の第4表は科学的根拠というには余りに貧弱で恥しい次第であるが私に取つては宝であり唯一のものである。

(註) 統計上の人員は部員の増減や勤惰により年々異つているが大体その年のトレーニング実施日の3分の2以上出席者について収録した。

タイム測定の水泳種目を始めから一定して置けばよかつたが、最初そこまでは考え及ばなかつたので、年々変つている。今年は長距離種目について測定した。シーズン始めは大体水慣れの為ロングを引くであろうからこれが妥当かと思う。

27年度に成績が落ちたのはヘルシンキ予選の関係上、例年より1ヶ月早く泳ぎ始めたがいつまでも水温が上らず、当初は殆ど練習らしい練習が出来ず、剩え風邪病人が次々に出た故であろうと考えている。

ともあれこれだけの資料では十分ではないが、オフシーズンのトレーニングの効果が水泳上に現われた動かすことの出来ない成果と言えないだろうか。勿論計画的トレーニングを行わなかつた24年度以前は問題にならない。

## 六 結 び

何分にも当初こんなものを発表しようと言う考えは毛頭なかつたので、客観的な効果の立証法がすこぶるまずい事を遺憾に思う。然し去年ようやく泳い

でいたものが今年は泳ぎ初めの日から平気で長距離をばりばり泳ぐ頼もしい姿や、又早い者は二日目に遅い者でも1ヶ月内で各自がベストタイムを更新する結果を眼のあたり見ては、水泳人の良心として黙してはおられないのである。然し或は私が将来の生徒の戦績によつて恥をかくかも知れない。それでもよい。これはこの事実として一刻も早く日本の水泳界に呈したい。貧弱な田舎者の歩みでもこの結果が得られるならば、この問題を中央で取り上げて研究され、これを全国的運動にまで展開すれば、日本水泳界の弱点を補う大きな力とはならないだろうか。

終りに引用した文の先輩各位に対し謝意を表すると共に、或は無礼を心よりお詫びする次第である。

28. 5. 28

(後がき) この拙稿は今から1年半前、私が土佐女子高校水泳部長をしていた頃のもので、今にして思えば不足の点多く汗顔の至りである。資料についてもその後始めて、水連に補助運動に関する単行本があつた事や、吉田勝平氏の著書等を知り無駄な労苦をしたものだと当時を回顧した次第である。

水泳の成果については結局あの時高知で行われた団体女子の部で、一躍第3位の成果を上げ高知県総合優勝の一素因をならしめた事を附記する。

今回水連で新しく陸上で行う水泳強化運動を制定する事になつたが喜びこの上もない。この拙稿が、これを真実目に実行さえすれば必ず効果があるという信念を諸君に多少でも与える事に役立てば望外の幸である。

# 短 距 離 選 手 の 今 昔

坂 本 亮 四 郎

第10回ロスアンゼルスオリンピックの継泳に世界で初めて8分台の大記録を樹立して、アメリカの専門家をして「3人のワイズミュラー1人のコジャックがいても負けたらう」と讚美せしめた日本チームの第1泳者宮崎の200のラップタイム2:13.8はまことに破天荒な記録で、当時としては長水路で14秒以内は、私の記憶に誤りがなければワイズミュラー唯独りである。今を去る22年昔のオリンピック

チャンピオン宮崎選手の100m58.5は現在のわが国短距離選手の記録に伍しても未だに第1級の価値を有する不朽のものであるが、それにひきかえ200の前記々録は10傑にも割りこみ困難で、近年は60.0を切り得なくても200に13.14秒台の選手が多数輩出している現情は100に比して200の進歩が著しいことは事実である。

この100と200の関係を戦前と戦後に分けて検討



してみよう。戦前戦後各30名の選手を選抜して、最高記録を以て力の割合  $(\frac{100}{200 \div 2})$  を計算し、耐久力によつてスプリント型、均衡型及び耐久型に3分し尚極端なものを細分して次の結果を得た。

	戦前	戦後
選抜選手数	30	30
100平均	59.91	59.36
200平均	2:17.31	2:12.67
%	87.28	89.49
特スプリント型	~85.4③	87.5②
スプリント型	85.4~86.4⑥	87.5~88.6⑤
均衡型	86.4~88.2⑪	88.6~90.4⑭
耐久型	88.2~89.2⑧	90.4~91.5⑦
特耐久型	89.2~②	91.5②

60名を列記するのは煩雑となるので60秒を切つた選手のみ表1、表2に掲げる。又現行のスタートとクイックスタートとの問題については論及しないことにする。

表1

特スプリント型			%
河石	58.6	(2:19.6)	83.95
スプリント型			
志村	58.6	2:17.2	85.42
均衡型			
佐々木	58.6	2:15.4	86.56
宮崎	58.0	(2:13.8)	86.70
高石	59.4	2:16.8	86.84
阪上	59.6	(2:16.8)	87.13
遊佐	57.2	2:11.2	87.20
平野光	59.8	2:15.8	88.07
耐久型			
杉浦	59.2	2:13.8	88.49
新井	57.7	2:09.6	89.04

表2

特スプリント型			
田中武	59.6	2:17.8	86.50
スプリント型			
清水	59.0	2:15.0	87.53
真木	59.2	2:14.6	87.96
山本	58.8	2:13.4	88.16
谷	57.0	2:09.2	88.23
均衡型			
浜口	57.8	(2:10.1)	88.85

丸山	(59.0)	2:12.6	88.99
古賀	57.6	2:09.4	89.03
浜島	58.6	2:11.4	89.19
松岡	59.8	2:14.0	89.25
谷川	57.8	2:09.4	89.34
細間	(58.3)	2:10.2	89.55

耐久型

鈴木	57.4	2:06.8	90.54
堂崎	59.8	2:12.0	90.61
田中純	59.8	2:12.0	90.61
後藤	58.2	2:08.0	90.94
西	59.8	2:11.4	91.02

特耐久型

古橋	59.2	2:07.6	92.79
----	------	--------	-------

註、括弧内は非公式記録

①戦前に比較して時間にして03.4比率で2.2%進歩している。

②200が目覚ましく躍進した結果、型が1.5位ズレて、戦前の基準をそのまま当てはめると、特スプリント型とスプリント型。均衡型5 耐久型9 残り16が特耐久型となる。

戦前の耐久型の約半分は既に戦後のスプリント型に吸収されている。この傾向は今後年毎に進み、戦前の耐久型はやがてそつくりスプリント型に相当する時代も近いことであろう。

現在手許に200のラップタイムの資料不備のための確なことは判らないが、200の前半即ち“100最高+いたわつてやる時間”のいたわつてやる時間は、戦前は04.0~07.0で大体5秒であつたのに対して、戦後のそれは約3秒で、この前半2秒と後半の若干とが前記の03.4となつて現われているようである。

前半が終つてターンから始まるスタートのない後半と、スタート台から飛びこむのと時間的にどの位の差異があるのか判然としないが、仮りに1秒の差があるものとして計算したのが表3、表4である。

表3

	A 100最高×2+1秒	200最高-A (100ラップ-100最高)	いたわつてやる時間 後半の疲労	
志村	1:58.2	19.0	06.4	12.6
宮崎	1:57.0	16.8	05.0	11.8
高石	1:59.8	17.0	07.1	09.9
遊佐	1:55.4	15.8	04.6	11.2
平野	2:00.6	15.2	04.8	10.4
片岡	2:01.0	15.0	05.0	10.0

五十嵐	2: 02.2	14.8	04.4	10.4
杉浦	1: 59.4	14.4	04.2	10.2
新井	1: 56.4	13.2	03.7	09.5
横山	2: 01.8	13.4	05.4	08.0
30名平均		16.49		
10名平均			05.06	10.40

表4

谷	1: 55.0	14.2	04.7	09.5
浜口	1: 56.6	13.5	03.4	10.1
古賀	1: 56.2	13.2	02.8	10.4
谷川	1: 56.6	12.8	02.0	10.8
鈴木	1: 55.8	11.0	03.0	08.0
後藤	1: 57.4	10.6	03.0	07.6
古橋	1: 59.4	08.2	02.2	06.0
30名平均		12.95		
7名平均			03.01	08.91

①200最高 - (100最高×2+1) =

いたわつてやる時間+後半の疲労

いたわつてやる時間は短縮されても限度があつ

て2秒以内は無理であろうと思うが、後半の疲労は耐久力の増大に従つて短縮されるものである。最近はいたわつてやる時間が限度に近づきつつあるから、今後200の記録を上げるのには耐久力を増して後半の疲労を克服する以外に途がないようである。

②いたわつてやる時間と後半の疲労の合計は戦前選手30名中新井は鷺谷に次いで第2位であるが戦後にはそれ以上の者は丁度半数の15名もいる。

③反対に戦後最低の田中武を戦前に当てはめると21位に該当し、それ以下がまだ10名もいることになる。

以上優秀な短距離選手について分析検討したが、表3、表4は私の創意によるものではなく、過日スポーツ紙上に大島鎌吉氏が発表された“陸上練習法”中から援用したものである。この表は他の種目にも利用できる新しい研究方法ではないかと思う。

## 飛 込 二 題

原 秀 夫

### “何故飛込が流行らないのか、”

“何故日本では飛込が流行らないんだろう”ポカポカと暖くなつて来た湘南逗子の拙宅で日向ボッコをしながらこんな事を考えて見た。

第一に「日本人は見栄つぱりだから」だと思える誰でも水に強くなつて来れば相手を見付けて泳ぎつくらをして見たり、高い処を見付けて飛込んで見たり、ボールを捜して投げ合つて見たりしたくなる筈である。若し或る男が飛込台へ昇つて飛びこんで見ようと思つたとすると、飛込んで面白がるよりも先づ自分の飛込が巧く行かなかつた場合にも誰か他人に見られて笑われては癪だと考える。それが女の人だつたとするとすつきりした処を見せて自分の美しさを誇示したい気持ちは充分すぎる程あるくせに若し失敗して無細工な恰好をしたら恥しくつて耐らない、だから何となく人の楽しそうにやつてい

るのをボンヤリ見ている。要するにあらゆる場合に家の外では他所行きになつてしまう日本古来の美風が、こんな時にも現われて来て、あんな事位自分でも出来そうだ、一寸やつて見ようかしらと云う気持を事前に押しつぶしてしまうのである。もつとも戦後は神宮プール辺りにアメリカ人の老若男女が沢山現われて、この連中は泳ぐ事よりもむしろ飛込んだり水と戯れむれたりする事が好きで“キーキー”“キャーキャー”と奇声を挙げながら恰好も何もあつたものではなく、2米3米5米6米と処構わず飛び出してプールサイドの監視係りの嬉しい悲鳴となつたものだから、之を真似する日本人も続々と現われて来て都会地のプールでは大分他所行き思想は無くなつて来た様だ。

二番目に「どうも日本人は遊び事にも理屈が多すぎる」のだと思う。自分が飛込んで見た事もないのに、蝦型がどうの、抱え型がどうの、廻転が速いの

遅いのと、理屈の方が先に立つてしまつてプールサイドで一席ぶつてしまうので、さてそれでは御手並み拝見と来ると今日はどうも「コンディション」が悪いから此次の機会にと云う事になつてしまう、しかもこの二番目の点は一般ファンに対してよりも反つて水泳の専門家、水泳連盟の関係各位、競泳水泳の選手各位に反対に多いので真に残念至極と云わざるを得ない。

何時かアルペシスキーの麻生の武さんに御会いた時に最近のスキーが「廻転競技のスキー」「ダウンヒル専門のスキー」に片寄りすぎて、登つたり、降つたり、景色を眺めて楽しんだりする一般のスキーイングから段々遠ざかつて行くと云つて悲しんで居られたが、プールへ来る水泳ファンにしても、全部が全部競泳専門とは思えない、然もスピードの遅い、或は遅くなつた選手たちが大して面白くもなく泳いでいるのなら、一つ飛込台から身を踊らせて見る勇氣はありませんか。

第三に、男も女も水泳の服装が日本のそれではプールで遊ぶのに真に不適當です。男の場合水褌一つでは競泳日本泳法専門の場合は差支えないとしても飛込んだり、戯れたりする場合には余程気を付けて居ないと、横へはみ出たりする怖れが充分あります。矢張りプールで遊ぶにはピッタリと腰に合つた丈夫なハーフパンツが一番です、之ならいくら戯れたつて絶対大丈夫です。女の人の場合を考えると、例の女子競泳着は若し着るのならレース専門の時に着て欲しいと思います。第一胸の辺りの備えが如何にも不十分で勿論プールでの遊泳には向かないし、あれでは一寸飛込んで見ようと思つても水着の乱れの方が氣になつて充分手足が動かさせません。アメリカでもヨーロッパでも一流競泳選手でさえ、練習の時等は相当しつかりした地質の水着をピッタリと身体に着けてやつていました。プールでの水着姿は街頭でのドレス姿と同じなのだからいくら動いても心配ないスッキリしたものを着て下さい。それから女の人は競泳選手は兎も角として一般には是非水泳帽を被る事を奨励して欲しいものです。あれがないと第一不潔で不可ません。

勿論以上の三つだけが飛込の流行らない原因の全部ではないでしょうが、プールへ行つて「泳いで見たり」「飛込んで見たり」「ボール投げをして見たり」と云うのが何と云つても水泳本来の楽しい姿なので折角大金を掛けて、立派な飛込プールを造つて

置きながら、その飛込台の下で相交らず競泳ばかりやつて時計と腕めつこばかりしているのでは何とでももつたいないと思います。(30.3.20)

## “練習には考へと方針を持つて、”

飛込選手にもコーチにも練習についての思想がない、シーズンが来ると唯漫然とプールに現われて練習をし、コーチは又何の方針も考えもなしにその時限りのコーチを勝手にやつて帰つてしまう。戦後の日本の飛込界の不振の原因の一つに、その事が相当重要だと思う。

試みに先年来朝したハリソン(米)の飛込を思い出して見て下さい。私が彼ハリソンの飛込から受けた印象は、敢くまでヤンキーらしい若さと明るさでありました。サミー季を考えて見ましょう。腰の超人的な強さ、エネルギーの塊、力と飛込技術の権化、と云ふ感じであつた。勿論3回半宙返りや2回捻りをやつたりする間に、個々の技術的な欠点、特長を指摘すれば色々議論は尽きなかり。然しそれよりももつと重要な事は神宮プールを埋めた満場のファンの観るものが何であるかと云う事だ。力とフォームと精神力が渾然一体となつて盛夏の青空の下に描き出される飛込選手の総合的な「芸」をこそ見物人が見に来るのだと思う。

飛込について非常に精しい見物人ならば、彼等の卓越した技術に、フォームに非常に沢山、非常に深く感謝するだろうし、飛込を見たのが始めての見物人でさえも何となくはじめは驚き、そして次の瞬間には思わず拍手喝采してしまうのは、夏の夕べの神宮プールでライトに照らされてキラキラ光る水、仄かに映し出された飛込台から突然飛び出して二転三転し音もなく水面から消えて行くダイヴァーの描き出す夢の様な景色に対してに他ならない。

身体の小さい者は、小さいなりに敏捷に、正確に身体の大きな者は、敢くまで雄大に悠々と。

2人のダイヴァーが行き着こうとねらつて居る先は一つであつても、行くべき道は当然異つて居る筈だと思ふ。

飛込選手が夫々自分がどんな選手になろうとするのかを考え、コーチは又彼の選手をどう云う形に育て様とするのか、もつともつと充分に周到に計画を建てて行かねば駄目だと思ふ。先年来朝したサミー季が1米のスプリングボードで入水の技術を見せて呉れた時に、ヘルシンキの優勝者ヴラウニングはこ

うやつた位のアンダーソンはこう云う風にやる、然し自分は、身体が小さいし、腰が人一倍強いからこうやるのだと繰り返し繰り返し説明して呉れた。何のスポーツでも同じ様に、フレッシュマンの中は、耐力練習、耐寒練習、基礎練習も一律に、烈しく泣いても泣いてもやるべきだし、やらせるべきだ。然し10種目の平均が6点位の選手が、そのアペレージを0.5分でも、2点でも上げ様とする為には、各人夫々に応じた、異つた練習を必要とする場合の方がむしろ多くなつて来る筈である。オリンピックの時のアメリカのダイビングチーム等は、戦前の伯林の時でもコーチが二人先年のヘルシンキの時等は何と四人のコーチが夫々分担を定めて自分の選手を見

ていた様だ。

私個人としては日本の男子ダイバーは、高飛込に専念して朝鮮系の二世であり身体つきも似ているサミー季の技術と練習方法をもつともつと徹底的に掘り下げて研究し、真似して行くべきだと確信している。

“スプリングボードは生きている”上手に使えばボードは自分の思うように、自分の好きな高さに、ダイバーを放り上げて呉れる。何の考えもなしに無茶苦茶に使えばボードの弾力が反つて飛込技術の邪魔をして、ダイバーは大きく水面に投げ出されてしまうだろう。(30. 3. 20)

## 水球の泳ぎと動き

水球委員 名 取 正 也

水球はその発生の歴史から見て、ラクビー、サッカー、バスケットボール等の既に行われて居たゲームを水中に移してやつて見ようという事から始まつたものと思われる。従つて団体競技であり、球技であると共に高度の泳法を必要とする。泳げる事と球を扱うことを併せたゲームである。この事は水球の泳ぎというものは独特の訓練を経て水球競技の為に作られるべきであり、球技との関連の上に完成されるものであると思う。

こういう見方で水球の泳ぎと動きを考えて見度い。

水球の泳ぎには、(1)速力、(2)強さ、(3)浮力の3点が要求される。速さは勿論ストップウォッチの上に見わされる速さであるが、単に50米、100米を優秀なタイムで泳げるということだけではない。水球ゲームに於ける速さは主としてスタートダッシュである。フィールドの最大距離30米であるからゲーム中に於けるダッシュの最長は恐らく20米を超える事は無い。競泳に於ける速さは、ピストルで同時にスタートしコースの中を真直に一定距離の速さを競うものであり、水球に於ける20米は如何にして相手より早く飛び出すか、如何にして瞬間的に全速に移るか云う事が、80パーセントの要素である、其上コース

がきまつて居らない。目標に向い、目的に従つて自由に方向をきめなくてはならない。この事から速さの訓練には、体勢転移(体のかえし)扇り足が加えられるのである。あらゆる姿勢からあらゆる方向にスタートする練習にはどうしてもこの体のこなしと扇り足を十分やらなくてはならない。ハンガリーチームが蹴蹴手を盛に練習しているのもこの為であろう。このスタートダッシュの練習は更に効果的な練習法を各チームが研究すべきである。

泳ぎの強さということは二つの意味がある。通算1時間にもなるゲームを通して泳ぐのであるから、耐久力は絶対の条件である。速さの所で述べた様に1回のダッシュの距離は20米でも、これを何回も繰返し休むひまも無いこともあろう。然も自己のペースを守り力の配分を計ることは難しい。すべてゲーム次第、相手次第である。従つて相当ハードなダッシュの練習を考えなくてはならないであろう。

一方他の意味では所謂馬力である。水球ルールでは、相手の脚や体の上を泳げば反則である。然し同時に飛び出して球を競合い、或は好位置を取合う場合に、相手の腕や体が触れたり、押されたり、甚だしきは蹴飛ばされてもそれでスピードが落ち、ガックリくる様ではプレーヤーとして落第である。更に

競合いに勝つても次に直に球を扱う動作が続いている。頭を挙げ、腕を出して動作するには強力な手足が作られて居なくてはならない。

最後に浮力であるが、前の二要素と関連して自ら解ることであろう。球は水面上で扱うのであるからゴールキーパーは勿論の事、バックマンのチャージフォワードのシュート、其他パスもドリブルも成る可く体が出ていて然も一寸のことでは沈まない強い浮力の有無で動作の優劣がきまるのは当然である。陸上運動の球技はすべて大地という堅い反動を利用して行つて居る。水球ではこれに代る水が相手である。水を蹴り、挟み、踏んで動作するからには陸上に於ける腰や脚のバネの強弱という要素に更に水の蹴り方、挟み方、踏み方の上手下手が大きく関係して来るのである。この基本である脚の動作は千差万別であつて、更にこれを助ける片手の動作と組合つて各人の工夫にまつ他はない。陸上運動に於ては、重心移動とバランスの問題として、研究されている事が水中に於ては非常に複雑である。

浮力の問題は此の様に難しい。我々が水球を行つている時には、自分で意識しないたくさんの細かい動作で体が支えられているのである。気の付かない様な筋肉が働き、気の付かない部分が浮力を助けているのであろう。練習に遠ざかつたOBがプールに入つて先づ感ずる事が体が沈んで困ることである。一寸タックルされてもスーッと沈んでしまう、これは体の全筋肉が協力して呉れないからで、現役時代の無意識の動きが大部分忘れられた為であらう。

以上の様に単なる泳ぎの上に色々な水球的な要素が要求されるのであるが、水球練習を行つて居れば自然と会得される事であるかも知れない、然し重要な点は効果的な練習法によつて特に練磨することが大切である。ラクビーの選手が、トラックで走るより、グラウンドで球を持つと腰がきまつてかえつて早く走れるというのは水球の泳ぎの練習を特に取上げなければならない証拠である様に思う。

水球の動きというのは何であろう。前に述べた様に陸上運動との根本的な違いは大地と水の相違である。水中の動作には転倒という事は無い、重心に対するバランスではなく水の抵抗に対するバランスである、浮力のバランスである、従つて水中の動作は姿勢が非常に自由であつてその為に水球の動作は投球動作にしても種類が多い、一方陸上動作より緩慢である。陸上動作の様にテキパキした動作は丁度土

と水との堅さの違い位、違ふのである。然るに球の動きは同型の陸上球技の球の動きとあまり違いは無い、この事が水球競技の特色であり、短所でもあるのだ。アイスホッケーのスピード感は論外としてもバスケットボールやラクビーより動きはにぶく球の速さとの差は大きい。この事は水球に於てはにぶい動作を出来るだけ迅く然も有効に動作する必要と、水球の筋金であるパスの重要性を生ずるものである。野球のダブルプレーの動作を見れば如何に球の動きは人の動きよりも早いかという事そしてこの球の早い動きを行う為に人の早い動作を訓練せねばならぬかという事が解る筈である。水球も又同様である。泳いで運ぶよりは球を投げの方が数倍早い、この球の動きを役立てる為には人はよい位置を占めなければならない。球の早さと確実さ、人の動きの早さとが水球の根幹に成るわけである。

この事は決して相反した事柄ではない。そして作戦的にもパスの重要性と泳ぎの重要性はどちらにも偏重されてはならないのである。

水球の動きには動作を行うプレーヤーの気持の上から二つに大別される。対人プレーと対域プレーである、対人プレーと云うのは相手方に直接動作するプレーであつて、競合い、マーク、タックル、或はそれに対応する攻撃側のプレー等がそれであり、対域プレーとは結局広い意味のゾーンプレーの事である。我々の水球の歴史を振り返つて見ると、最初はチームとしての球運びと球捌きが勝利を占め、次に泳力とシュート力の強さをまとめたチームが栄え、続いてパスの重要性に目覚めると共に攻撃布陣を常置するシステム即ちフローティングシステムに移り更に融通自在な全員攻撃、全員防禦のシステム、ゾーンプレーの重要性という型に発展を続けて居る。この為に基本動作としても対人プレーと対域プレーの二要素をはつきり掴んで練習し、基本技としての動きを習熟せねばならない。

先づ対人プレーは前記の強力な水球の泳ぎの上に訓練せられる。フォワードもバックも其の動作は強力にしかもタイミングを外してはならない。タイミングの悪い動作は効果が無いばかりではなく反則となる場合が多い。バックマンのタックルにしても、相手にボールが渡つた瞬間にボールかボールに一番近い体の部分にタックルするのであるが、間に合わない場合は次の相手の動作の始まる時に適切なタックルを行うことに成る。このタイミングが外れれば

反則となり易い、フォワードにすれば、パスが届く寸前に動作が始る。そして相手バックのタックルの一瞬前にシュートに移るか、球を保持するのを一時遅らせてバックの動作の間隔をねらうので何れもタイミングの良否で動作が生きて来る、此の場合フォワードもバックも球に動作するのが最良であつて、ボディープレーは下である。然し球に動作するプレーの体の動きが自然に相手へのボディープレーとして働く様に工夫する位に研究しなくてはならない、すべての動作は個々の動作として終つてしまつてはならぬ。一つの動作をした後で直に次の手を打つかどうかで動きの上手下手は決まるものである、そして対人プレーとは云えチームの一員として他のプレーヤーとのコンビネーションが無ければ成り立たない、例えばバックの動作は他のバックとゴールキーパーとの分業であつて、個々のプレーもそれだけ上手でも意味はない、この事は次の対域プレーも又同様である。

対域プレーというのは丁度碁の布石と同じである、我々は一定のフィールドでゲームを行いゴールは固定して居るのであるから一応相手方を考えなくても最適な攻撃地域と防禦地域は決まつて居るわけである。防禦側のゾーンプレーの場合は、その要点を先取してしまえば攻撃は著しくやり難くなる。更にゾーンを相手の出様に依じて向きを変え、網の目を変える小移動だけであらゆる攻撃に対応出来る筈である。この動作を行う為にも速さ弱さ浮力を持つた泳者を当てなくてはならない。プレーヤーは地域を占拠するだけでなくパスの球筋を圧え、隙あれば相手から球を奪い自軍の攻撃に代えねばならない。

(28頁より続く)

- (1) 鹿兒島県立宮之城高校 東郷清一  
 (2) 4月11日 (3) 1時間30分～3時間  
 (4) 1時間30分(水泳補助運動、縄跳、バスケット)  
 (5) 水泳補助運動(準備運動)のみ  
 (6)(a) アジア大会に備えての練習に刺戟され出場者以外の者も早くから練習した  
 (b) 地域社会の関心が高まり部員の獲得、物心両面の援助を積極的に受けることが出来た  
 (7)(a) 新入生、新入部者を加えての練習の4月中下旬まで稍疲れ気味で上り出しが悪かつた  
 (b) 課外授業等のため部員の集合が一致せず放課の早いものから各自20分以上自由練習を5月中旬から3週間位採用したら部の団結を欠き新人は記録的に引上げられなかつた

ゾーンプレーを行うには数人のコンビネーションにより行うのであるが、1人でも行う場合がある。例えば2人のフォワードの間に入つたバックの動作の如きはそれである。元々ゾーンプレーは攻撃側より少い人数で守らねばならぬ場合に行われたものでこれはフローティングシステムを採つた場合、攻撃力常置の為フォワードを1人或は2人敵陣に残し、相手の全員攻撃を防ごうとして行われた、敵陣にフォワードを残すことは一種の対域プレーでもあるわけである。プレーヤーの泳ぎのスピードが増して変り目の早い水球になつた今日では、非常手段としてではなく、システムとしてゾーンを布くと同時に攻撃への転換法をもシステムとして研究しなければならない。対人にしても対域にしてもプレーヤーの判断とチームのコンビネーションが一致して行われることが大切であつて、確実な動作が鋭いタイミングで行われることが要求される、これは水球感覚の問題である。運動神経とか勘とか云うものは一朝一夕に生れるものではない。ゾーンプレーは極度にこの点が強調される動作であろう。10年、20年の水球経歴を持つ外国チームに対して我々が頼みとする所は何であろうか、世界に覇を称えたジャパニーズクロールを完成した我々の速さはそのまま過大視する事は出来ない。50米を25、6秒で泳ぐプレーヤーは欧州にもいくらでも居るであろう。むしろ長距離の粘り強さを作つた日本人の柔軟にして強力な脚や腰のバネと、伝統的な器用さと勘の良さを結集して、ジャパニーズウオターポロを育ててゆき度いと思つている。(30.3.20)

- (c) 女子陣の1、2の者の記録退歩  
 (8)(a) 男子チーム、古川のカムバックによりせめて九州内では五位内に入りたいと思う  
 (b) 女子チーム、小牧、藤田、昨年不調でしたので日本高校、国体では存外の結果に終りましたが本年は何とかして28年度位迄には引上げたいと思う  
 (c) 只残念なことに素質ある泳者が入学致しませんので心細い限りです、来春は主力が卒業しますので本年は中学校と密接な連絡をとり本年中に後者を養成したい所存です  
 (9) 女子、日本高校選手権  
 男子、九州高校選手権

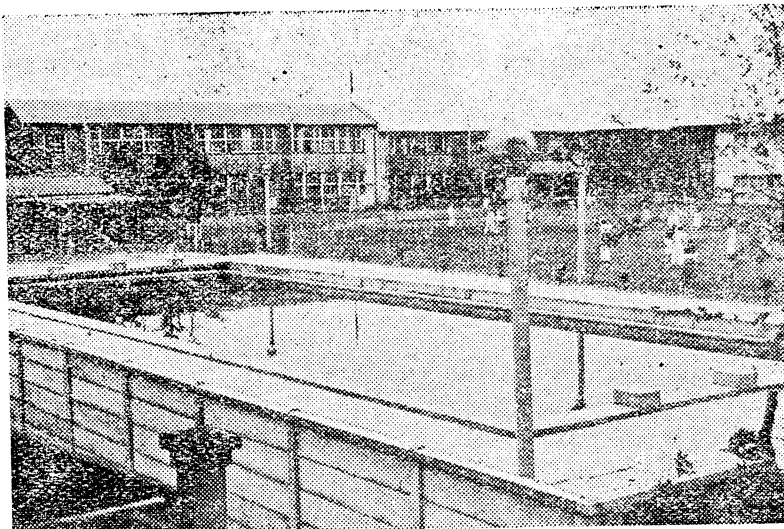
# プールの完成迄

## 東京都世田ヶ谷区太子堂中学校プール

東京都世田ヶ谷区，太子堂中学校のプールは建設に当り学校，P，T，A，地元有志の三者が一体となり携まない努力と強固な団結とに依り昭和29年7月完成した。

同校プールは日本水泳連盟の推薦する公認25米標準型プールで，茲に完成迄の経過，工事費，その他を発表致します。

今後のプール建設の一助ともなれば幸甚の至りであります。



(世田谷区，太子堂中学校プール)

### (一) プール建設迄の経過

(イ) 第一段階 昭和28年1月プール建設の話が出た当時は暗中模索の時期で，地の利を活用して，防火用池といった形のものと考え，大半の費用を官庁に仰ぐ道を探し廻つた。

(ロ) 第二段階 地元の有力者の指示で，失業対策事業としての認可運動を行い，略々成功。

(ハ) 第三段階 学校が都立であるか，又は絶えず土木事業を持つ区であるならば，第二段階で完成した筈であるが，世田ヶ谷区では区として受入れる余裕がなく，その為費用補助に関し区との折衝に相当の月日を要した。

(ニ) 第四段階 PTA 自からの手に移された完成の時期。

### (二) 設計，工事に就て

プール建設に当り同校職員が設計図を作製の上日本水泳連盟に相談に来られた。そこで深谷常務理事が25米標準型の設計を指示し之に依り最初の設計を全面的に変更し，日本水泳連盟公認プールとする様方針を決定。幸い同校PTAに建設会社に勤務の方があり，同氏が改めて設計図作製を担当し，工事監督には職員一名が之に當つた。

### (イ) 工事日程

5月24日	起工式
6月2日	給水本管工事
6月6日	堀鑿工事
6月8日	床コンクリート
6月16日	側壁コンクリート
6月19日	排水工事
6月24日	上部土間，建家基礎，シャワー，水呑，万代堀
6月29日	建家工事
7月6日	防水モルタル工事

### (ロ) プール本体

長	サ	25米	巾	9米
水深	スタート	1.2米	中央部	1.4米
	ターン	1.1米		
給水管		3吋		

### (ハ) 附属施設

シャワー	5個	水呑	3個
照明	6基 (500W)	事務室	1.50坪
衣類預所	2.25坪	男女更衣室	2.25坪
便所	3.00坪	万代堀	27間

### (ニ) プール会計決算 昭和29年9月末現在

収入の部	
1. P, T, A, 積立金	547,856円

2. 地域募金総額	576,580円
3. 太子堂小学校P,T,A,寄附金	65,400円
4. 太子堂中学校卒業生並職員寄附金	58,130円
5. 区補助金	500,000円
6. 整理券収入	283,295円
7. 借入金	500,000円
総計	2,531,261円

#### 支出の部

1. 建設促進費	32,830円
2. 建設諸掛費	62,485円
3. 建設費	1,879,080円

内訳イ本工事 1,600,000円

□ 追加工事 66,080円

ハ給水工事 200,000円

ニ監督謝礼 10,000円

ホ看板三枚 3,000円

4. 設計費 8,600円

5. 運営費 44,003円

6. 支払利息 12,044円

7. 返済金(残額40,000円) 460,000円

8. 出資金 20,000円

9. 預け金 5,000円

総計 2,524,042円

現在在高 7,219円

#### (四) プール使用方法並に父兄の奉仕

使用方法については、中学、小学、一般を時間別に区分し、7月12日から9月10日迄2ヶ月間に最高1日、1,300人。平均1日、700人の多数がプールを活用した。尚父兄が毎日交替でプールの世話係を職員と共に担当した。

#### (五) 結論

以上簡略に記述したが、完成迄の1年半を学校当局は勿論、PTA諸氏の熱意と努力に依り完成した点を強調し、プールも日本水泳連盟推薦のモデル・ケースとして今後のプール建設の参考ともなれば喜ばしい次第です。

## 夢の実現

学校長 佐藤清次

誰でも希望や夢をもっている。又これをもつことは易い。併し之を実現するとなると、希望の大小に拘らず容易なものでない。本校に是非プールを造りたいという希望は、1,2年前からPTAの話題となっていたが、さて一体どの位金がかかるだろうか

一少くとも200万円はいる一となると、みな黙つてしまう。宝くじでも当つたらなァと笑声でその話は終る。しかしなんとかして造ろうというPTAの考えは常に変わりなく、特に会長勝俣久作氏、当時の副会長浅井幸吉氏、石川親孝氏等の意志は極めて強固なものであつた。この学校愛に燃えた強固な意志と緻密な計画と絶大な活動力は終始一貫続けられ、遂にプール建設実現という立派な成果を収められたのである。学校の為生徒の為という教育愛の精神に対して反対のある筈がない。PTA全会員が賛同されて積立金実現の協力となり、又地域に於てはプール建設募金という援助となつた。

すべて善意に満ちた発動は天が見棄てるものでない。幸に区当局に於ても特別の措置を講ぜられ、50万円の補助金を与えられたこと、本校PTAにとつて誠に有難い極みであつた。

プール建設という大きな夢は、発端から完成まで紆余曲折、いろいろの経過は迎つたが、遂に水泳連盟公認プールとしてその実現をみたことは、本校にとつて実にうれしいことである。私は満々とたゞえられたプールの美しい水を眺めて感慨無量の心にとざされる。本校のある限りプールは存在し、永く本校PTAの功績を物語るであろう。

## プールが出来た喜び

太子堂中学校生徒 日下部 充

PTAの力でプールが出来るということを耳にしたのは去年の秋でした。それからしばらくして太子堂中学校プール建設地と書いた柱が立ちましたがその後幾月かたつと姿を消してしまいました。それで私達はプールの話は立ち消えかとかつかりしながら日々を過していました。それが今年の4月になつて急に話が進展し、5月24日には起工式が挙行され、翌日から早速予定地内の鉄棒、バスケット台等が移され、穴が堀られ始めました。私達は先生に注意されながらも毎日プールの工事場を覗いては胸をはずませていました。そしていよいよプールが出来た今日からこの立派な私達のプールで思う存分水しぶきをあげて泳ぎまわる事が出来ると思うと胸が躍ります。それにつけても私達の為に1年以上に亘つてプール建設に努力して下さつたPTAや地元の方々の熱意と忍耐強さ、私達はこれを手本として将来の目的をこのように忍耐強く達成しようと思つています。





☆全米インターカレッジ  
室内選手権大会☆

3月24—26日、マイアミ大(25碼)

○50碼自由形

- (1) ドノバン (エール大) 22.8
- (2) オーブリー (エール大) 22.9参考
- (3) ペニングトン (アイオワ大) 22.7参考

○100碼自由形

- (1) オーブリー (エール大) 50.7
- (2) グローバー (ダートマス大) 51.3
- (3) ジデオンス (エール大) 51.8

○220碼自由形

- (1) ワードロップ (ミシガン大) 2:04.2(世界新)
- (2) コンノ (オハイオ州大) 2:06.4
- (3) ウールジイ ( " ) 2:08.1

○440碼自由形

- (1) コンノ (オハイオ州大) 4:31.1
- (2) ワードロップ (ミシガン大) 4:32.2
- (3) ジランストン (オクラホマ) 4:38.2

○1500米自由形(タイムレース)

- (1) コンノ (オハイオ州大) 18:16.1
- (2) ブリーン (コートランド師範大) 18:30.1
- (3) ハチンスン(スプリングフィールド大) 18:41.3
- (4) ジランストン (オクラホマ大) 18:47.3
- (5) ダンカン ( " ) 19:33.2
- (6) ロビンソン (エール大) 19:47.8

○200碼背泳

- (1) オヤカワ (オハイオ州大) 2:07.7
- (2) ハリング (アイオワ大) 2:11.5
- (3) ハイン (スタンフォード大) 2:11.6

○200碼平泳

- (1) マドソン (ノースカロライナ州大) 2:26.0
- (2) ジョーンズ (ミシガン大) 2:26.4
- (3) ストルツ (ジラジア大) 2:31.1

○100碼背泳

- (1) オヤカワ (オハイオ州大) 57.0
- (2) ハリング ( " ) 58.6
- (3) ボーツ (パーデュ大) 59.2

○200碼バタフライ

- (1) ドレイク (ノースカロライナ州大) 2:13.7
- (2) ホウキンス (ハーバード大) 2:14.6
- (3) ジョーンズ (ミシガン大) 2:15.2

○150碼個人メドレー

- (1) ウイギンズ (オハイオ州大) 1:26.5
- (2) マッケザイト (アイオワ州大) 1:29.6
- (3) ハイム (スタンフォード大) 1:30.4

○400碼リレー

- (1) エール大 3:24.9
- (2) ミシガン大 3:27.0
- (3) アイオワ州大 3:28.7

○300碼メドレーリレー

- (1) オハイオ州大 (オヤカワ, ウイギンズ, カワチカ) 2:42.2
- (2) エール大 タイム不明
- (3) ノースカロライナ州大 2:51.0

○1米飛板飛込

- (1) ギルダース (オハイオ州大) 535.05
- (2) ハリソン ( " ) 521.30
- (3) ウオルターズ (ミシガン大) 475.00

○3米飛板飛込

- (1) ハリソン (オハイオ州大) 590.23
- (2) ウオルターズ (ミシガン大) 569.45
- (3) シャピロ (オハイオ州大) 538.80

☆全米室内水上選手権大会☆

3月31日—4月3日 エール大学(25碼)

○100碼自由形

- (1) グローバー (ニューヨーク水俱) 49.8  
(予選49.5大会新)
- (2) ジデオンス (ニューヘヴン水俱) 50.3

○220碼自由形

- (1) コンノ (オハイオ州大) 2:04.0 (世界新)
- (2) ワードロップ(ミシガン州大) 2:04.5 ( " )
- (3) ジランソン (オクラホマ州大) 2:09.2
- (4) アームストロング (ニューヘヴン) 2:09.5
- (5) ファレル (ノーマン) 2:11.1
- (6) スミス (ニューヘヴン) 2:11.6

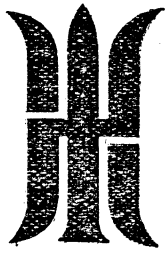
○440碼自由形

- |  |          |  |               |
|--|----------|--|---------------|
| (1) コンノ (オハイオ州大)   | 4: 28.2  | (3) ニューヘヴン水俱B  | 3: 29.9       |
| (2) ワードロップ (ミシガン州大)  | 4: 34.4  | (4) ウェリントン大学   | 3: 31.9       |
| (3) ジランストーン (オクラホマ)  | 4: 36.5  | (5) ニューヘヴン水俱C  | 3: 32.4       |
| (4) ブリーン (コートランド)  |          | (6) " D  | 3: 34.7       |
| (5) スミス (ニューヘヴン)   |          |  |               |
| (6) クレマー (アルゼンチン)  |          |  |               |
| ○ 1500 米自由形 (この種目のみ50米長水路)                                 |          |  |               |
| (1) ブリーン (コートランド) 18: 52.4(大会新)                            |          | (1) ノースカロライナ州大 (マトソン, ソナー, ファジエン, マキンタイア)                | 3: 51.5       |
| (2) ジランストーン (無所属)  | 19: 05.8 | (2) ニューヨーク体俱   | 3: 56.2       |
| (3) クレマー (アルゼンチン)  | 19: 43.2 | (3) ニューヘヴン水俱A  |               |
| ○ 100 碼背泳  |          | ○ 1 米飛板飛込  |               |
| (1) オヤカワ (オハイオ州大)  | 57.2     | (1) ハリソン (オハイオ州大)  | 521.85        |
| (2) ウィギンズ (ピッツバーグ)   | 57.7     | (2) ジェームズ (ミシガン州大)                                       | 468.85        |
| (3) クレップ (ノースカロライナ)  | 57.9     | (3) ブラウンフェルター (オハイオ州大)                                   | 463.35        |
| (4) マッキニー (インディアナポリス)                                      | 58.8     | ○ 3 米飛板飛込  |               |
| (5) ワードロップ (ミシガン州大)  | 59.3     | (1) ハリソン (オハイオ州大)  | 576.90        |
| (6) マキンスタンイヤー (ノースカロライナ)                                   | 60.7     | (2) ハーバー   |               |
| ○ 220 碼背泳  |          | (3) ブラウンフェルター (オハイオ州大)                                   |               |
| (1) オヤカワ (オハイオ州大) 2: 22.5参考                                |          | ○ 記録会  |               |
| (2) クレップ (サウスカロライナ大) 2: 22.4 //                            |          | 100 碼バタフライ, ウィギンズ (ピッツバーグ)                               | 1: 01.5 世界新   |
| (3) マッキニー (インディアナポリス) 2: 22.7                              |          | 100 米背泳, オヤカワ (オハイオ州大)                                   | 1: 02.5 (全米新) |
| ○ 220 碼平泳  |          |  |               |
| (1) ゴーボーイ (ミネアポリス) 2: 38.0 (世界新)                           |          | 尚前記の中世界新記録の現在の世界記録は次の通りである。                              |               |
| (2) ワトソン (ノースカロライナ)  | 2: 40.9  | ○ 100 碼バタフライ 1: 02.3 タンベック (洪)                           |               |
| (3) ニーモ (アルゼンチン) 2: 44.4参考                                 |          | ○ 220 碼平泳 2: 38.8 グライエ (丁)                               |               |
| (4) ファジエン (ノースカロライナ) 2: 44.3 //                            |          | ○ 400 碼個人メドレー ワードロップ(米) 4: 41.7                          |               |
| (5) ハーデション(ニューヘヴン水俱) 2: 44.1 //                            |          | ○ 220 碼自由形コンノ(米) 2: 04.7 但しこの種目ではワードロップが 2: 03.4 を出している。 |               |
| (6) オカンボ (メキシコ) 2: 45.0                                    |          |  |               |
| ○ 220 碼バタフライ   |          |  |               |
| (1) リオス (メキシコ) 2: 30.2                                     |          |  |               |
| (2) ホーキンス (ハーバード大) 2: 30.5                                 |          |  |               |
| (3) ドラック (ノースカロライナ) 2: 31.5                                |          |  |               |
| ○ 400 碼個人メドレー  |          |  |               |
| (1) ワードロップ (ミシガン州大) 4: 36.9 (世界新)                          |          |  |               |
| (2) ジョーンズ (ミシガン州大) 4: 38.7                                 |          |  |               |
| (3) ヨージク (ニューヘヴン) 4: 51.3                                  |          |  |               |
| (4) コッサニ (アルゼンチン) 4: 51.7                                  |          |  |               |
| (5) ジェーユー (ウォルターリード水俱) 4: 57.3                             |          |  |               |
| ○ 400 碼リレー   |          |  |               |
| (1) ニューヘヴン水俱A (アームストロング, ジデオンス, オーブレー, ドノバン) 3: 21.8 (大会新) |          |  |               |
| (2) ニューヨーク体俱 3: 24.5                                       |          |  |               |

### 春期競泳合宿練習会

本号42頁の冬期合宿練習会に引続き、4月29日より5月5日迄、横須賀観光ホテルプールで春期競泳合宿練習会を行う。コーチ兼監督は根上博、コーチ長沢二郎、芦田拓郎の諸氏で、参加選手は本年高校に在学中の者と中学生の中より自由型15名、背泳8名、平泳7名、バタフライ8名、計38名である。

31日10時横須賀駅に集合バスにて会場に入り、藤田理事長、小池専務理事、根上監督より交々、メルボルン大会の成否は挙げて諸君の双肩にかかっている旨激励があり、直ちに練習を開始した。



# 定例代議員会議事録

期 日 昭和29年8月14日 午前10時

場 所 東京 明治記念館

## 出席者

北海道水泳連盟 根上 博  
 青森県水泳連盟 大村 圭二  
 岩手水泳協会 瀬川 政雄  
 宮城県水泳連盟 針生 三郎  
 福島県水泳連盟 橋 登 斎藤重千代  
 吉田 勝平  
 茨城県水泳連盟 鈴木 充 中山 利生  
 多治見祐孝  
 群馬県水泳連盟 池谷 君夫 島本 長一  
 栃木県水泳協会 田中 武男 本田 武次  
 千葉県水泳連盟 石井辰五郎 松井 正一  
 鈴木 清  
 神奈川県水泳連盟 木島小弥太 庄川 鉄治  
 鈴木 悟郎  
 東京都水泳協会 松沢 一鶴 勝村 肇  
 菊池 章  
 松本水泳協会 小林 高志 藤木 三郎  
 山梨水泳連盟 石沢 羊一 長沢 松雄  
 小倉 一浩 秋山 勝造  
 静岡県水泳協会 宮崎 正二  
 浜名湾泳游協会 斎藤良一郎 宮本 秀夫  
 箕 精一郎  
 豊橋水泳協会 石川 充重 藤田 直正  
 近田 孝二  
 愛知水泳連盟 藤野 健三 石川 博之  
 志村 義久  
 富山県水泳協会 高田 秀男  
 石川県水泳協会 中田 周二 中上 正  
 柴原 恒雄  
 三重水泳連盟 松岡 千明 大久保良広  
 大阪水泳協会 木村 象雷 高島 秋介  
 川島 正之

奈良県水泳連盟 神崎 保雄 重松 利生  
 辻 豊彦  
 和歌山県水泳連盟 佐野 潔 小山 幸雄  
 村山 修一  
 兵庫県水泳連盟 原 剛中  
 琵琶湖水泳協会 辻 花子 広岡徳次郎  
 中野 太郎  
 広島県水泳連盟 鎌田 寿夫  
 島根県水泳連盟 竹下 昭尚  
 山口県水泳連盟 満井 力  
 愛媛県水泳連盟 深谷 俊明  
 福岡県水泳連盟 田口 実 金ヶ原俊子

## 水連本部

田畑 政治 藤田 明 小池 礼三  
 後藤 敬三 佐々木 救 関屋 悌蔵  
 外山 高一 渡辺寛二郎 原 正一  
 山崎 辰雄 小山賢之助 足立 祐次  
 菊田 保孝 三上 節造 安部輝太郎  
 原 秀夫 星 一雄 川田 友之  
 内藤 徹 上野徳太郎 牧野 正蔵  
 沢海 東助 時任 巖 勝村 保  
 左近允正矩 小泉 正延 西沢 礼子  
 山東 初子 山賀みや子

## 関西支部

高石 勝男

## 学生部会

根上 博 志村 義久 古賀伸一郎  
 木野内重定 徳田誠一郎 和久田和彦  
 中西 理雄 宇賀 清隆 岩井 孝之

## 委任状提出団體

山形県水泳連盟 野尻湖游泳協会  
 香川県水泳協会 徳島県水泳連盟

## 欠席団體

秋田県水泳連盟 埼玉県水泳連盟  
 新潟県水泳協会 伊豆駿河湾游泳協会  
 岐阜県水泳連盟 福井県水泳協会

京都水泳協会	岡山県水泳連盟
鳥取水泳連盟	高知県水泳連盟
長崎県水泳連盟	大分県水泳連盟
熊本県水泳協会	佐賀県水泳協会
鹿児島県水泳協会	宮崎県水泳連盟
沖縄水泳連盟	

田畑会長挨拶の後議事に入り

## 報告事項

### 1. アジア大会の件 (西本監督)

- 東大プールを温めて2月5日より競泳20傑以上飛込水球候補選手の合同練習を行った。
- アジア大会最終予選会出場選手選考競技会を4月3.4日志戸平温泉プール, 東大室内プール, 水前寺プールを行った。
- 最終予選会は4月10日11日東大プールで行い古川選手(日大)が200米平泳2:35.4の世界新記録を作った。
- 派遣役員は総監督西本竜三以下8名, 選手は男子競泳16名, 女子12名, 飛込男女6名, 水球10名計52名である。出発4月30日帰国5月14日
- 国際的に複雑な時なので, 相当困難を覚悟して遠征したが役員選手共自覚して行動し何等の問題も起きなかつた。
- 記録としては物足りない種目もあつたが大体に於て予期の成績を収めた。成績は「水泳」誌103, 104, 号153頁参照
- 競技会の運営はスムーズでなく競泳の開始時間が2時間遅れたこともあつたが, 競技そのものの問題はなかつた。

### 2. ハワイ遠征の件 (牧野監督)

- ハワイより監督1名, 選手6名の招聘があり6月13日神宮プールで選考競技会を開いた。
- その結果, 監督牧野正蔵, 選手古賀学, 細間輝喜, 杉原満弘, 山下勝次, 長谷景治, 古川勝の7名が選出された。7月1日出発, 帰国7月19日
- 成績は(「水泳」103, 104号156頁参照)古賀が50米自由形25.5, 長谷が100米背泳1:06.9 200米背泳2:27.9の日本新記録を作った。

### 3. オリンピック・バタフライ種目の件

5月のI.O.C総会でオリンピック正式種目としてバタフライ男子200米, 女子100米が追加決定

された。但し平泳とバタフライを含めて, エントリーは1国3名である。

本連盟としては29年1月の代議員会で決めてあるので直ちに次の大会にバタフライ種目を加えることとした。

日本選手権 男子100 200米 女子100米  
 日本高校 男子100 200米 女子100米  
 女子300米メドレーを400米メドレーとする  
 国民体育大会 男子高校200米  
 女子 100米

男子高校, 女子, 郷土対抗の300米メドレーリレーを400米メドレーリレーとする。

### 4. 外国選手招聘

日本選手権大会にアメリカより監督(1名ヘニング)選手4名(クリーブランド, ウールシー, コンノファツジエン) デンマークより監督兼選手1名ジャーデン, 選手1名(グレイエ)計7名を招聘出場せしめる。

尚濠洲のヘンリックス, チャプマン, フランスのボゾンを招聘したいと思つて交渉したが先方の日程の関係で招聘できなかつた。

### 5. 学徒対外試合基準の件 (藤田理事長)

学徒体育審議会に於て次の通り決定した旨, 報告した。

- 小学校は対校試合を行わない。連合運動会は差支えない。
- 中学校生徒は原則として宿泊を要する競技会には出場できない。(但し水泳は特殊性があるので世界水準に達し, 又は達する見込みのある者は国際大会及び全国大会にも出場を認める。) 県内の競技会に出場は何等差支えない。宿泊を要しない特殊ブロック大会(例えば京, 阪, 神)等の競技会は教育委員会の責任に於て出場を認められる。中学生の全国大会の開催は認めない。水泳教室は別に考える。
- 高校生については従前通り。

### 6. 日本選手権大会

- 招聘外国選手の来日が遅れたので12日は女子だけ予選を行い, 13日より男子の予選を開始した。
- 中学生は地方予選会を通過した選手で一定の標準記録に達した者を文部省と交渉して出場を許可した。
- 古橋記念トロフィー(読売スポーツ賞奨励金によ

る)が朝倉文夫氏の製作によりでき上つたので本年より男子400米自由形優勝者に授与する。

各種目の優勝メダルも朝倉氏に依頼、できたので毎年同じ型のメダルを授与することになった。

7. 日,米,丁国際大会

大阪プールで8月18,19日行う。招聘外国選手と日本選手権男子6位迄の日本選手とが出場する。

8. 第9回国体水泳大会の件 (奈良)

第5回全国勤労者大会の件 (高知)

第22回日本高校大会の件 (東京)

各々主管団体代表より準備状況につき報告あり。

9. 強化委員会の件

高石委員長が全国を巡回指導をした。昨年度強化講習会を行わなかつた比較的水泳に未開の地を指導して歩いた、本部に於ても山梨,群馬等に講師を派遣した。

10. 普及部関係

日本泳法研究会,指導者検定試験,プール公認(本誌53頁参照)報告あり

次の公認測量者を委嘱決定した。

池谷 茂氏 浜名湾游泳協会  
橋本正一氏 福岡県水泳連盟

11. 高体連の件

水連と高体連とは地方に於ても密接なつながりが多いことが判つたので,本年から日本高校大会を共催することに決定。

協議事項

1. 日本高校大会会場の件

昭和30年度日本高校大会会場は和歌山の代議員より神宮プールに於て開催希望あり,岩手瀬川氏より近く建設する金田プールに於て開催されたいと申し出あり。改めて場議することになった。

2. 全国勤労者大会会場の件

昭和30年度全国勤労者大会会場は未だ開催希望の申出がないので開催を希望する団体は11月中迄に申出することとした。

3. 第10回国体会場の件

鎌倉市より開催申請あり。検討の結果プールの完全建設を条件として満場一致,鎌倉市に於て開催することに決定した。

田畑会長より閉会の辞

以上

期 日 昭和30年1月30日 午前10時

場 所 東京 丸ビル精養軒

出席者

北海道水泳連盟	根上 博
青森県水泳連盟	松尾 治夫 吉田正四郎
岩手水泳協会	瀬川 政雄 木村 憲
宮城県水泳連盟	保谷 俊平
山形県水泳連盟	新穂八郎 五十嵐伊市郎
	出縄 善文
福島県水泳連盟	橋 登 斉藤重千代
	吉田 勝平
茨城県水泳連盟	鈴木 充 多治見祐孝
群馬県水泳連盟	池谷 君夫 津田 貞
栃木県水泳協会	田中 武男 本田 武次
埼玉県水泳連盟	伊藤 三郎 大杉 正臣
千葉県水泳連盟	広崎格五郎 石井辰五郎
	羽山 孝二 根本 日昭
神奈川県水泳連盟	木島小弥太 庄川 鉄治
	鈴木 悟郎 藤平 雅保
	石井 正雄 服部 甚蔵
東京都水泳協会	松沢 一鶴 勝村 肇
	菊池 章 金田平八郎
新潟県水泳協会	中田 猛
野尻湖游泳協会	北村博三郎 高橋庄之助
	西沢 達雄 柳沢 一郎
松本水泳協会	小林 高志 藤木 三郎
山梨水泳連盟	小倉 一浩
伊豆駿河湾游泳協会	井原 一夫 太田 光雄
	太田 勇 穂山 巖
浜名湾游泳協会	斉藤良一郎 官本 秀夫
	中村敬次郎 箕 精一郎
豊橋水泳協会	石川 充重
愛知水泳連盟	児玉 清雄 社本 義信
	志村 義久
富山県水泳協会	高田 秀男 奥野 策治
	松沢 一鶴
石川県水泳協会	柴原 恒雄 中上 正
福井県水泳協会	深谷 俊明
三重水泳連盟	松岡 千明 小出 靖彦
大阪水泳協会	木村 象雷 高島 秋介
	川島 正之
奈良県水泳連盟	重松 利生 神崎 保雄
	永田 万蔵 浦井 保弘

和歌山県水泳連盟	村山 修一	池田 岩夫
	慈幸 嘉一	
兵庫県水泳連盟	桑原 敏男	方 隆
	原 剛中	
琵琶湖水泳協会	広岡徳次郎	辻 花子
	中野 太郎	
岡山県水泳連盟	池上 猷一	
鳥取県水泳連盟	三好 喬	
広島県水泳連盟	木村 豊唯	藤田 明
島根県水泳連盟	竹下 昭尚	
山口県水泳連盟	松沢 一鶴	
香川県水泳協会	遊佐 正憲	
愛媛県水泳連盟	深谷 俊明	
高知県水泳連盟	宇田久寿秀	藤尾恒九郎
徳島県水泳連盟	中山 昌生	
福岡県水泳連盟	高木 恒夫	
長崎県水泳連盟	吉村 健三	
大分県水泳連盟	伊東喜久雄	
熊本県水泳協会	飯田 寿平	青木 行義

**水連本部**

田畑 政治	藤田 明	安部輝太郎
小池 礼三	伊藤 謹平	西本 竜三
千葉 真一	野村 憲夫	藤井正太郎
佐々木 救	外山 高一	中尾 保
山崎 辰雄	足立 祐次	菊田 保孝
官畑 虎彦	白山源三郎	星 一雄
川田 友之	牧野 正蔵	内藤 徹
小山賢之助	時任 巖	勝村幾之介
辻 富士夫	小泉 正延	串田 正夫
江橋慎四郎	梅田利兵衛	西沢 礼子
山賀みや子	山東 初子	

**関西支部**

渡辺 四郎 岸田 敏馬

**学生部会**

西本 竜三	根上 博	志村 義久
岸田 敏馬	川口 友平	小椋 晃吉
馬場 豊	横田 宣明	山本 正雄
鈴木 弘	倉橋 範彦	木野内重定
宇野 恒孝	東山 充	吉岡 清吉
魚住 英光	荻野 浩	岩井 孝之
平岩 孝郎	岸本 広市	山本 幾男
奈良間恒晴		

**委任状提出団體**

秋田県水泳連盟 岐阜県水泳連盟

鹿児島県水泳協会  
欠席団體

静岡水泳協会 京都水泳協会  
佐賀水泳協会 宮崎県水泳連盟  
沖縄県水泳連盟  
小池専務理事開会を宣し、田畑会長議長の下に議事を進行する旨発言全員賛成

**会長挨拶**

昭和29年度の日本水泳界の実状はロサンゼルス、オリンピック大会の前年或は前々年に丁度よく似ており、盛り上がる力が溢れているので、その機運を助長し、再びロサンゼルス大会の成績を再現したい。特に長沢君の記録は世界の水準をはるかに突破したもので久し振りで、日本水泳界の面目を取戻してくれたのは喜びに堪えない。

尚、本日の議題中、特に日米対抗、中学生の全国大会に代るべき通信競技の実施要項等の重要案を常務理事会、並びに理事会に於て作成したので、これに基き慎重審議されたい旨、特に要望した。

◎小池専務理事議事進行係となり、左記の諸件を各関係者より報告した。

**報告事項**

1. 昭和29年度事業概要

○小池専務理事より一括して次の通り説明した。

1. 競技会

1. 第2回アジア大会水上競技大会最終予選会出場選手選考会  
(4月3, 4日 東大プール, 志戸平プール, 水前寺プール)
2. 第2回アジア大会水上競技大会最終予選会  
(4月10, 11日東大プール)
3. 第2回アジア大会水上競技大会  
(5月5-8日 マニラ)
4. ハワイ派遣水泳選手選考会  
(6月13日 神宮プール)
5. 地域高校選手権水上競技大会  
北海道高等学校選手権水上競技大会  
(8月7, 8日 北海道 伊達高プール)  
東北" " " "  
( " 山形県米沢松岬プール)  
関東" " " "  
( " 水戸市茨城県営プール)

中部高等学校選手権水上競技大会  
 (8月6, 7日 岐阜県豊田プール)  
 近畿 " " (8月7, 8日 大阪府 大阪プール)  
 中国 " " ( " 広島県呉市二河プール)  
 四国 " " ( " 徳島県 城南高プール)  
 九州 " " (8月6, 7日 鹿児島県伊集院高プール)

クリーブランド ウールジー  
 コノ ファッゼン ピーターズ  
 (8月11日~25日)

(ロ) デンマーク 2名 ヤコブ監督グライエ  
 (8月6日~21日)  
 他, アメリカ, シンクロナイズドスイ  
 ミング, スタスホース他 (7月30日)

- 6, 日本選手権水上競技大会  
 (8月12-15日 神宮プール)
- 7, 日, 米, 丁国際水上競技大会  
 (8月18, 19日 大阪プール)
- 8, 第22回日本高等学校選手権大会  
 (8月20-22日 神宮プール)
- 9, 第5回全国勤労者水上競技大会  
 (8月28, 29日 高知市営プール)
- 10, 第30回日本学生選手権水上競技大会  
 (9月10-12日 神宮プール)
- 11, 第9回国民体育大会水上競技大会  
 (9月19-22日 奈良県 天理プール)

2. 選手強化事業

1. 第2回アジア大会水上競技代表合宿練習会  
 競泳, 水球, 飛込  
 (4月16日~27日 東大, 神宮プール)
2. ハワイ派遣選手合宿練習  
 (6月21日~28日 神宮プール 日本青年館)
3. 水泳強化練習会 (講師派遣)  
 (5月~7月 各地)
4. 第2回水泳教室  
 (8月15日~19日 奈良県天理プール)
5. 水泳補助運動合同練習会  
 (12月11, 12日 麻布高体育館)

3. 国外派遣並びに招聘関係

1. 派遣

- (イ) フィリッピン 西本監督以下52名  
 (4月30日~5月14日 アジア大会)
- (ロ) ハワイ 牧野監督以下7名  
 (7月1日~19日 ハワイ国際大会)
- (ハ) イタリア・テュリアン市安部名誉主事  
 (8月28日~9月15日 国際水連総会)

2. 招聘

- (イ) アメリカ 5名 ヘニング監督

4. 指導普及事業

1. 日本泳法研究会 2月20, 21日  
 伊東温泉プール
2. 水泳指導者講習会 6月21日~26日  
 国民体育館プール
3. 水泳指導者資格検定試験 6月27~29日 //
4. 国民皆泳大会 8月20日 中央会場府中プール

5. 建設測定事業

1. 競泳池公認 (50米8. 同再公認2. 25米21)
- |       |           |     |       |
|-------|-----------|-----|-------|
| 39号   | 島田一中プール   | 50米 | 静岡水協  |
| 40号   | 神戸市民プール   | 50米 | 兵庫水連  |
| 41号   | 船岡町営プール   | 50米 | 鳥取水連  |
| 42号   | 宮崎県営プール   | 50米 | 宮崎水連  |
| 43号   | 瀬高町プール    | 50米 | 福岡水連  |
| 44号   | 伊集院高校プール  | 50米 | 鹿児島水協 |
| 8号(再) | 松任町営プール   | 50米 | 石川水協  |
| 9号(再) | 呉市営二河プール  | 50米 | 広島水連  |
| 131号  | 更南プール     | 25米 | 野尻湖游協 |
| 132号  | 郡山中学プール   | 25米 | 奈良水連  |
| 133号  | 井田小学プール   | 25米 | 愛知水連  |
| 134号  | 聖心プール     | 25米 | "     |
| 135号  | 勝山高プール    | 25米 | 大阪水協  |
| 136号  | 大阪消防プール   | 25米 | "     |
| 137号  | 水前寺プール    | 25米 | 熊本水協  |
| 138号  | 東大室内プール   | 25米 | 東京都水協 |
| 139号  | 鳥取東高プール   | 25米 | 鳥取水協  |
| 140号  | 富士第一小学プール | 25米 | 伊豆駿河湾 |
| 141号  | 玉名高プール    | 25米 | 熊本水協  |
| 142号  | 鳥取学芸中小プール | 25米 | 鳥取水連  |
| 143号  | 桃山中プール    | 25米 | 山口水連  |
| 144号  | 高津高プール    | 25米 | 大阪水協  |
| 145号  | 帝塚山高プール   | 25米 | "     |
| 146号  | 晴明丘小プール   | 25米 | "     |
| 147号  | 大阪警察プール   | 25米 | "     |
| 148号  | 船橋プール     | 25米 | 千葉水連  |
| 149号  | 日本体大プール   | 25米 | 東京都水協 |
| 150号  | 横須賀高プール   | 25米 | 神奈川水連 |

151号 川口高プール 25米 埼玉水連

2. 全国各地に測量者派遣

3. 公認測量者委嘱

## 6. 記録発表

(イ) 世界記録 (ロ) 日本記録 (ハ) 日本新記録

(ニ) 日本国際記録 (ホ) 日本高校記録

(ヘ) 日本競泳20傑 (ト) 日本高校競泳20傑

(チ) 日本中学競泳20傑 (リ) 日本水球代表軍

(ス) 日本飛込10傑

## 7. 諸会議

(イ) 代議員会2回 (ロ) 理事会13回 (ハ) 常務理事会29回 (ニ) 競泳委員会2回 (ホ) 飛込委員会11回 (ヘ) 水球委員会20回 (ト) 普及委員会9回 (チ) 女子関係1回 (リ) 学生委員会12回 (ス) 歓送迎会9回 学生水球委員会9回 (ヲ) 其他(記録, 規約整備, プール専門, 測定研究会, 冬季練習会, 研究会等30回)

## 8. 刊行物

(イ) 機関誌「水泳」99, 100, 101, 102号

(ロ) 水泳年鑑 29年度版

◎各部委員長より次の通り補足説明した。

(イ) 学生部会(根上名誉主事)

学生部会に於ては例年行う日本学生大会, 地域学生大会のほか, 新たに, 昨年7月24日第1回全国々公立大会を学生部会関西支部主管で大阪プールに於て開催した。

(ロ) 水球委員会(沢海委員長病欠につき藤田理事長) 水球としては海外遠征18年ぶりの, アジア大会参加, 及びそれに備えての合同練習会, 又新たなものとして国民体育大会府県対抗(高校)の創設等がある旨報告。

(ハ) 強化委員会(高石委員長欠席の爲め小池専務理事)

水泳強化巡回講習会は高石委員長外により, 次の16県に亘つて行つた。

(山形, 宮城, 群馬, 山梨, 新潟, 福井, 富山, 石川, 岡山, 島根, 鳥取, 山口, 大分, 宮崎, 熊本, 鹿児島,) 各県

(ニ) 水泳教室(太田光雄氏)

8月15日~19日実施, 参加者は沖縄他25都道府県190名であつた。全員国際大会を見学した後, 公式記録会を行つたが成績は非常によかつた。第1回の実情に鑑み標準記録を設定したところ, 人員

が多くなり, 指導練習の面から見て, 人数はこれが限度と思われた。

(ホ) 水泳補助運動(宮畑虎彦氏)

昨年9月以来宮畑, 柳田, 石田, 吉田氏の小委員会で制定した冬期練習用の「水泳補助運動」のリーフレットを各関係先に配布, 更に東京, 大阪に於てその講習会を開催した旨報告した。

(ヘ) 普及部会(松沢普及部長)

プール公認に関しては事業概要に報告のほか本年に入つて次の通り公認した旨報告した。

45号 掛川西中学校プール 50米 浜名湾游協

46号 竜洋中学校プール 50米 //

47号 茨城県総合運動場プール50米 茨城水連

152号 福島小学校プール 25米 福岡水連

153号 太田市営プール 25米 群馬水連

154号 富士高校プール 25米東京都水協

155号 太子堂中学プール 25米 //

156号 浜松南部中プール 25米浜名湾游協

157号 浜松東部中プール 25米 //

158号 四倉高校プール 25米 福島水連

(ト) 外国関係

○ FINA関係は(「水泳」誌本号第4頁参照)のほか長沢の200米バタフライ2:21, 6田中守の200米平泳2:35, 2早犬の400米メドレーリレー4:17, 2の世界新記録をF. I. N. Aに申請したがその後確かに受付けた旨連絡があつたので公認は確実と思う。

○ 11月に濠洲より(1月15日~2月末迄)濠洲選手権に自由形短1.長1.計2名派遣依頼があつたが期日が試験期の爲め断つた。

○ 同じく11月スペインより指導者1名派遣の希望があつたが具体的条件を示すよう返事をしたその後連絡がない。

○ ブラジルより8月末, 自由形1, 平泳1, 計2名派遣依頼があつたがスケジュールの関係で断つた。

○ ハワイよりも同様, 招聘があつたが, スケジュールの関係で断つた。

○ 比島より2月24日~27日(後に3月に変更)マニラに於て行われる比島選手権に谷, 新宅, 胡麻鶴, を招聘したいと希望して来たが, 新宅は大学へ進学期に当るので断つた, ところが先方から更に庄司か山下を派遣依頼して来たので結局谷胡麻鶴, 庄司3選手を派遣することに決



定した。

## 2. 日米対抗準備状況 (藤田理事長)

(イ) 両国とも17名(監督1名競泳15名飛込1名)のチームで行う、招聘の外貨割当については体協で決定を見ている。

(ロ) アメリカ側の切望により今回から飛込競技を正式種目としたがこの派遣費は先方持ちとした。得点については今後交渉を続ける。

(ハ) 東京(8月5.6.7日)大阪(8月12.13.14日)のほかに浜名湾、愛知、奈良、高知、広島、福岡の6ヶ所より開催希望があつたが日程の関係上親善競技は4ヶ所に留め他の2ヶ所は模範競技に留めたい。

(ニ) ギャランテイの問題は地方財政の関係で少額に留めたい方針である。

(ホ) 水連の経済状態に鑑み、今回は賛助団体を求め、NHKの後援に依り500万円の補助を見込みたい。

(ヘ) 本大会に要する費用は2,700万円に亘るので特別会計にする。

(ロ) 準備委員会を従前通り結成したい。尚親善競技に関しては本日代議員会終了後第1回の会合を開くこととした。

## 3. 第10回国体関係事項

(イ) 神奈川県水連及び鎌倉市当局より施設(プールは12月15日着工、6月一杯に完成する予定)宿舎交通等の準備状況につき報告した。

(ロ) 藤田理事長より国体規準要項の概略を説明した。

## 4. 冬期合宿練習 (小池専務理事)

1月4日—9日迄オリンピック大会に備える冬期合宿練習を横須賀鶴光ホテルプールに於て開催水泳補助体操とクイックターン、ドルフィンキックを主として練習をした。選抜選手48名中(青木負傷不参)47名参加。クイックターンは自由形と背泳選手殆ど全部がマタスターした。ドルフィンキックは毎日、映画をやり、長沢君の实地指導もやつたので、バタフライ選手は全員、マスターしたと思う。短期間ではあるが統制も纏まりもよく、非常に効果的な練習会であつた旨報告。

## 5. 其他

イ 瀬川氏(岩手)より金田一プール(50米)完成の披露あり

ロ 白山氏(神奈川)より小堀平七氏の弟、城義核氏が79才で死去されたが同氏は一生を水泳に捧げた旨発言、弔意を表することに決定、方法に

関しては常務理事会一任となる。

## 審議事項

### 1. 昭和29年度会計報告 (伊藤会計理事)

別表の昭和29年度会計決算報告書に依り詳細な報告あり(57頁)

足立監事より

昨年申上げたように収入源が国際大会、日本選手権大会の入場料に依存している為め、天候其他の関係で180万円借財となつたことは極めて重大なことである。經常収入の増大に充分留意されたい尚領収証等もよく揃つており整理も明確で報告に間違いのないことを証明する。と発言あり

全員異議なく承認

### 2. 昭和30年度予算案 (伊藤会計理事)

別表予算案につき説明をした(58頁)

田畑会長より補足

經常費収入は加盟金の大幅な値上げ、例えば陸連のように1票いくらにするとか、又は「水泳」誌等印刷費の軽減等が考えられるが現状では増収が見込まれないので競技会依存は免れないと思う。

来年はオリンピックの年度であり本年4月頃にもう1度合宿練習をしなければならないので水連費用による巡回コーチはむづかしいと思うと発言。

予算案も異議なく原案通り可決

### 3. 日米対抗特別会計 (伊藤会計理事)

別表予算案につき説明した。(56頁)

田畑会長補足

日米対抗で、でき得れば2,000万円程度剰余金を得たい、来年度はメルボルン、オリンピックがあるので年度中の実動期間が増加する為、相当額の費用が必要である。

尚大阪プールは収容力のある点で、もつと収入を増加する事が考えられるし、外国選手のデイリーアロアンスは低くしたい(陸連なみ)と考えている。

全員異議なく原案通り可決

### 4. 昭和30年度主要競技会日程

競技会日程(本号表紙裏参照)並びに要項案につき遂条審議した。

29年度と変更に関しては(本号第3頁参照されたい)

(イ) 日本選手権兼日米対抗予選

日米対抗日本代表選手選考委員の人選については理事会一任と決定

(甲) 水泳教室

- 本年は男女中学生に実施、男子は野沢プール女子は天理プールの理事会案に対し、高石強化委員長の書簡、関西支部代表の発言は男女共天理プールに於て、開催されたいとの意見であつた。協議の後、小池専務理事より同一会場で期日を変えて(女子を前に実施)行うこともあるという条件で御承認願いたいと発言、これを諒承した。
- 瀬川氏(岩手)より水泳教室に準じた会を3月東北で行つて貰いたいと発言、結局高石委員長と連絡を密にし、理事会で決定することとしこれを諒承した。

(イ) 日米対抗

表彰として総合、競泳、飛込の3つに分けることを折衝する予定である。飛込競技の方法については飛込委員会及び米国に連絡の上、決定することとする。時間の関係上、競技の間にエキジビションを加える必要があるので準備委員会で研究することを申合せた。其の一つとしてシンクロナイズド、スイミングを加える。これに関し、オルセン委員長と交渉することを決定した。

(ニ) 地域別高校大会、日本高校大会

- 地域大会会場、期日、申込場所等をできるだけ

早く各地域で決定の上、本部へ連絡することに決定

- 日米対抗の選手に選抜された高校選手は地域大会を経なくとも、各地域各種目6位迄の者の外に日本高校大会に参加をする事が出来る事に決定した
- 高校生で日米対抗代表に選ばれた選手は東京大阪は出場することとし、親善競技には原則として出場しないでもよいことを申合せた。
- 地域大会も主催者に開催地府県教育委員会を経費の関係上、入れても差支えないことに決定

(ホ) 日米対抗大阪大会

関西支部主管N. H. K後援(地方も総べてN. H. K後援、従つて実況、テレビ放送はN. H. K独占とする)

後援に大阪市を入れるかどうかは今後の交渉によることとした。実施に関しては東京大会に準ずることに決定

(ヘ) 全国勤労者大会

厚生省より今後競泳と飛込の開催地を分けて行うことは困るとの申入れがあつた。尚厚生省は予算が窮屈になつても陸上と水泳は必ず開催するとの意向を表明された旨伝達した。

日米対抗特別会計予算

昭和30. I  
日本水泳連盟

収入の部	科目	支出の部
10,000,000	東京大会	1,000,000
10,000,000	大阪大会	1,000,000
2,000,000	地方分担金	
5,000,000	N H K 賛助金	
	招聘航空運賃	6,000,000
	〃 米国内集散費	300,000
	〃 国内経費	2,600,000
	日本選手国内経費	1,400,000
	大会役員経費	200,000
	東京大阪賞品及記念品	600,000
	歓送迎会費	500,000
	宣伝費	500,000
	会合費	200,000
	交通費	200,000
	事務局宿泊費	100,000
	予備金	400,000
	経常費繰入	12,000,000
27,000,000		27,000,000

# 昭和29年度会計決算報告書

自昭和29年1月1日 至 12月31日

日本水泳連盟

収入之部		科 目	支出の部	
予 算 額	決 算 額		決 算 額	予 算 額
15,511,040	19,642,497		19,642,497	15,511,040
2,981,040	4,879,195	経 常 費 之 部	4,179,560	4,711,040
721,009	721,009	前 年 度 繰 越 金		
269,300	175,000	加 盟 金	15,000	9,000
110,000	140,000	プ ー ル 公 認 料		
122,500	170,600	「水泳」誌(年鑑)売上		
1,740,000	1,832,000	賛 助 金 収 入		
18,231	31,586	雑 収 入		
		前 年 度 未 払 金	102,040	102,040
		借 室 料	314,843	400,000
		人 件 費	606,350	650,000
		什 器 備 品	62,795	50,000
	9,000	会 議 費	408,905	500,000
		会 合 費	252,575	300,000
		宿 泊 費	22,310	50,000
		交 通 旅 費	261,985	250,000
		印 刷 費	803,440	600,000
		通 信 費	303,901	300,000
		雑 費	206,214	100,000
		助 成 金	0	400,000
	1,800,000	積 立 金	0	1,000,000
		借 入 金		
		次 年 度 繰 越 金	819,202	
12,530,000	14,763,302	事 業 費 之 部	15,462,937	10,800,000
	100,000	プ ー ル 使 用 料		500,000
	20,000	競 技 用 品 費	159,220	200,000
		審 判 測 定 器	69,790	100,000
		水 球 関 係 費	0	100,000
		飛 込 関 係 費	0	100,000
30,000	18,700	普 及 部 会 費	63,537	150,000
		強 化 関 係 費	405,808	200,000
	241,800	水 泳 教 室 費	386,745	100,000
		外 国 選 手 招 聘 費	4,576,622	5,000,000
6,500,000	4,431,540	日 本 選 手 権 大 会 費	863,682	1,000,000
6,000,000	4,074,115	大 阪 国 際 大 会 費	2,558,525	1,000,000
	254,777	勤 労 者 大 会 費	302,294	0
		高 校 大 会 費	0	300,000
	311,560	国 民 体 育 大 会 費	268,960	50,000
	459,180	外 国 関 係 費	1,445,566	1,000,000
	4,851,630	ア ジ ア 大 会 費	4,362,188	500,000
		予 備 費		500,000

自 30. 1. 1  
至 30. 12. 31

日 本 水 泳 連 盟 予 算 書

日 本 水 泳 連 盟

收 入 之 部		科 目	支 出 之 部	
決 算 額	予 算 額		予 算 額	決 算 額
18,370,080	20,250,000		20,250,000	18,370,080
4,870,195	16,150,000	経 常 費 之 部	15,650,000	4,170,560
721,009	819,202	前 期 繰 越 金		
175,000	200,000	加 盟 金	15,000	15,000
140,000	100,000	プ ー ル 公 認 料		
170,600	100,000	水 泳 誌 (年 鑑) 売 上		
1,832,000	2,650,000	賛 助 金 収 入		
31,586	30,398	雑 収 入 金		
	250,400	未 収 入 金		
		未 借 入 金	701,686	102,040
		借 入 金	350,000	314,843
		人 什 器 備 品 費	700,000	606,350
		会 議 費	100,000	62,795
		会 合 費	400,000	408,905
		宿 泊 費	200,000	243,575
		交 通 旅 費	50,000	22,310
		印 刷 費	250,000	261,985
		通 信 費	800,000	803,440
		雑 費	300,000	303,901
1,800,000		借 入 金	133,314	206,214
		助 成 金	1,800,000	
		積 立 金	400,000	
	12,000,000	日米対抗特別会計ヨリ繰越金	1,000,000	
			8,450,000	819,202
13,499,885	4,100,000	事 業 費 之 部	4,600,000	14,199,520
100,000	100,000	プ ー ル 使 用 料	500,000	
		競 技 用 品 費	100,000	139,220
		審 判 測 定 器 費	100,000	69,790
		水 球 関 係 費	50,000	0
		飛 込 関 係 費	50,000	0
		普 及 部 関 係 費	100,000	44,837
		強 化 関 係 費	400,000	405,803
		水 泳 教 室 費	250,000	144,945
		通 信 競 技 費	500,000	—
		外 国 選 手 招 聘 費	0	4,576,622
4,431,540	4,000,000	日 本 選 手 権 費	800,000	863,682
4,074,115		国 際 大 会 費	—	2,558,525
		勤 労 者 大 会 費	0	47,517
		高 校 大 会 費	0	0
42,600		国 民 大 育 大 会 費	0	0
		外 国 関 係 費	1,000,000	986,386
4,851,630		ア ジ ア 大 会 費	—	4,362,188
		予 備 費	250,000	
		オ リ ン ピ ッ ク 準 備 費	500,000	

(b) 中学校通信競技大会

本年より新たに開催する。陸上はN. H. K後援で行う由であるが水泳はジュニア、レクリエーションで関係があつた朝日新聞社の後援を得て、その通信網を利用することに決定した。

(詳細は本号 2 頁参照されたい)

(イ) 第10回国体水泳大会

各部とも出場資格は学生、教員は学校所在地、勤労者は勤務地とし、青年の部は居住地とすることを確認した。

5. アマチャー審議機関設置要望 (学生部会、根上名誉主事)

近時プロ競技の隆盛に伴い、アマチャーとプロとの限界等相当微妙となり、又高校生の進学等に関しても、本部会としては、学業優先の線を崩さず健全なる学生スポーツの発展に寄与する決議をしているが、万一問題が起つた場合裁定できるよう、水連本部にて、アマチャーの審議機関を設置されたい旨要望あり。

田畑会長

誠に結構なことであるが、むづかしい問題であるので各国の資料等を集め、理事会に於て、権威者を加えた上、充分検討して見たいと述べ、これを諒承した。

其 他

- 指導者検定受験者は20才以上の者でなければならないことになつていたが今後20才以下でもよいこととし、満20才に達した後、資格証を授与することと決定
- 神崎代議員 (奈良、高体連) 「水泳」誌の購読に関し、高体連としては、その組織網を通じて、購読者の増加に努力したい考えであるから、各加盟団体に於かれても御諒承の上御援助を願いたいと要望した。
- 日本スポーツ賞 (読売新聞社設定) 29年度の水泳最優秀者として、バタフライの長沢二郎君 (早大) を選定、推薦した旨報告、これを諒承した。
- 高木代議員 (福岡水連) より次の通り要望あり九州には各県水連の連絡協議会があるが九州各県水泳連盟連絡協議会では名が長い故、九州水泳連の名称にして貰えないかこれに対し田畑会長より各県がそれぞれ日本水連盟に直結するならば差支えないと思う。現在はブロック大会があるので水連の機構体でな

く仕事をやつて行く上の連合ならよいと思う。

但し関西支部はあくまで日本水連の代行機関である旨強調された。

6. 役員改選

藤田理事長より従来通り選考委員を田畑会長に一任し、選考委員により決定しては如何と提案し、全員賛成、会長より、次の諸氏を選考委員に指名、

田畑会長、藤田理事長、小池専務理事、西本学生部会長、根上学生名誉主事、志村学生名誉会計、松沢普及部長、遊佐競泳委員長、瀬川政雄 (東北) 児玉清雄 (中部) 岸田敏馬 (近畿) 木村豊唯 (中国) 藤尾恒九郎 (四国) 高木恒夫 (九州)

直ちに別室に於て理事選考を行い、次の通り新理事を發表決定した。

理事 (いろは順) (○印常務理事)

伊丹 康夫	石井辰五郎	井原 一夫	西沢 礼子
○星 一雄	時任 巖	○竹林地文雄	太田 光雄
大野 元美	和田 幸一	○川田友之	勝村幾之介
○勝村 肇	加藤 茂	神崎 保雄	田野 耕清
多治見祐孝	高木 恒夫	辻 富士夫	辻 花子
鶴田 義行	○根上 博	○内藤 徹	村山 修一
○上野徳太郎	梅田利兵衛	江橋慎四郎	○栗村中丸
串田 正夫	山賀みや子	安永 弘	○松沢一鶴
○牧野正蔵	松本 隆重	○深谷俊明	古橋広之進
藤尾恒九郎	古荘 次平	○小山賢之助	○小出靖彦
小泉 正延	○沢海東助	左近允正矩	山東 初子
○清川正二	菊池 章	木村 豊唯	○遊佐正憲
○志村義久	○柴原恒雄	清水 治	清水 康男
新聞 六炳	社本 義信	広崎格五郎	兵頭 秀子
瀬川 政雄	鈴木 清蔵		

尚このほか学生部会より若干名を理事とする、氏名は各校委員の報告あり次第、決めることとする

以上

(備考、上記理事による理事会を後に開催し、常務理事を互選した。○印が常務理事である) 監事 足立祐次 渡辺寛二郎

7. 昭和29年度中学通信競技の結果下記の通り表彰

男子第1位 高知県城東中学校

女子第1位 和歌山県九度山中学校

右代表に会長よりトロフィーを授与

閉会の辞 田畑会長

以上

# 連盟日誌

- |   |   |  |
|---|---|--|
| <p>1月4日(火) 競泳合宿練習会始る<br/>横須賀プール</p> <p>9日(日) 同 終る</p> <p>13日(木) 常務理事会</p> <p>14日(金) 学生実行委員会</p> <p>18日(火) 学生飛込委員会</p> <p>19日(水) 主要競技会要項打合せ</p> <p>20日(木) 常務理事会</p> <p>21日(金) 学生水球委員会</p> <p>22日(土) 学生総務委員会</p> <p>24日(月) 普及部委員会(国民体育館) 中学生通信競技小委員会</p> <p>25日(火) 厚生省との勤労者大会打合せ会</p> <p>27日(木) 理事会</p> <p>29日(土) 学生代表委員会</p> <p>30日(日) 定例代議員会(丸ビル精養軒)<br/>理事会 (〃)</p> <p>2月2日(水) 世界民主青年連盟ニクソン書記来訪<br/>田畑会長負傷(菊地病院入院)</p> | <p>3日(木) 常務理事会</p> <p>12日(土) 水泳教室巡回講習, オリンピック対策の打合せ会</p> <p>15日(火) 飛込小委員会</p> <p>16日(水) 神宮プール専門委員会</p> <p>17日(木) 常務理事会</p> <p>18日(金) N・H・Kとの打合せ<br/>飛込委員会</p> <p>19日(土) 日本泳法研究会(横須賀プール)</p> <p>20日(日) 〃 (〃 )<br/>田畑会長退院</p> <p>23日(水) 水球委員会</p> <p>24日(木) ニュース写真協会との打合せ会<br/>渡比選手合同練習開始<br/>Y・M・C・A</p> <p>3月3日(木) 理事会兼渡比選手歓送</p> <p>6日(日) 会渡比選手出発</p> <p>7日(月) 編集委員会</p> <p>8日(火) 飛込委員会</p> <p>9日(水) 水球小委員会</p> <p>10日(木) 古橋広之進氏(理事) 帰国</p> <p>11日(金) 清川正二氏(常務理事) 帰国</p> | <p>17日(木) 渡比選手帰国<br/>理事会兼渡比選手歓送会</p> <p>18日(金) 学生飛込委員会</p> <p>24日(木) 常務理事会<br/>毛利勝一君渡米</p> <p>25日(金) 編集委員会</p> <p>28日(月) 普及部委員会</p> <p>29日(火) 「水泳」誌座談会</p> <p>4月1日(金) 審判測定機委員会<br/>鎌倉市との懇談会</p> <p>5日(火) 強化合宿参加選手選考会</p> <p>6日(水) 編集委員会</p> <p>7日(木) 常務理事会</p> <p>12日(火) 春期強化合宿役員打合せ会</p> <p>14日(木) 理事会<br/>審判測定機委員会</p> <p>16日(土) 学生実行委員会</p> <p>18日(月) 水球委員会</p> <p>20日(水) 編集委員会</p> <p>22日(金) 常務理事会</p> <p>28日(木) 学生実行委員会</p> <p>29日(金) 春季競泳合宿練習会始る(横須賀プール)</p> <p>30日(土) 学生水球委員会</p> |
|---|---|--|

## 編 輯 委 員 (イロハ順) (◎印委員長)

伊藤 謹平	小川 道郎	荻野 浩	◎川田 友之
金田 平八郎	川口 友平	多治見 祐孝	高橋 静子
中村 雅明	上野 徳太郎	魚住 英光	串田 正夫
藤田 明	小池 礼三	小山 賢之助	三枝 美貴子
菊池 章	水野 忠利	島田 桃一郎	鈴木 祐一

日本水泳連盟  
機関誌

水 泳

第 1 0 5 号

昭和30年4月25日 印刷  
昭和30年4月30日 発行

日本水泳連盟

編集兼 藤 田 明  
発行人

印刷所 株式会社成島印刷所  
東京都中央区日本橋本石町3の4  
電話 日本橋(24) 1701・6509・7082

頒布価格 1年分(年4回発行)  
郵送料共 ¥300.00

東京都千代田区丸の内2-2  
丸ビル722区

発行並 日本水泳連盟  
申込所

電話和田倉(20) 3090・4885番  
振替口座 東京5178番

# 水 泳 年 鑑

A 5 判 240 頁 頒 価 250.— 送 料 50.—

## “水 泳”

第 106 号

(7 月 末 発 行 予 定)

### 次 号 予 告

- |                                       |                        |
|---------------------------------------|------------------------|
| 1. メルボルンへの道                           | 9. 誌上技術講座 水泳問答         |
| 2. 今シーズンの展望                           | 10. コーチのメモ             |
| 3. 第4回日米対抗水上競技大会について                  | 11. 飛込の歴史              |
| 4. 第27回早慶対抗水上競技大会記録                   | 12. シンクロナイズ スウイミングに就いて |
| 5. 第20回日立明三大学対抗 ク ク                   | 13. 春季競泳選抜選手合宿練習会報告    |
| 6. 早慶三大学大会の練習とレースの結果                  | 14. 機械着順測定機            |
| 7. 泳法研究 シネグラフ<br>クイツクターン シネグラフ その他 写真 | 15. 水泳指導者資格検定          |
| 8. 春季水球リーグ戦記                          | 16. フアンの声              |

## 水 泳 用 品 専 門

競 技 会 用 水 泳 着 男 女 各 種  
練 習 用

御 一 報 次 第  
カ タ ロ グ 送 呈

## 徳 永 運 動 具 店

東 京 都 墨 田 区 東 両 国 2 - 1 番 地

電 話 本 所 (63) 1891 番

両 国 国 技 館 前

T O K U N A G A

# 湯滝と 温泉プール

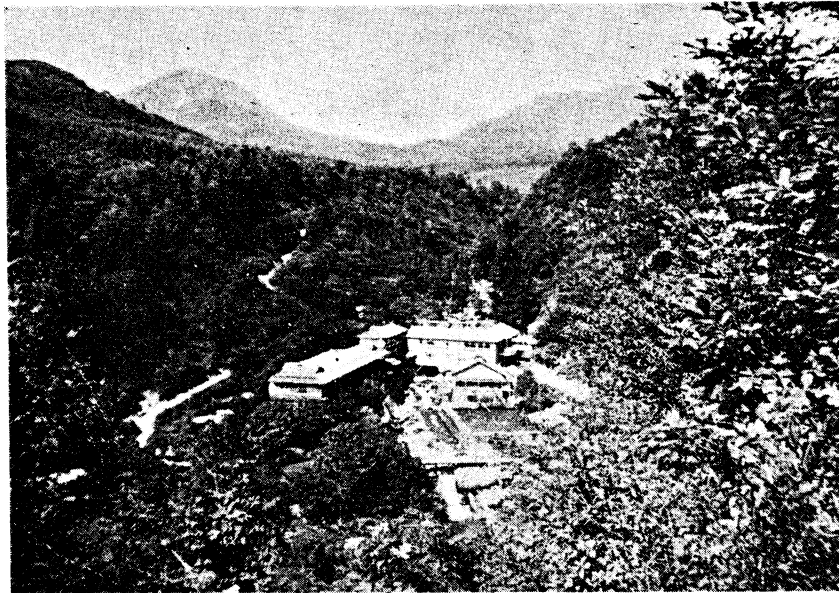
(当館専用)

攝氏 34 度 25 米

四季合宿練習可能

娯  
楽

乗馬 撞球 ピンポン 登山 テレビ



長野県諏訪郡蓼科高原

湯元 親湯温泉ホテル

TEL. 2 番 ・ 20 番

中央線新宿ヨリ準急4時間 茅野<sup>ちの</sup>駅下車バス利用